

Barlabe® FI212T

AVATO

プリンタ
の設置

操作
パネル

呼出し
発行

固定発行

その他の
発行機能

環境設定

困った
ときは

保守

付録

取扱説明書

コンパクト
ボディに
高機能満載!



このたびは、Barlabe FI212T を
お買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
ぜひ本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

株式会社サトー

はじめに

このたびは、当社 Barlabé FI212T（以降、「本プリンタ」と呼びます）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

本プリンタの機能を理解され、正しく効率的にご利用いただくために、「取扱説明書」を用意いたしました。本プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

取扱説明書（本書）の内容

- 設置のしかた、電源の入れかた、用紙のセットのしかたなど、本プリンタの基本的な使い方を説明しています。



クイックガイドの内容

- 本プリンタをはじめてご使用される方は、クイックガイドをお読みください。
- レイアウト作りからラベルを印字するまでを順を追って説明しています。
- はじめての方にご利用いただけるようにわかりやすく説明しています。

無線LAN仕様をお買い上げのお客様へ

電波に関するご注意

本プリンタは、電波法に基づく技術基準の適合認証を受けています。したがって本プリンタを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本プリンタは日本国内でのみ使用できます。

以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

- ・本プリンタを分解／改造すること
- ・本プリンタに貼ってある証明ラベル（シリアルシール）をはがすこと

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線LAN機器の近辺。

無線LANインタフェースをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従っておこなってください。

2.4 DS/OF 4

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DSSSおよびOFDM
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店、ディーラーへご連絡ください。
- (4) この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- (5) 本書に記載されている情報の利用に起因する障害または特許権その他の侵害に関しては、当社は一切その責任を負いません。

はじめに	1
安全上のご注意	10
バッテリーパックについての安全上のご注意	16
FI212T ができること	19
目的別検索ガイド	21
発行モードと用意する環境	22
第1章 プリンタの設置	23
操作の流れ	23
設置に必要なスペースを用意する	24
設置および取り扱い上のご注意	25
設置場所について	25
電源について	27
箱の中身を確認する	28
本体と同梱の付属品	28
各部の名称	30
用紙をセットする	33
用紙幅を確認する方法	33
用紙の巻き方向について	33
用紙の種類について	34
連続/ティアオフ/センサ無視 (ジャーナル) / ノンセパモードの場合	35
ハクリモードの場合	37
カッターモード (オプション) の場合	40
電源を入れてみましょう	43
専用 AC アダプタを接続する	43
バッテリーパックの充電	45
プリンタに専用 AC アダプタを取り付けて充電する場合	47
バッテリーパックの装着と取り出しのしかた	47
第2章 操作パネルの使い方	49
キーのはたらき	49
文字を入力する	50
文字の入力方法	53
第3章 呼出し発行	59
呼出し発行の初期設定	59
用紙種別	60
用紙サイズ	60
発行形態	61

印字位置調整	61
呼出し名検索文字桁数設定	62
バーコード検索	62
呼出し発行履歴データ転送	62
呼出し履歴データ転送方法	62
プリンタ No.	62
連番保持機能設定	62
都度発行	63
発行枚数表示	63
発行後戻先指定	63
価格未入力許可	63
本体メンテナンス	63
QR コード発行	64
税率優先設定	64
税率設定	64
ラベルの発行.....	65
発行種別選択	66
データの呼出し.....	67
QR コード登録.....	69
QR コード登録	69
QR コード発行・登録	70
本体メンテナンス	71
呼出しテーブル	71
漢字テーブル	73
店名テーブル	75
データ更新	77

第4章 固定発行 79

固定発行の初期設定.....	79
用紙サイズ	81
プリセットの登録先	81
リサイクルマーク表示	81
リサイクルマークテーブル No	82
原産地表示	83
原産地テーブル No	83
日付印字	85
日付の手入力	85
コードフリー入力	85
価格の印字位置	86
価格の文字サイズ	86
¥マークの付加	86
価格カンマの付加	87
プリセット No の印字	87
ガードバーの長さ	87
発行形態	88
リアルタイム印字	88

都度発行	88
チェックラベルの印字	89
印字方向	89
印字位置調整	90
フォーマット No の設定	90
固定発行ラベルとバーコードの種類	91
ラベルの長さは？▶バーコードの桁数は？▶フォーマット番号は？	91
価格税込み表示	92
価格税込み表示（小数点2桁印字）	94
価格総額表示（本体価格・消費税）	96
価格総額表示（本体価格・消費税）（小数点2桁印字）	98
価格総額表示（本体価格+税）	100
対応用紙サイズと印字フォーマット	102
ラベル発行してみましょう	103
プリセットモード	106
登録先について	106
データを登録する	106
登録したデータ呼び出す	109
登録したデータを印字して確認する	112
プリセットデータのコピー（本体メモリ⇄SDカード）	113

第5章 その他の発行機能 115

オンライン発行の初期設定	115
用紙種別	116
用紙サイズ	116
発行形態	116
印字位置調整	117
オンライン発行画面	118
値下 CODE128 の初期設定	119
用紙種別	120
発行形態	120
チェックラベルの印字	120
印字位置調整	121
値下 CODE128 の設定	122
出力バーコード設定	124
ラベルサイズ	124
発行形態	124
使用項目	125
項目フラグ	125
バーコード値引条件	125
見出しテーブル 円引き	125
見出しテーブル %引き	126
見出しテーブル 新価格	126
50%引の表示	127
値引上限	127
端数処理	127

廃棄データ	127
NON-PLU 13 桁	128
NON-PLU 8 桁	128
出力バーコードフラグ	128
UPC-A フラグ	128
UPC-E	128
バーコード識別	129
賞味期限入力	129
賞味期限タミー設定	129
賞味期限桁数選択	129
元売価印字	130
値下後価格印字	130
パスワード設定	130
担当者コード	130
値引き履歴データ蓄積	131
値引き履歴データ転送方法	131
プリンタ No.	131
値下 CODE128 の印字レイアウト例	132
円引きラベル	132
%引きラベル	135
新価格ラベル	139
ラベルの発行.....	141
円引きラベルを発行する	141
%引きラベルを発行する	143
新価格ラベルを発行する	145
発行種別選択	147
商品を廃棄する	148
履歴データ保存	149
値下 JAN2 段の初期設定.....	150
発行形態	151
チェックラベルの印字	151
印字位置調整	152
値下 JAN2 段の設定.....	153
ラベルサイズ	155
発行形態	155
出力バーコード	155
コメント機能	155
プロパー価格表示	155
部門機能	155
NON-PLU 13 桁	156
出力バーフラグ	156
アイテムコード	156
出力バーコード	156
価格表示単位	156
50%引の表示	157
円引処理	157
円引印字	157

%引処理	157
%引印字	157
新価格処理	157
担当者コード	158
値引き履歴データ蓄積	158
値引き履歴データ転送方法	158
プリンタ No.	158
テーブル編集.....	159
コメントテーブル	159
部門テーブル	161
値下 JAN2 段の印字レイアウト例	164
円引きラベル	164
%引きラベル	166
新価格ラベル	168
ラベルの発行.....	169
円引きラベルを発行する	169
%引きラベルを発行する	172
新価格処理ラベルを発行する	174
発行種別選択	177
履歴データ保存	177
個体識別.....	178
個体識別の初期設定.....	180
発行形態	181
チェックラベルの印字	182
印字位置調整	183
部位名の印字	183
部位テーブル No の印字	183
産地名の印字	184
産地テーブル No の印字	184
日付の印字	184
加算日数の初期値	184
個体識別の固定印字	185
継承ラベルサイズ	185
個体識別ラベルサイズ	185
バーコード種の変更	185
バーコード種変更のパスワード	185
バーコード種	185
個体識別の設定.....	186
漢字 16	186
漢字 22	187
日付見出	187
産地名	187
部位名	191
ラベルの発行.....	195
継承ラベルを発行する	195
個体識別ラベルを発行する	197

発行種別選択	198
--------------	-----

第6章 環境設定 199

キーのはたらき	199
本プリンタの画面遷移について	201
カレンダーを設定する	204
カレンダー設定	204
カレンダーを一時変更する	205
価格総額表示を設定する.....	208
税込み価格から本体価格を導いた場合の矛盾点について	211
税込み固定印字設定について	211
任意税率設定について	212
入力価格の計算について	212
ユーザー設定.....	213
印字速度	214
印字濃度	214
印字濃度レンジ	214
カレンダーの一時変更	215
ヘッドチェック	215
ヘッドチェック範囲	215
キー入力音	216
スタート画面設定	216
スタート画面	216
呼出し発行	216
日付確認画面表示	217
記憶発行	217
オートパワーオフ時間設定	217
LCD 節電時間設定	217
LCD 濃度	218
初期フィード	218
通信設定.....	219
USB の設定	219
LAN の設定	220
無線 LAN の設定	222
LAN 設定の初期化	226
無線 LAN 設定の初期化	228
構成情報の印字	229
無線 LAN の電波取得	231
省電力モードの設定	233
FTP 設定.....	235
FTP クライアント機能	235
FTP クライアント設定	241
FTP 設定の初期化	246
パスワード登録.....	248
メニュー設定.....	250

データメンテナンス.....	252
その他機能.....	254
第7章 困ったときは	259
エラーメッセージ.....	259
故障かな?と思ったら.....	266
第8章 保守	269
本プリンタのお手入れ.....	269
お手入れの時期.....	269
お手入れのときの注意.....	269
清掃のしかた.....	270
アフターフォローについて.....	272
保守サポートの種類一覧表.....	272
保守サポートの内容一覧表.....	272
保守サポートの説明.....	272
保守契約サポート.....	273
スポットサポート.....	273
第9章 付録	275
基本仕様.....	275
ディスプレイの表示仕様.....	279
オプション.....	281
オプション(別売)品のご紹介.....	281
SDカードの取り扱い.....	282
SDカードの初期化.....	284
スキャナの接続.....	285
キーカバーの貼り方.....	287
スキャナホルダーの取り付け方.....	288
壁掛けキットの取り付け方.....	290
初期設定値一覧.....	292

安全上のご注意

この取扱説明書には、プリンタのご使用時における安全について記載しております。

プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

▲ 絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。









注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	誤った取り扱いによって、感電の可能性が想定されることを示しています。		安全のために加熱や火の近くに置いたり、火の中に入れてはいけないことを示しています。
	誤った取り扱いによって、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。		安全のために必ず電源コードのプラグをコンセントから抜くように指示するものです。
	安全のためにしてはいけないことを示しています。		安全のために必ずアースを取るように指示するものです。
	安全のために分解してはいけないことを示しています。		高温による傷害の可能性が想定されることを示しています。

警告

	<p>指定以外の電圧は使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 指定された電源電圧以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。
	<p>危険な場所で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本製品は防爆認定機器ではありません。・ 爆発性雰囲気では使用しないでください。引火・爆発の危険があります。
	<p>不安定な場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none">・ ぐらついた台の上や傾いた場所、振動のある場所などに置かないでください。本製品が落ちたり倒れたりして、ケガをするおそれがあります。
	<p>高温になる場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本製品を発熱するもの（加熱調理器具やストーブなど）のそばなど、高温になる場所に置かないでください。本製品が破損し、火災・感電の原因になります。
	<p>落下・破損した場合は</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本製品を落下させたり破損したりした場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
	<p>電源コードやケーブルの取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 電源コードやケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、高温になる場所に置いたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因になります。・ 電源コードに水をかけたり、濡らしたりしないでください。故障・感電の原因になります。・ 電源コードやケーブルが傷んだら（芯線の露出・断線・変形など）、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。・ 同梱品の電源コードは本製品専用です。他の電気製品に使用しないでください。また、本製品に他の電源コードを使用しないでください。火災・感電の原因になります。










警告








	<p>ACアダプタの取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・ ACアダプタを傷つけたり、破損したり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、高温になる場所に置いたりしないでください。火災・感電の原因になります。・ ACアダプタを落下させたり破損したりした場合は、すぐに製品の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。・ ACアダプタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。故障・感電の原因になります。・ 同梱品のACアダプタは本製品専用です。他の電気製品に使用しないでください。また、本製品に他のACアダプタを使用しないでください。火災・感電の原因になります。
	<p>必ずアース線を接続する</p> <ul style="list-style-type: none">・ アース線は必ずアースに接続してください。接続しないと感電の原因になります。
	<p>異常な状態で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま本製品を使用しないでください。火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクに修理をご依頼ください。
	<p>水などの入った容器を置かない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本製品の周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器を置かないでください。万一、水や薬品が中に入った場合は、すぐに電源を切り、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
	<p>水中に落下させない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本製品を水の入った容器の周辺で使用しないでください。万一、水中に落下した場合は、すぐに電源を切り、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



警告

	<p>内部に異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本製品の開口部（ケーブルの出口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・発火・発熱・感電の原因になります。
	<p>ケーブルやオプション機器の接続について</p> <ul style="list-style-type: none">・ ケーブルやオプション機器は、必ず本製品やオプション機器の電源を切ってから接続してください。電源を入れたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガ・感電・故障の原因になります。・ ケーブルやオプション機器を取り付けるときは、取り付ける向きや手順を間違えないでください。ケガ・火災・感電・故障の原因になります。・ 同梱品または推奨品以外のケーブルを使用しないでください。発煙・火災・感電・故障の原因になります。
	<p>濡れた手で操作しない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 濡れた手で電源の操作やバッテリーパックの交換ならびに電源コードやケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
	<p>分解しない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本製品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご依頼ください。・ ACアダプタを分解したり、改造したりしないでください。
 	<p>プリンタ清掃液の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 同梱品または推奨品以外のプリンタ清掃液を使用しないでください。・ プリンタ清掃液は、火気厳禁です。絶対に加熱したり、火の中に投入したりしないでください。・ お子様の間違って飲み込まないように手の届かない場所に保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
	<p>カッタに手やものを入れない</p> <ul style="list-style-type: none">・ カッタの刃に触れたり、用紙以外の異物を入れたりしないでください。ケガをするおそれがあります。

注 意

	<p>持ち運び</p> <ul style="list-style-type: none">・ 用紙や外付けのオプション機器をセットしたまま、本製品を持ち運ばないでください。用紙やオプション機器が落ちてケガをするおそれがあります。・ 本製品を床や台の上などに置くときは、指や手を挟まないように注意してください。・ 本製品を移動するときは、必ず電源を切ってから電源コードのプラグをコンセントから抜き、接続したケーブルを外してください。そのまま移動すると、電源コードやケーブルが傷ついて火災・感電・故障の原因になります。
	<p>湿度が高い場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本製品を湿度の高い場所や結露する場所に置かないでください。結露した場合は、すぐに電源を切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。
	<p>ACアダプタ</p> <ul style="list-style-type: none">・ ACアダプタが熱くなることがあります。火傷をしないように注意してください。
	<p>電源コード・ケーブル</p> <ul style="list-style-type: none">・ 電源コードやケーブルをコンセントやコネクタから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードやケーブルを持って抜くと芯線が露出したり断線したりして、火災・感電・故障の原因になります。・ 電源コードやケーブルに熱器具を近付けないでください。電源コードやケーブルの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因になります。
	<p>ロール紙のセット</p> <ul style="list-style-type: none">・ ロール紙をセットするときは、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意してください。
 	<p>サーマルヘッド</p> <ul style="list-style-type: none">・ 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃をするときは、火傷をしないように注意してください。・ サーマルヘッドを素手で触らないでください。ケガ・故障の原因になります。・ サーマルヘッドは取扱説明書の手順に従って交換してください。手順が示されていない場合はお客様ご自身による交換はせず、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。・ サーマルヘッドを開閉するときは、用紙以外の異物を挟まないように注意してください。ケガ・故障の原因になります。

注 意



カバー

- ・ カバーを開閉するときは、指を挟まないように注意してください。また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持ってください。



長期間使用しないとき

- ・ 本製品を長期間使用しないときは、安全のためバッテリーパックを外し、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。



お手入れ・清掃のとき

- ・ 本製品のお手入れや清掃をするときは、安全のためバッテリーパックを外し、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

バッテリーパックについての安全上 のご注意









バッテリーパックの著しい寿命低下、発熱、発煙、破裂、発火などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。



警告

	<ul style="list-style-type: none">・ リチウムイオンバッテリーパックには寿命があります。充電回数が約300回、または使用開始から約3年のどちらか早い方を目安にお取替えください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックに強い衝撃が加わり、打痕・外観破損（ひび割れなど）がある場合は、すぐに使用を中止し、新しいバッテリーパックへ交換してください。そのまま使用するとバッテリーパックの異常発熱・発火の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックを分解したり、改造したりしないでください。
	<ul style="list-style-type: none">・ 指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックを製品本体で充電するときは、必ず指定のACアダプタを使用してください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックを加熱したり、火の中に投入したりしないでください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックを発熱するもの（加熱調理器具やストーブなど）のそば、炎天下の車中など、60℃以上の高温になる場所で使用したり放置したりしないでください。破裂の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">・ 充電中や放電中に、可燃物をバッテリーパックの上に乗せたり、布などでバッテリーパックを覆ったりしないでください。

警 告

	<ul style="list-style-type: none">・ プラス (+) 端子とマイナス (-) 端子を針金などの金属で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。バッテリーパックがショートする原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックを電源コンセントや車のシガレットコンセントなどに接続するときは、必ず専用のバッテリーチャージャーを使用してください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックを水・海水・飲料・調味料などの液体につけたり、濡らしたりしないでください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックをハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけたり、落下させたりしないでください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックに釘などの金属物を刺さないでください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックから漏れた液が目に入った場合は、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、医師の治療を受けてください。放置すると目に障害を与える原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">・ 所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、バッテリーパックを製品本体またはバッテリーチャージャーから取り外して充電を中止してください。また、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none">・ 異臭・発熱・変色・変形・液漏れなどの異常に気がついたときは、すぐに使用を中止した上で以下の操作をしてください。また、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・火傷・ケガ・感電の原因になります。<ul style="list-style-type: none">－製品本体の電源を切る。－電源コードのプラグをコンセントから抜く。－バッテリーパックを製品本体またはバッテリーチャージャーから取り外し、火気から離す。

注意

	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックは、5～35℃の温度範囲で充電してください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックをはじめて使用する場合や長時間使用しなかった場合は、必ず充電してください。
 	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックは小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。また、口に入れたり舐めたりしないでください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックの端子が汚れると、製品との接触不良を起こして電池が切れたり、充電されなくなったりします。乾いた布などで拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックを保管する場合は、以下の状態を避けてください。性能や寿命を低下させる原因になります。<ul style="list-style-type: none">－ 満充電状態（充電完了後すぐの状態）－ 電池残量なしの状態（製品本体の電源が入られないほど消耗している状態）保管に適した電池残量は、40%程度が目安です。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックは、電池の液漏れやサビを避けるため、湿気の少ない場所で保管してください。
	<ul style="list-style-type: none">・ 長期間使用しない場合でも、機能を維持するために、半年に1回程度満充電して、製品で電池残量が40%程度になるまで使用してください。その後は取り外して、湿度が低く涼しい場所で保管してください。
	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーパックを交換するときは、端子の向きに注意し、正しく入れてください。間違えるとバッテリー挿入口の周囲を破損する原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">・ 使用済みのバッテリーパックは、希少資源の有効利用のために、接点をテープでシールするなどの絶縁処理をしてから、処分方法を販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクへご相談ください。また、乾電池などの他の電池とは混ぜないでください。

FI212Tができること

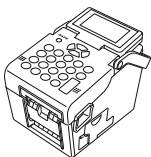
呼出し発行

FI ツールでラベルを自由にデザイン。SD カードのデータを読み出してラベル発行します。→ 59 ページ

FI ツール



SD カード



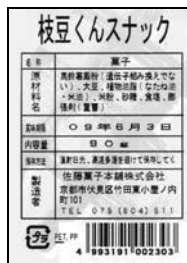
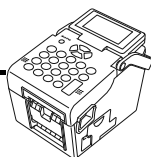
オンライン発行

ラベルアプリケーションでデザイン。オンラインでデータを転送してラベル発行します。→ 115 ページ



無線 LAN

LAN/USB



固定発行

プリンタに登録されているフォーマットでデザインし、そのままラベル発行します。2種類の税率を切替えて発行できます。→ 79 ページ



値下げラベルの発行

値下げ商品のバーコードを読み込み、プリンタに登録されているフォーマットで値下げラベルをデザインしてラベル発行します。2種類の税率を切替えて発行できます。(JAN2 段は税率切替に対応していません。)



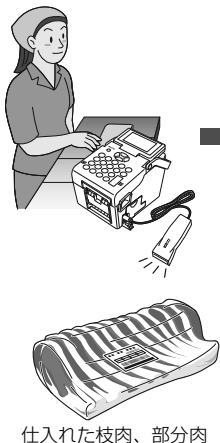
値下げラベル (CODE128) → 119 ページ



値下げラベル (JAN2 段) → 150 ページ

個体識別ラベルの発行

仕入れた枝肉、部分肉の個体識別番号を読み取り、プリンタに登録されているフォーマットで継承ラベル/個体識別ラベルをデザインしてパック商品用のラベルを発行します。→ 178 ページ



継承ラベル

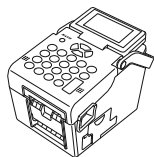


個体識別ラベル

精肉 (パック商品)

FTP によるファイル転送

データをインターネットを経由して、FTP サーバー間と送受信できます。
→ 235 ページ



データ

LAN/ 無線 LAN

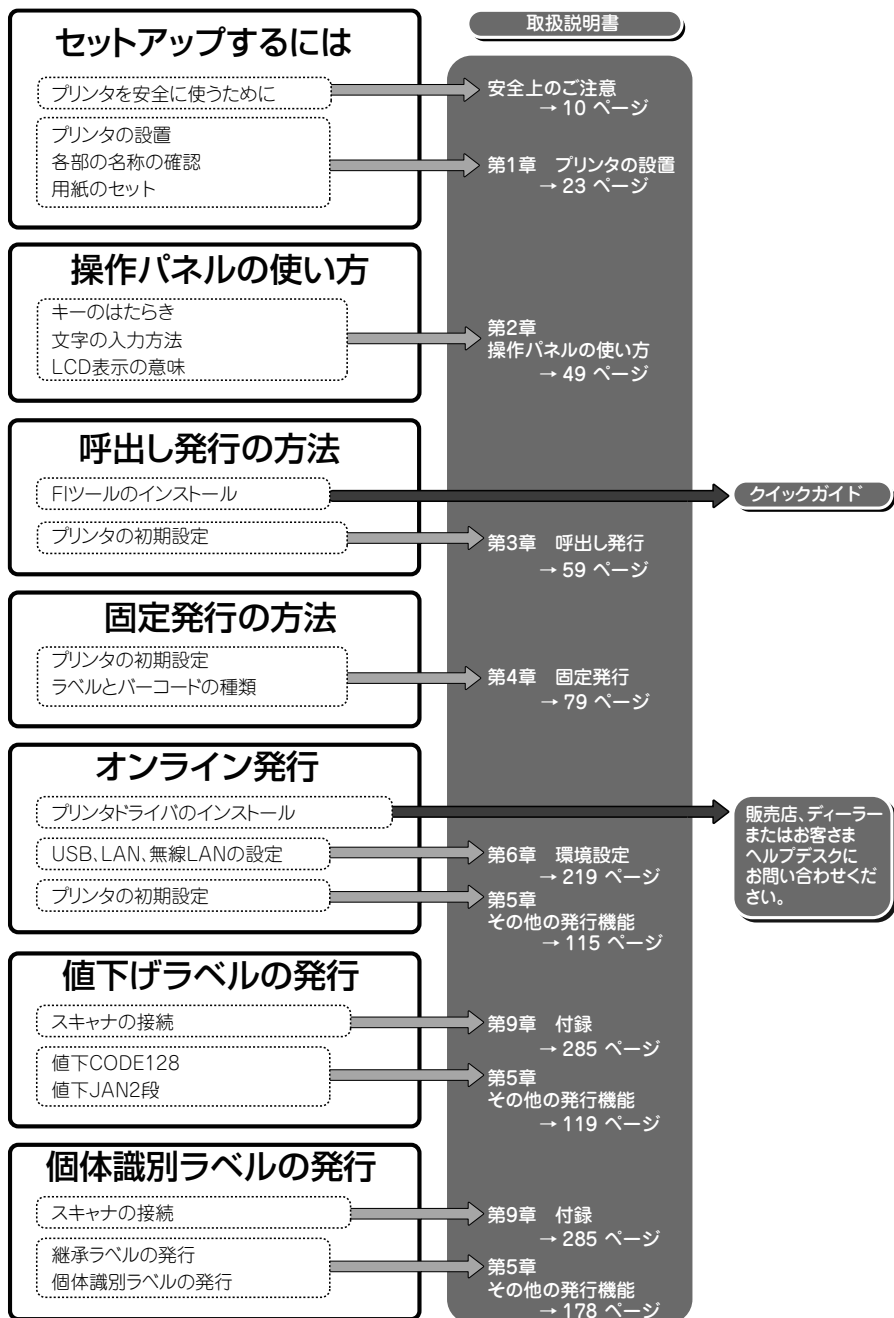
インター
ネット

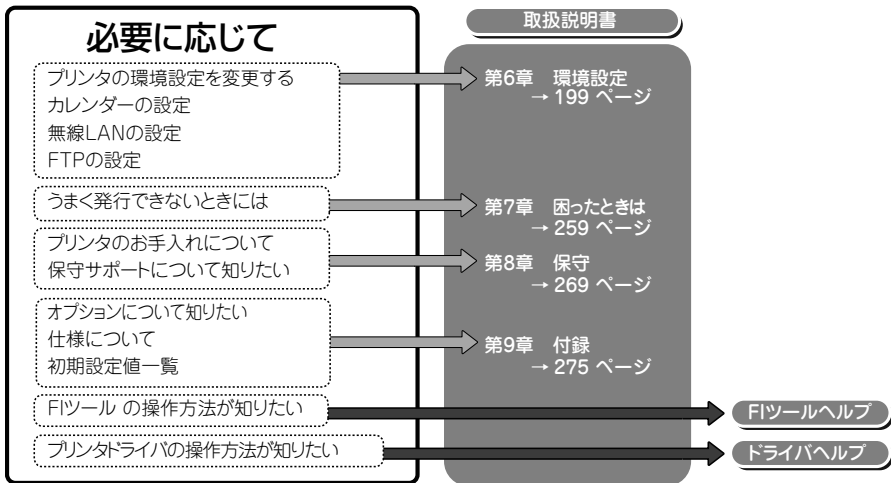
データ

LAN/ 無線 LAN



目的別検索ガイド





発行モードと用意する環境

発行方法	必須ソフトウェア	インタフェース	ラベル
呼出し発行	Fiツール	-	バーラベ固定ラベル バーラベフリーラベル プチラパンラベル
固定発行	共通データ管理ソフト	-	バーラベ固定ラベル
オンライン発行	ラベル作成AP* プリンタドライバ	USB/ LAN/ 無線LAN	バーラベ固定ラベル バーラベフリーラベル プチラパンラベル
値下 CODE128	-	-	バーラベラベル (W55) バーラベラベルW48 プチラパンラベル (W55) プチラパンラベルW48 プチラパンラベルP35
値下 JAN2段			P65 x W32 P35 x W48
個体識別	-	-	個体ラベル 小 (P25 x W32) 大 (P38 x W40)

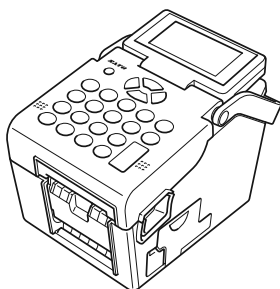
* SBPLに対応したアプリケーション。詳しくは販売店、ディーラーにお問い合わせください。

第1章 プリンタの設置

ここでは、本プリンタの操作の大まかな流れについて説明します。
実際に印字する前に、必ずお読みください。

操作の流れ

① 設置します。



設置する前に「設置に必要なスペースを用意する」(24 ページ)を、必ずご覧ください。

コンセントに直接つないで使うときは…



付属の AC アダプタを取り付けます (43 ページ)。

コンセントのないところで使うときは…



オプション (別売) のバッテリーパックを取り付けます。「バッテリーパックの装着と取り出しかた」(47 ページ)をご覧ください。

② 電源を入れます。

- ACアダプタまたはバッテリーパックのどちらかをセットして、操作パネルの **電源** キーを押してONにします。

③ 用紙をセットします (33 ページ)。

- 用紙の印字面を上にしてください。
- 本体を開けて、用紙ホルダに用紙をセットします。
- 連続印字のときとハクリ印字のときでは、用紙のセットのしかたが多少異なります。



連続印字
(35 ページ)



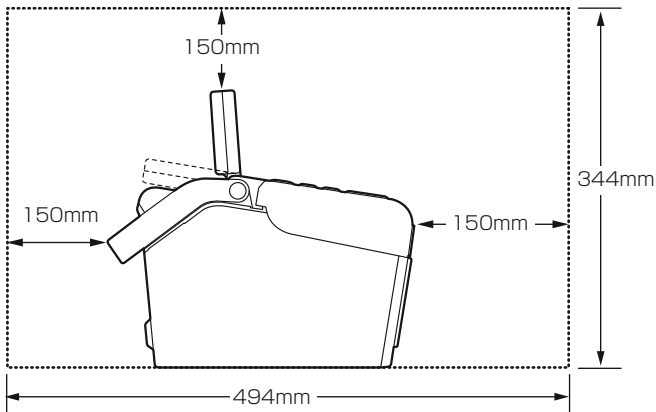
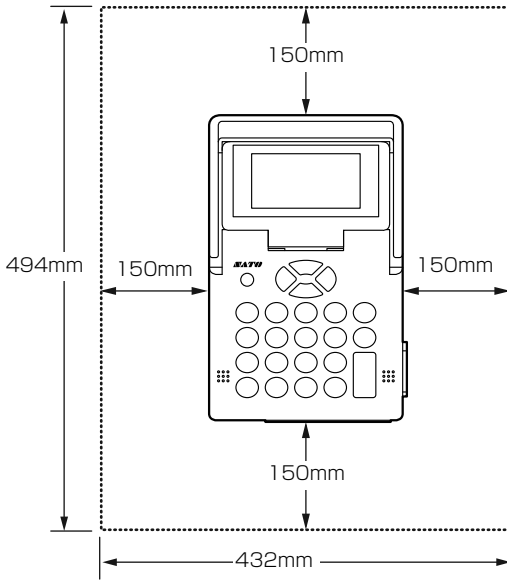
ハクリ印字
(37 ページ)

④ ラベル作成の準備をします。

- カレンダー設定をします (204 ページ)。
- 価格総額表示を設定します (208 ページ)。
- 初期設定をします (各発行モードごと)。
- ラベルをどのようなスタイル (ラベルのサイズ、価格の印字位置など) で印字するかを決めます (各発行モードごと)。
- 呼出し発行のときは、FIツールでデータを作成し、プリンタにデータを移します。

設置に必要なスペースを用意する

- プリンタ（重量：約1.7kg）は平らで水平な場所に置いてください。
- 壁掛けキット（オプション）を利用する場合は、壁掛けブラケットがしっかり固定できる壁を確保してください（290 ページ）。
- プリンタの操作や消耗品の交換、お手入れなどをするとときに、トップカバーが完全に開くようにスペースを確保してください。
特に用紙排出口をふさがないように注意してください。



設置および取り扱い上のご注意

次のことに注意して、本プリンタの設置・取り扱いをおこなってください。

設置場所について

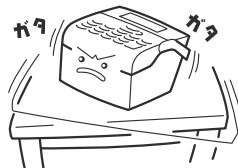
水平な場所に設置してください。

凹凸があったり斜めになっている場所に設置すると、きれいな印字ができません。故障の原因になり、プリンタ寿命を短くするおそれがあります。



振動のある場所に設置しないでください。

振動のある場所に設置するときれいな印字ができないことがあります。ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。故障の原因になり、プリンタ寿命を短くするおそれがあります。



高温・多湿な場所に設置しないでください。

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。温度・湿度が高い場所は、故障の原因になり、プリンタ寿命を短くするおそれがあります。



ほこりを避けて使用してください。

ほこりの多い場所に設置すると、きれいな印字ができないことがあります。故障の原因になり、プリンタ寿命を短くするおそれがあります。



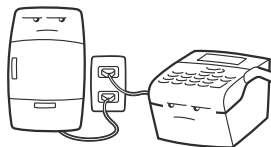
直射日光の当たる場所を避けてください。

本プリンタは光学センサを内蔵していますので、直射日光に当たるとセンサが誤動作を起こすことがあります。印字するときは必ずカバーを閉じてください。

**クレーンやプレス機などのそばに置かないでください。**

消費電力の大きい電気製品の近辺にあるコンセントから、電源を供給しないでください。電気ノイズや電圧低下による誤動作や故障の原因になります。

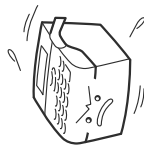
クレーンやプレス機などの大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こすことがあります。本プリンタの誤動作や故障の原因になりますので、これらの機器のそばに本プリンタを置かないでください。

**側面をふさぐ場所に設置しないでください。**

本プリンタを設置するときは、本プリンタ側面と壁などの間に 15cm 以上のすき間を空けてください。発熱による故障やプリンタ寿命を縮める原因になります。

**本プリンタを横または逆さまにしないでください。**

本プリンタに用紙をセットしたまま、電源ユニットやバッテリーパックの取り付けなどにより、本プリンタを横にしたり逆さまにすると、用紙ホルダから用紙が外れ用紙つまりの原因になります。また、用紙が破れたり傷が付いて、きれいな印字ができない場合があります。



電源について

本プリンタは AC100V の交流電源が必要です。

必ず AC100V の交流電源につないでください。本プリンタの誤動作や故障のおそれがあります。

電圧の低下などの変動が少ないコンセントから電源を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じコンセントや、その近くのコンセントから電源を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。

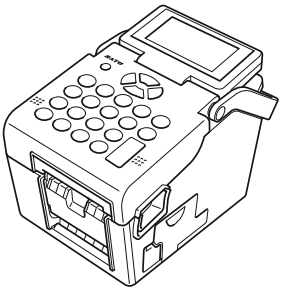
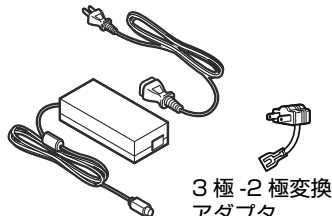

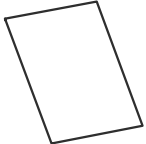
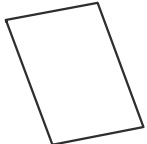
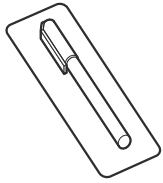
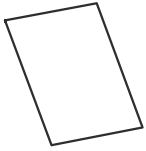

必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。

箱の中身を確認する

箱を開けたら、次の付属品がそろっているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店またはディーラーまでお問い合わせください。

本体と同梱の付属品

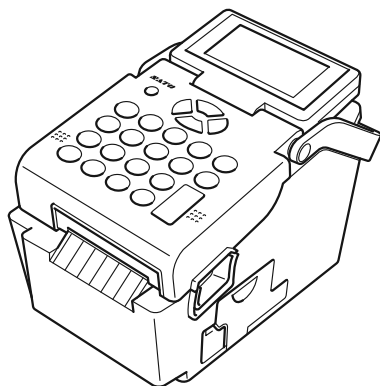
プリンタ本体		ACアダプタセット	
		 <p>3極-2極変換アダプタ ACアダプタと電源コード</p>	
取扱説明書 (本書)	ダウンロードガイド	クイックガイド	
			
クリーニングペン	安全上のご注意	保証書	
			

FI ツールについて

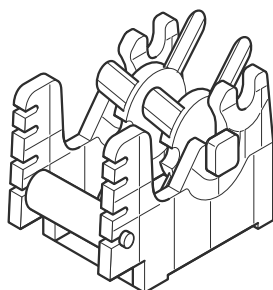
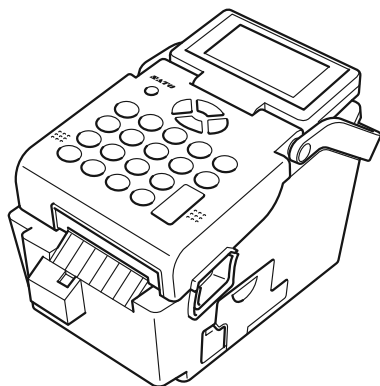
FI212Tの「呼出し発行」をおこなうためのデータを作成するには「FIツール」を使用します。「FI ツール」は、<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択してダウンロードしてください。

FI ツールのセットアップ方法、取り扱い方法については添付のクイックガイドや FI ツールのヘルプをご覧ください。

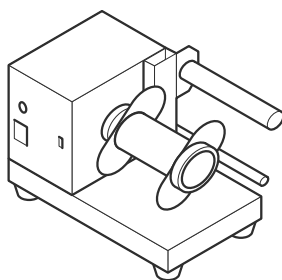
カッタ仕様



ノンセパ (カッタ付き) 仕様



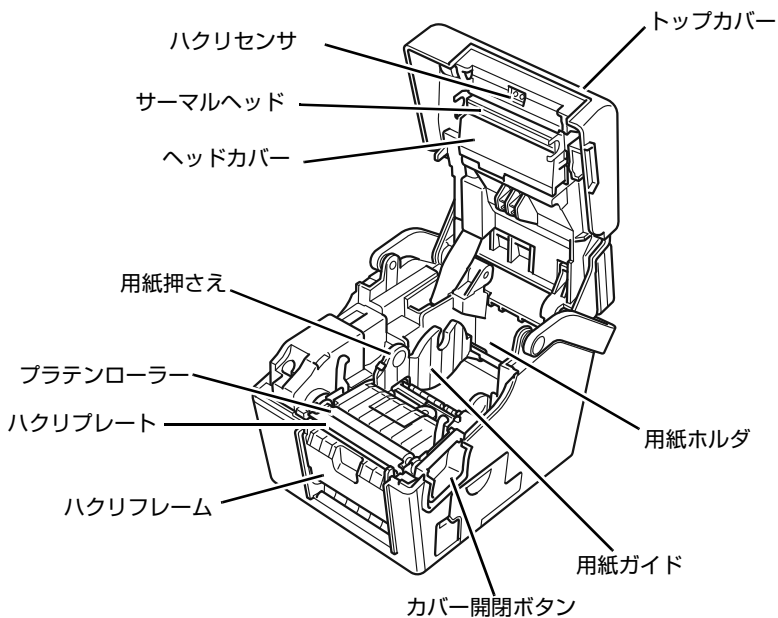
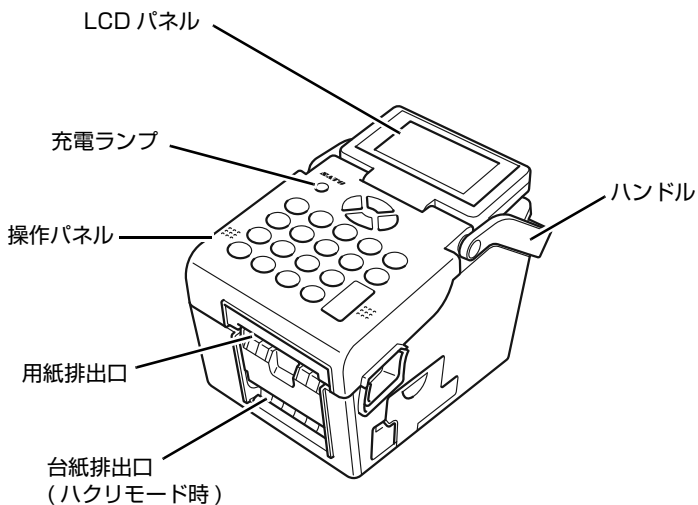
外部供給装置 UW200EF



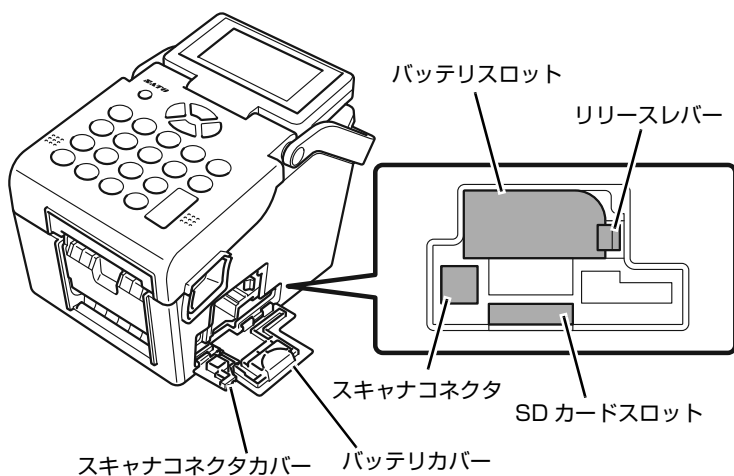
外部巻取機 RW350

※ 外部供給装置 (UW200EF) および外部巻取機 (RW350) の設置および使用方法については、各装置に同梱されている取扱説明書をご覧ください。

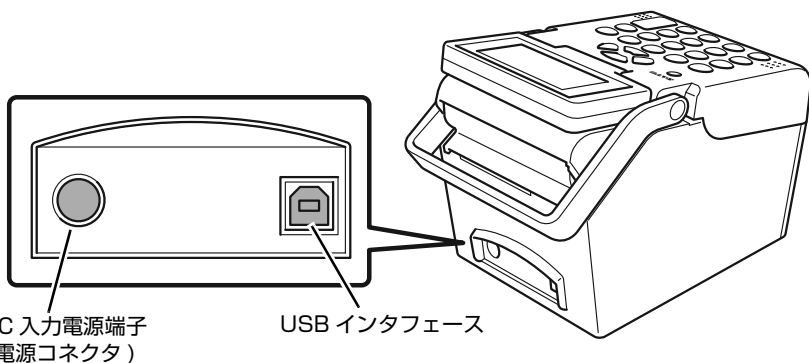
各部の名称



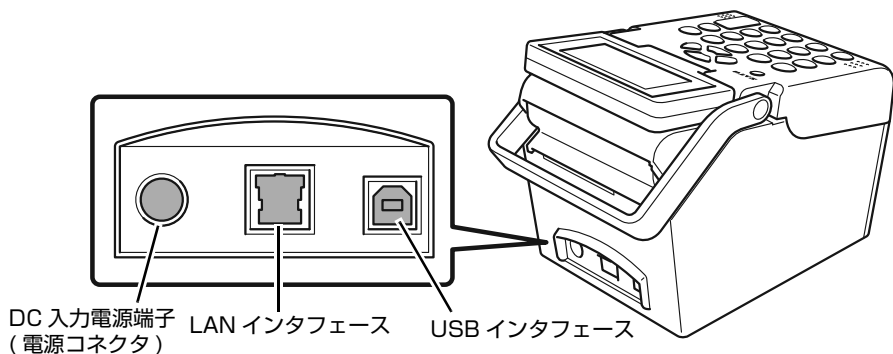
右側面部



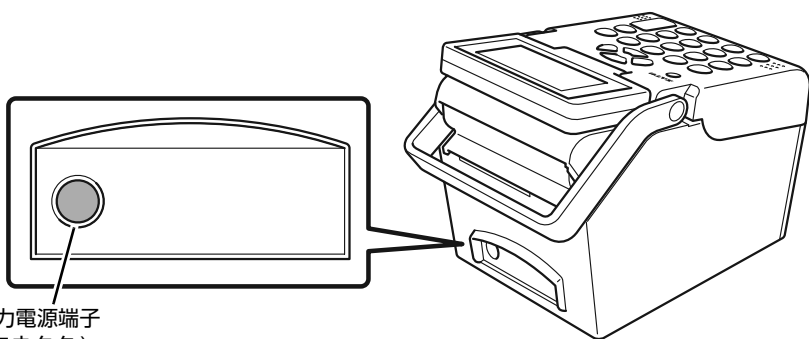
背面部 (USBモデル)



背面部 (USB+LANモデル)



背面部（無線LANモデル）



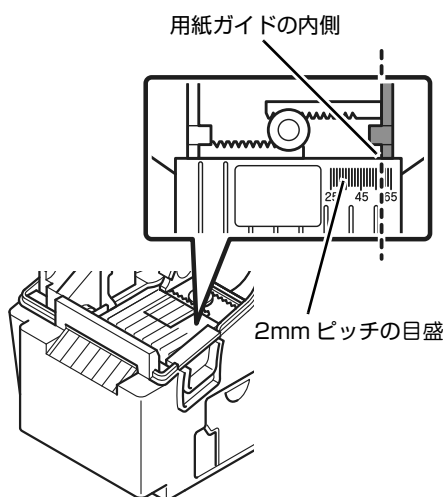
DC 入力電源端子
(電源コネクタ)

用紙をセットする

本プリンタは「連続」「ティアオフ」「センサ無視（ジャーナル）」「ハクリ」「カット」（オプション）、「ノンセパ」モードでラベルを印字できます。
また、弊社指定のサプライ製品のご使用をお願いします。

用紙幅を確認する方法

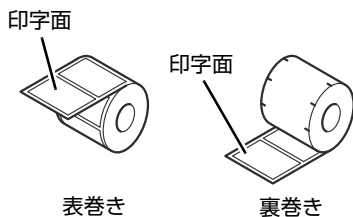
下図の目盛を使用して、用紙幅を測ることが可能です。



用紙をセットした後、用紙ガイドの内側と目盛を合わせるようにして、用紙幅を測ります。

用紙幅の目盛は25～65mmまで表示されており、1目盛が2mmです。

用紙の巻き方向について



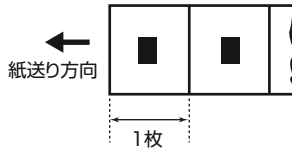
用紙は、表巻きと裏巻きがあります。印字面を上にしてセットしてください。

表巻き：印字面がラベル外側に面している
裏巻き：印字面がラベル内側に面している

用紙の種類について

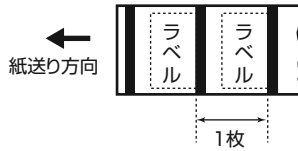
用紙の種類によって、ラベル裏面のアイマークの位置が異なります。

バーラベ固定ラベル



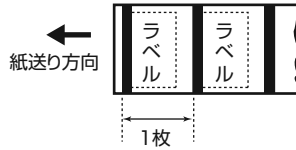
アイマークがラベルの内側に位置している。

バーラベフリーラベル



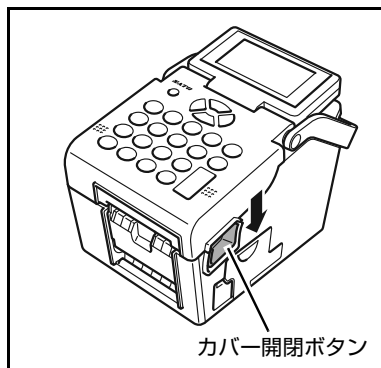
アイマークがラベルの後尾に位置している。

フチラバンラベル

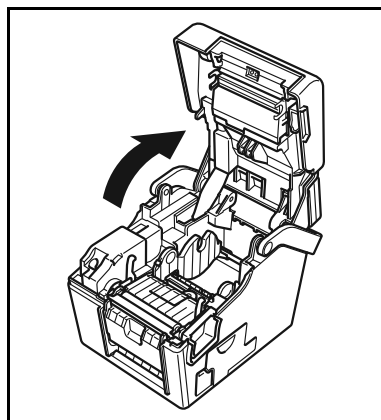


アイマークがラベルの先頭に位置している。

連続 / ティアオフ / センサ無視 (ジャーナル) / ノンセパモードの場合



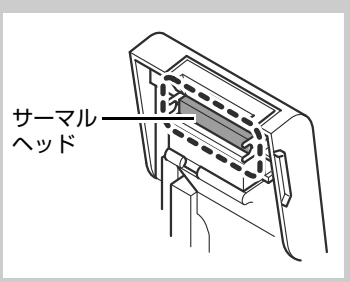
- 1 本体側面のカバー開閉ボタンを矢印方向に押します。

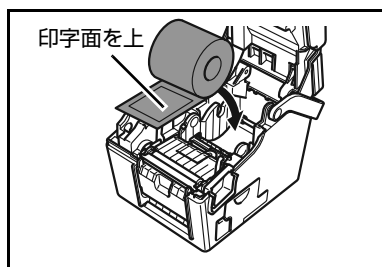


- 2 トップカバーを引き上げるようにして開きます。

注意

- 印字直後は、トップカバー側にあるサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後に用紙をセットするときには、火傷しないように十分注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れると、ケガをされるおそれがありますのでご注意ください。

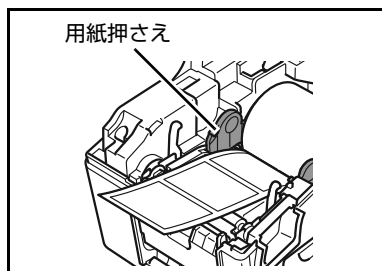


**③ 用紙を用紙ホルダにセットします。**

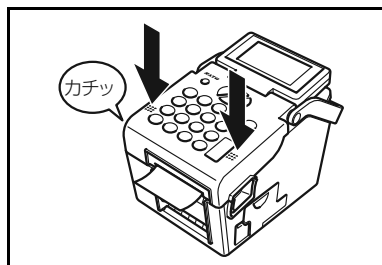
用紙は、印字面を上にしてセットしてください。



用紙には、表巻きと裏巻きの2種類があります。33ページの「用紙の巻き方向について」をご覧ください。左図は、裏巻きラベルです。

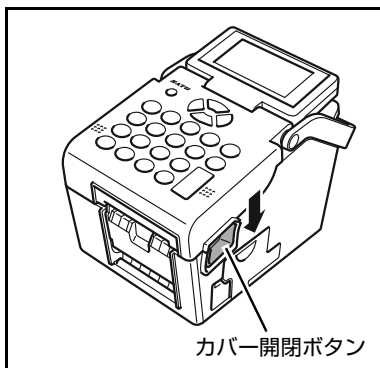
**④ 用紙ガイドをスライドさせ、用紙幅に合わせます。**

用紙が用紙押さえの下を通るようにします。

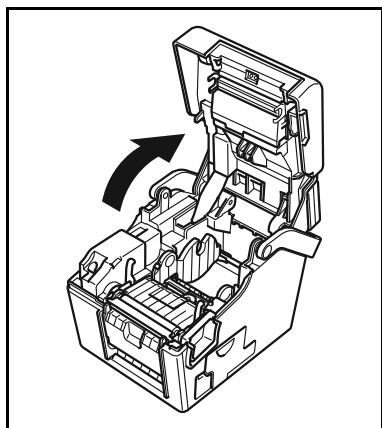
**⑤ 用紙先端を開口部から数センチ出した状態で、トップカバーを閉じます。**

カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

ハクリモードの場合



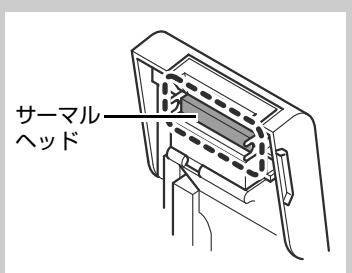
- 1 本体側面のカバー開閉ボタンを矢印方向に押します。

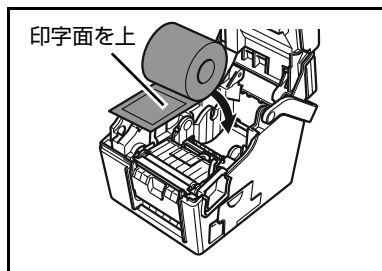


- 2 トップカバーを引き上げるようにして開きます。

⚠ 注意

- 印字直後は、トップカバー側にあるサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後に用紙をセットするときには、火傷しないように十分注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れると、ケガをするおそれがありますのでご注意ください。



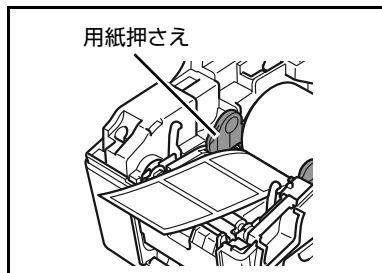
**③** 用紙を用紙ホルダにセットします。

用紙は、印字面を上にしてセットしてください。

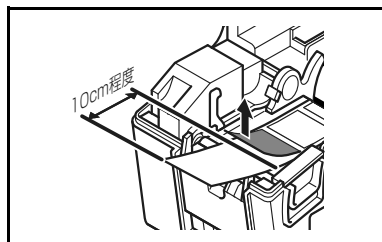
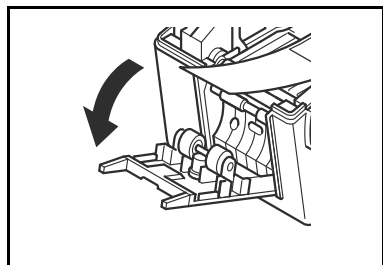


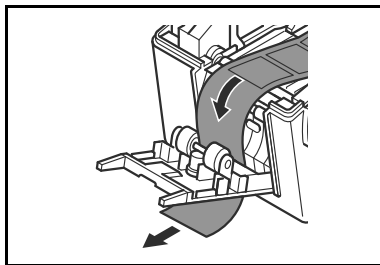
チェック

用紙には、表巻きと裏巻きの2種類があります。33ページの「用紙の巻き方向について」をご覧ください。左図は、裏巻きラベルです。

**④** 用紙ガイドをスライドさせ、用紙幅に合わせます。

用紙が用紙押さえの下を通るようにします。

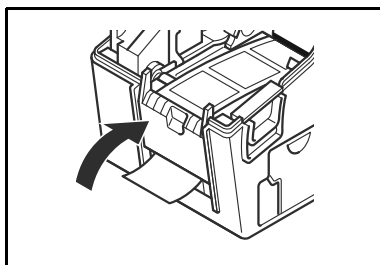
**⑤** ラベルを台紙から10cm程度はがします。**⑥** 本体前面のハクリフレームを、手前に倒します。



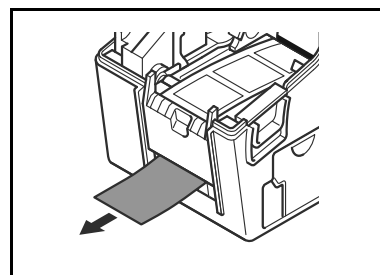
- 7 台紙を、ハクリフレームの開口部に通します。



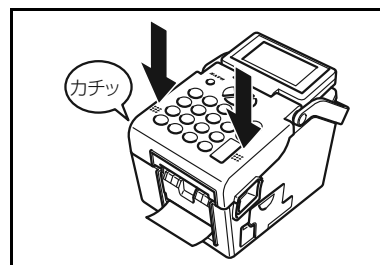
ハクリプレートとプラテンローラーの間には通さないでください。



- 8 ハクリフレームを閉じます。



- 9 台紙を軽く引いて、ラベルのたるみをなくします。



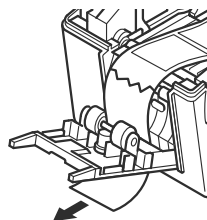
- 10 トップカバーを閉じます。
カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。



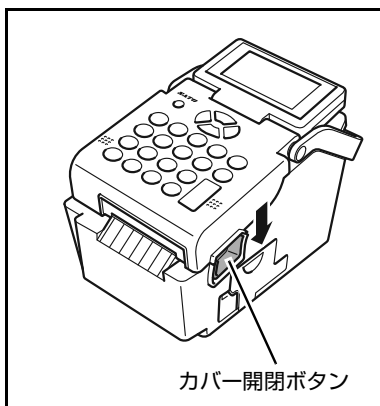
重要

ラベル交換時の注意

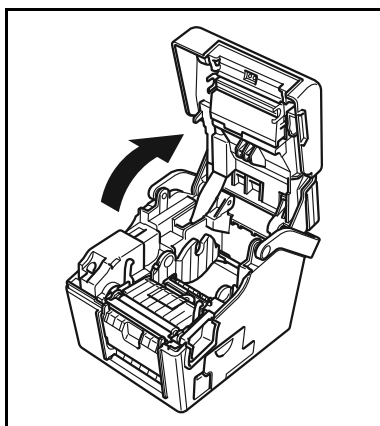
台紙を抜き取る際は、必ず、ハクリフレームを開き、台紙を切り取り、矢印方向に引き抜いてください。ハクリフレームを閉じた状態で、無理に台紙を引き抜きますと、故障の原因になる場合があります。



カッターモード (オプション) の場合



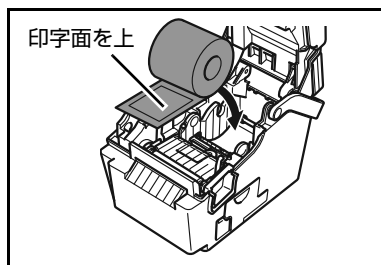
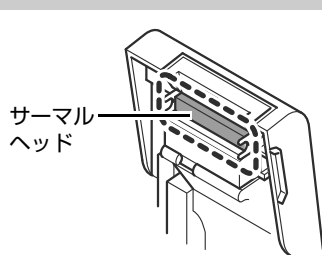
- 1 本体側面のカバー開閉ボタンを矢印方向に押します。



- 2 トップカバーを引き上げるようにして開きます。

⚠ 注意

- 印字直後は、トップカバー側にあるサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後に用紙をセットするときには、火傷しないように十分注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れると、ケガをするおそれがありますのでご注意ください。

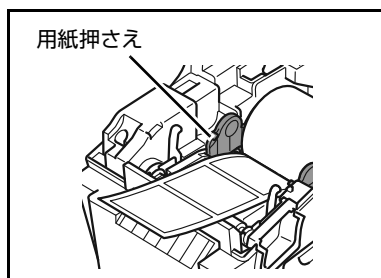


③ 用紙を用紙ホルダにセットします。

用紙は、印字面を上にしてセットしてください。

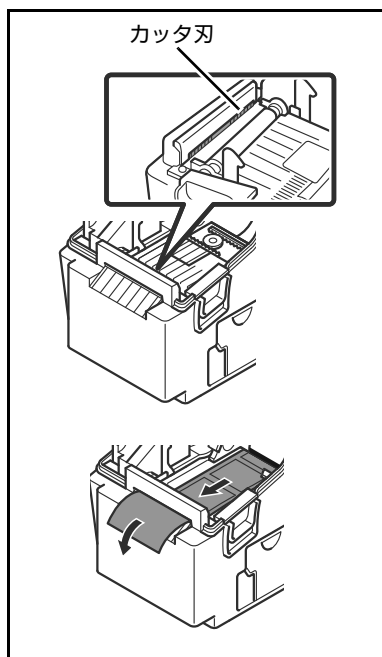


用紙には、表巻きと裏巻きの2種類があります。33ページの「用紙の巻き方向について」をご覧ください。左図は、裏巻ラベルです。



④ 用紙ガイドをスライドさせ、用紙幅に合わせます。

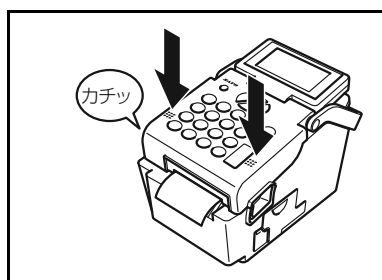
用紙が用紙押さえの下を通るようにします。



- 5 ラベルをカッタ刃に通します。

⚠ 注意

ラベルを通す際、カッタ刃に触らないように注意してください。



- 6 トップカバーを閉じます。カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

電源を入れてみましょう

本プリンタをコンセントのある場所で使用するときは、付属の専用 AC アダプタを接続します。



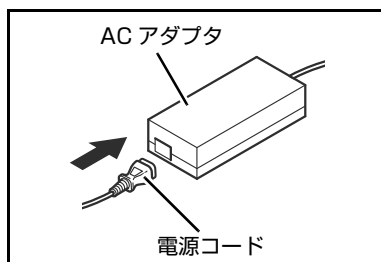
注意



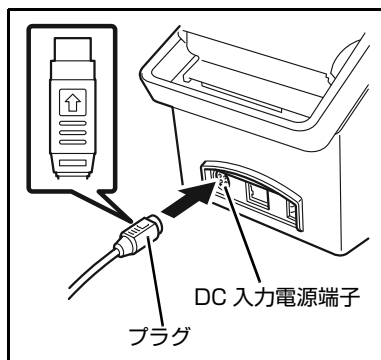
- 本プリンタに付属のACアダプタ、電源コード、3極-2極変換アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。
- 水がかかる場所で使用したり、水にぬらさないでください。火災や感電、故障の原因になります。

専用ACアダプタを接続する

本プリンタ側の接続

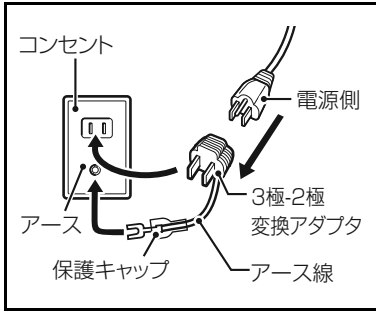


- ① ACアダプタと電源コードを接続してください。



- ② プラグは差し込む方向を確認して、本プリンタのDC入力電源端子に↑(矢印)がある面を上にして差し込みます。

コンセント側の接続



① コンセントに電源コードのプラグをしっかりと差し込みます。

② **電源** キーを1秒以上押し、電源を入れます。

⚠ 注意

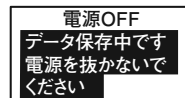
- 濡れた手で電源キーの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- ACアダプタのDC入力電源端子を取り外す際は、必ずプリンタの電源を切ってください。データ入力中または保存中に電源を切ると、データが正しく更新されない場合がありますのでご注意ください。
- ACアダプタを使用する場合、バッテリーパック（オプション）は不要です。バッテリーパックとACアダプタを同時に使用した場合、ACアダプタからの電源供給が優先されます。
- 3極-2極変換アダプタの保護キャップを外し、必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になりますのでご注意ください。
- 消費電力の大きい電気製品と同じコンセントや、その近くのコンセントから電源を供給しないでください。

🔑 重要

電源を切るときは

電源 キーを1秒以上押し、電源OFFモードに入り、設定データなどを保存後、自動的に電源をOFFします。

- この画面が表示されたら**電源** キーから指を離してください。7秒以上押し続けると設定を保存せず、電源をOFFします。
- また、電源OFFが完了する前に電源コードを抜かないでください。故障の原因になる場合があります。



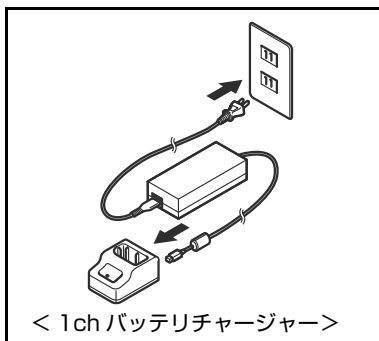
バッテリーパックの充電

バッテリーチャージャーにバッテリーパック（共にオプション）を取り付けて充電します。



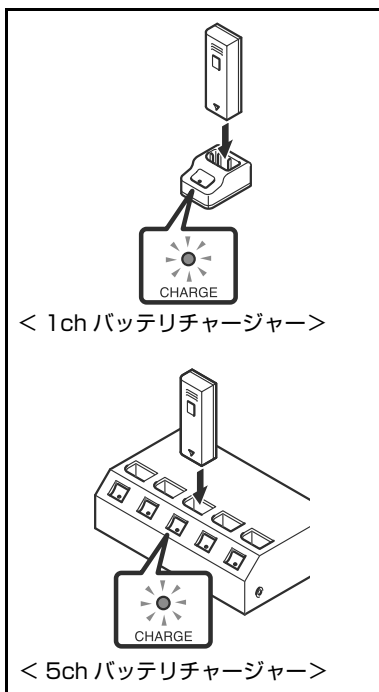
注意

バッテリーチャージャーは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。



< 1ch バッテリーチャージャー >

- 1 電源コードをバッテリーチャージャー本体に差し、コンセントにつなぎます。



< 1ch バッテリーチャージャー >

< 5ch バッテリーチャージャー >

- 2 バッテリーパックの▽を下にしてバッテリーチャージャーの挿入口に差し込みます。

充電が始まると、CHARGEランプ(赤)が点灯します。

充電が終了すると、CHARGEランプ（緑）が点灯します。（満充電）

- 3 充電が終了したら、バッテリーパックを取り外します。



重要

CHARGEランプ（赤）が点滅している場合は、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。



チェック

充電時間について

充電残量が空の状態からCHARGEランプ（緑）が点灯するまでに1chバッテリーチャージャー、5chバッテリーチャージャーの両方とも約1.5時間かかります。



重要

CHARGEランプが点灯していないときは、バッテリーパックがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。

バッテリー残量について

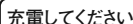
バッテリーパックは、使用するにつれて出力電圧が低くなります。出力電圧が低くなると、ラベルの発行枚数が少なくなったり、または発行できなくなります。

本プリンタの電源を入れたときや発行中に以下のような画面が表示されたら、バッテリーパックの充電をおこなってください。



バッテリー
EMPTY

- バッテリー残量が少なくなってきましたので充電してください。



充電してください

- バッテリーを充電しないと印字できません。
(数秒間ブザーが鳴り、通常画面に戻ります。)

バッテリーパックに関するお願い

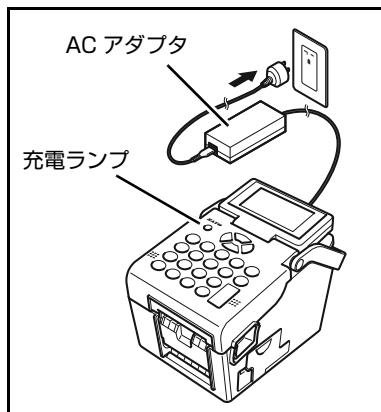
バッテリーパックの寿命は、充電回数約300回（常温使用時）です。バッテリーに貼られたステッカーに使用開始日を油性ペンで記入することで、バッテリー交換時期（寿命）の目安になります。

プリンタに専用ACアダプタを取り付けて充電する場合

プリンタにバッテリーパックを装着して充電します。

注意

本プリンタに付属のACアダプタ、電源コード、3極-2極変換アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

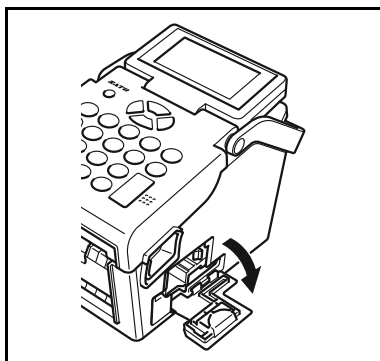


- 1 プリンタにバッテリーパックを装着し、ACアダプタをコンセントにつなぎます。
- 2 バッテリーパックの充電が始まると、本プリンタの充電ランプが赤点灯し、充電が終了すると充電ランプが消えます（満充電）。

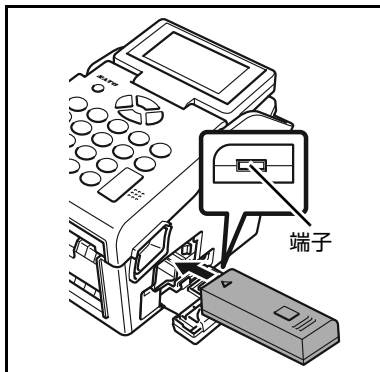
バッテリーパックの残量が空の状態から満充電になるまで、約6時間かかります。

バッテリーパックの装着と取り出しのしかた

本プリンタをコンセントのない所で使用するときには、オプション（別売）のバッテリーパックを使用します。



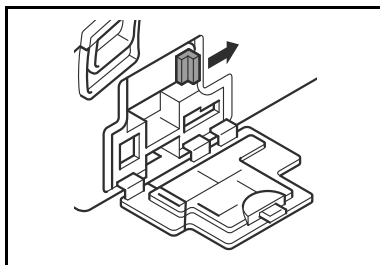
- 1 バッテリーカバーを開きます。



② バッテリーパックを図のように差し込みます。

バッテリーパックを奥まで挿入するとブルーのリリースレバーがカチッと音を立て、バッテリーパックがロックされます。

バッテリーパックは端子が見えている方から先に挿入してください。



③ バッテリーパックの取り出しは、リリースレバーを矢印方向に押しロックを外します。

バッテリーパック下部の取っ手を持って引き出してください。

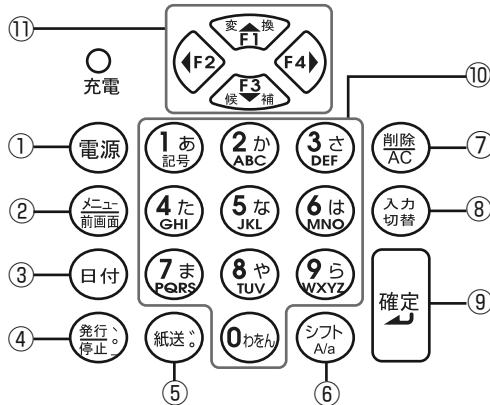
! 注意

- バッテリーパックの取り出しや、交換の際は、必ず電源を切ってください。
- 上記の操作以外で、バッテリーパックを取り出すとプリンタに記憶されている情報が更新されない場合がありますのでご注意ください。

第2章 操作パネルの使い方

キーのはたらき

本プリンタを操作するときはキーボードを使います。ここでは、それぞれのキーのはたらきを紹介します。



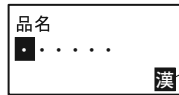
番号	本書での表現	はたらき
①	電源	・ 電源OFF時に押すと電源がONになります。電源ON時に1秒以上押すと電源がOFFになります。
②	メニュー/前画面	・ 操作の途中で、前の画面に戻りたいときに押します。 ・ 1つ上のメニューへ戻りたいときは1秒以上押します。
③	日付	・ カレンダーを一時変更するときに押します。(呼出し発行と固定発行のみ)
④	発行/停止	・ ラベルが印字されている途中で印字を停止したり、印字を再開させたりするときに押します。 ・ 文字の入力状態が「漢字(ひらがな)」および「カタカナ」のとき、句読点などが入力できます。
⑤	紙送	・ 用紙を送りたいときに押します。 ・ 文字の入力状態が「漢字(ひらがな)」および「カタカナ」のとき、濁音(゜)半濁音(゜)が入力できます。
⑥	シフト	・ 品名入力で、小さい文字(拗音・促音・小文字など)、スペースを入力するときに押します。 ・ 英文字を全角・半角変換するときに押します。
⑦	削除/AC	・ データを入力している画面で、カーソル位置にある文字を削除します。 ・ 入力した文字をすべて消したいときは1秒以上押します。

番号	本書での表現	はたらき
⑧	入力切替	<ul style="list-style-type: none"> 品名入力で入力状態を切替えるときに押します。 呼出し発行時、呼出し名検索やバーコード検索を使用するときに押します。 漢字(ひらがな)⇒全角カタカナ⇒半角カタカナ⇒英大文字⇒英小文字⇒数字⇒JIS入力の順に変わります。
⑨	確定	<ul style="list-style-type: none"> 入力したデータを確定するときや、操作を進めるときに押します。
⑩	数字キー / 文字キー	<ul style="list-style-type: none"> 数字キーは、価格やバーコードデータなどの数値を入力するときに押します。 品名入力のときは、漢字(ひらがな)・カタカナ・英文字が入力できます。
⑪	<ul style="list-style-type: none"> ▲ ▼ ◀ ▶ 	<ul style="list-style-type: none"> 項目を選ぶ画面では■(カーソル)を表示します。 ▲▼◀▶キーを押して、カーソルを目的の項目に合わせます。 バーコードデータなどを入力するときは、カーソル位置に文字が入ります。 ▲キーで、入力した文字を漢字変換します。 ▼キーで、入力した文字の変換候補に移動します。

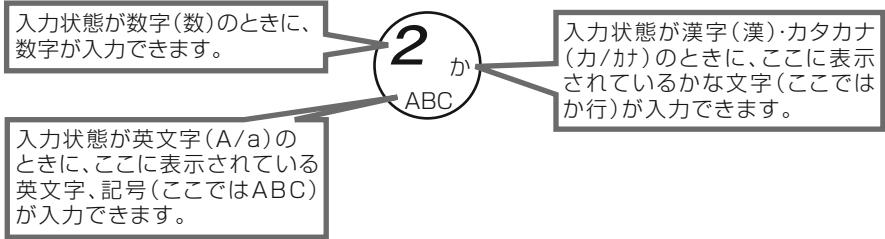
文字を入力する

漢字(ひらがな)・カタカナ・英数字(大文字、小文字)・数字・記号を入力できます。

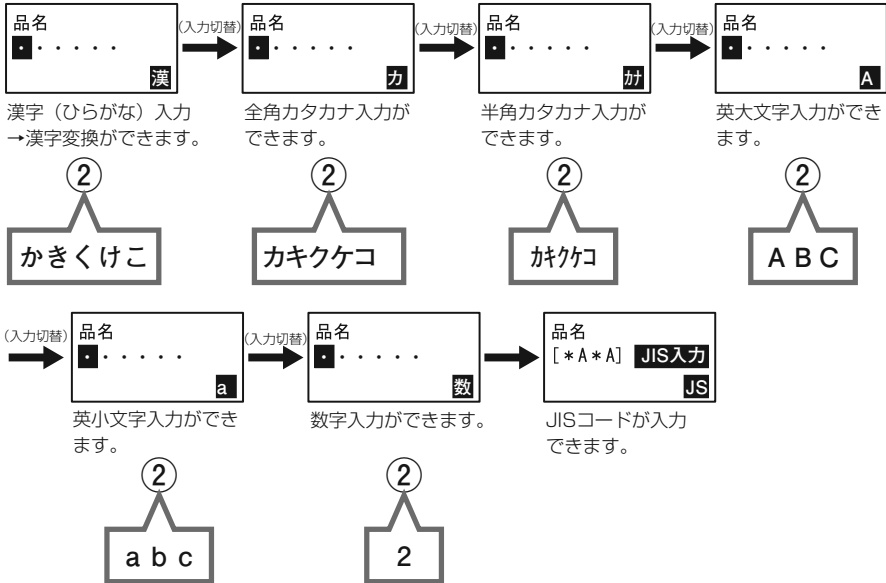
■ 漢字(ひらがな)・カタカナ・英数字・数字・記号の使い分け



画面のこの部分に入力モードが表示されます。



スタート



(注) 固定発行モードでは、漢字の場合は最大6文字まで登録可能です。
半角カタカナ・英文字・数字・記号は最大12文字まで登録可能です。

■ いろいろな文字の入力のしかた

<漢字（ひらがな）>

入力切替 キーを押して**漢字（ひらがな）** モードにする。

種類	例	入力方法
清音	あ	あ
拗音 (促音)	ぁ	あ+ シフト キー ※ シフト キーを押すと、小文字に変換できます（「文字一覧」52ページ）。
濁音 半濁音	ば ぱ	は+ 紙送 キー1回押す（ [˘] ） は+ 紙送 キー2回押す（ [˚] ） ※濁音（ [˘] ）半濁音（ [˚] ）は清音を入力した後に 紙送 キーを押します。
句読点	、 。 ー	発行/停止 キー 発行/停止 キー×2回 発行/停止 キー×3回

<英文字>

入力切替 キーを押して**A**または**a**モードにする。

種類	例	入力方法	
大文字	A (全角)	A (半角) + シフト キー	英大文字は、初期設定で半角に設定されています。
	A (半角)	A (全角) + シフト キー	シフト キーを押すと全角・半角の切替えができます。
小文字	a (全角)	a (半角) + シフト キー	英小文字は、初期設定で半角に設定されています。
	a (半角)	a (全角) + シフト キー	シフト キーを押すと全角・半角の切替えができます。

<スペース>

間隔を空けたい場所にカーソルを移動して **シフト** キーを押すと、スペースを入力できます。

■ 文字一覧

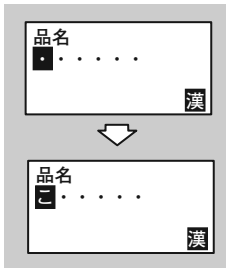
各入力状態への切替えかた	電源ON時	(入力切替)	(入力切替)	(入力切替)	(入力切替)	(入力切替)
キー	漢字 (ひらがな)	全角カタカナ	半角カタカナ	英大文字	英小文字	数字
1	あいうえお あいうえお 1	アイウエオ アイウエオ 1	アイイ アイイ1	. _ / : ~ () # % & ! 1	. _ / : ~ () # % & ! 1	1
2	かきくけこ2	カキクケコカケ 2	かきくけこ2	A B C 2	a b c 2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	サシセソ3	D E F 3	d e f 3	3
4	たちつとっ4	タチツテトッ 4	たぢつとっ4	G H I 4	g h i 4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	ナニネノ5	J K L 5	j k l 5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	ヒフヘホ6	M N O 6	m n o 6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	マミメモ7	P Q R S 7	p q r s 7	7
8	やゆよやゆよ8	ヤユヨヤユヨ8	やぢゆいよ8	T U V 8	t u v 8	8
9	らりるれる9	ラリルレロ9	りルロ9	W X Y Z 9	w x y z 9	9
0	わをんわ0	ワランッ 0	ワッ0	スペース0	スペース0	0
(発行/停止)	. _ -	. _ -	. _ -			
(紙送)	. _ .	. _ .	. _ .			

文字の入力方法

漢字編

かな漢字変換機能を利用して、漢字が入力できます。漢字の入力方法を、例（高原野菜）にもとづいて説明します。この例では、「高原野菜」を「高原」と「野菜」に分けて、漢字変換をおこなっています。

例 高原野菜（こうげんやさい）



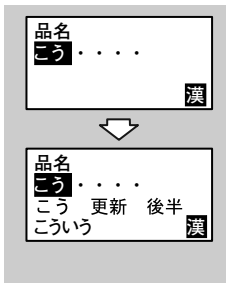
① [か] を5回押して、「こ」を表示します。



3段目、4段目に変換候補が使用頻度の高い順に表示されます。



入力中に **削除/AC** キーを押すと最後の1文字を消去して、別の変換候補が表示されます。長押しするとすべて消去されます。

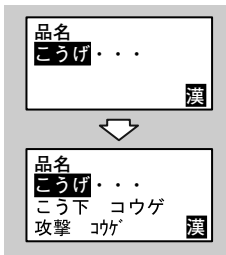


② [あ] を3回押して、「う」を表示します。

同様に変換候補が表示されます。



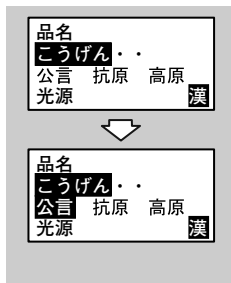
- 入力中に変換候補を選択しないで **確定** キーを押すと、変換されずに「ひらがな」で確定されます。
- 変換候補は最大10個まで表示されます。



③ [か] を4回押して、「け」を表示します。

紙送 キーを1回押して、「`」を表示します。

同様に変換候補が表示されます。

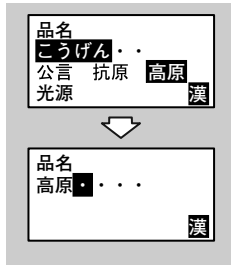


- ④ [わをん] を3回押して、「ん」を表示します。

▼キーを押して、変換候補にカーソルを移動します。



- ▲キーを押すと、入力した文字を漢字変換できます。
- ▼キーを押すと、入力した文字の変換候補に移動できます。

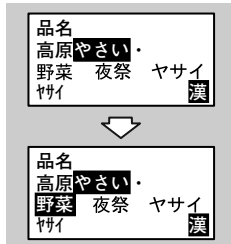


- ⑤ ◀▶キーで変換候補まで移動し、**確定**キーを押します。

「高原」が品名として確定されます。

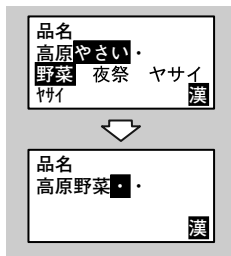


変換候補選択中に**入力切替**キーを押すと選択中の候補が確定し、入力モードが切替ります。



- ⑥ 前の手順と同じように「やさい」と入力します。

変換候補が表示されますので、▼キーを押し、◀▶キーで変換候補まで移動します。

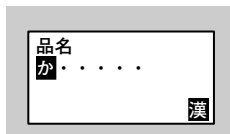


- ⑦ **確定**キーを押すと、「野菜」が品名として確定されます。さらに**確定**キーを押すと、登録が終了します。

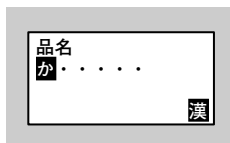
同じ文字キーを続けて使用するときは

続けて同じ文字キーを使用しない文字の場合は、**▶**キーを押してカーソルをとなりにも移動させる必要はありませんが、「かき」など、同じ文字キーを続けて使うときは、**▶**キーを押してから、次の文字を入力してください。

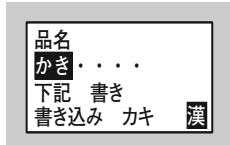
例 かき



- 1 [か] を1回押します。



- 2 そのまま **▶**キーを1回押します。

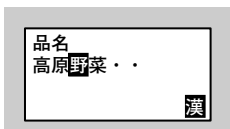


- 3 [か] を2回押します。

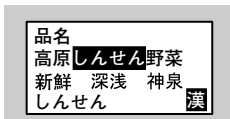
漢字の挿入について

かな漢字変換の入力画面では、カーソル位置に文字が挿入できます。

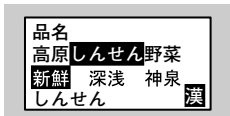
例「高原野菜」の「野菜」の前に「新鮮」を挿入する場合



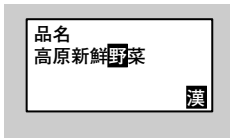
- 1 画面2段目の「野」にカーソルを移動します。



- 2 ひらがなで「し」「ん」「せ」「ん」と入力します。



- 3 **▼**キーを押すと、変換候補にカーソルが移動します。**◀▶**キーで変換候補までカーソルを移動します。

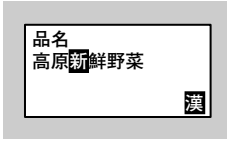


- 4 **確定**キーを押すと、「新鮮」を確定し、挿入されます。

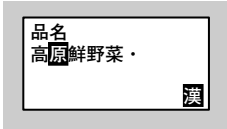
漢字の削除について

カーソル位置の文字が削除できます。

例「新」を削除する場合



- ① 「新」にカーソルを移動します。



- ② **削除/AC** キーを押すと、「新」が削除され、左に文字が詰まります。**削除/AC** キーの長押しで、すべての漢字を削除します。

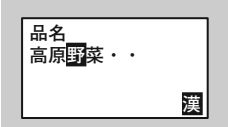





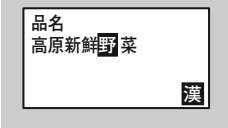
漢字の追加について

漢字を確定した後、続けて入力します。

JIS漢字コード入力

JIS 漢字コードを使用して漢字入力を行います。

例「高原野菜」の「高原」と「野菜」の間に「新鮮」を入力する場合

- ① 文字を挿入する場所にカーソルを移動します。
 
- ② **入力切替** キーを6回押して、JISコード入力画面を表示します。
 
- ③ 「新」のJISコード3F37を入力し、**日付** キーを押します。
 
- ④ “新”が表示されます。**確定** キーを押して決定します。
 
- ⑤ 「鮮」のJISコード412Fを入力し、**日付** キーを押します。“鮮”が表示されたら**確定** キーで決定します。
 
- ⑥ すべての文字が表示されたら**入力切替** キーを押します。
 
- ⑦ JIS漢字コードで入力した「新鮮」が指定した位置に挿入されていることを確認してください。
 

✓ チェック

- JIS漢字コードで数字を入力した場合は、カーソルが自動で右に移動します。
- アルファベット入力は、**▲** **▼** キーを押して A～F を選び、**▶** キーを押して右に移動してください。

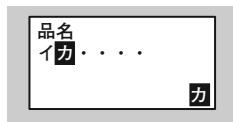
例 イカ



- ① **入力切替** キーを押して「カ」（全角カタカナ）を選びます。

[あ] を2回押します。

「イ」が表示されます。



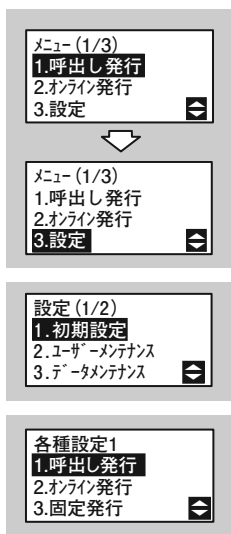
- ② **か** を1回押すと、カーソルが1つ右にずれて、「カ」が表示されます。

確定 キーを押すと、「イカ」が登録されます。

第3章 呼出し発行

呼出し発行の初期設定

はじめて呼出し発行をおこなう前に以下の手順で初期設定をおこなってください。設定した内容は電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。



- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

- ② “1. 初期設定” を選び、**確定** キーを押します。

「各種設定」画面が表示されます。

- ③ “1. 呼出し発行” を選び、**確定** キーを押します。

「用紙種別」画面が表示されます。

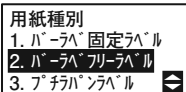
以降 18 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で**▲****▼**キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定**キーを押してください。

No	項目	初期値	参照ページ
1	用紙種別	バーラベフリーラベル	60 ページ
2	用紙サイズ	25mm	60 ページ
3	発行形態	連続	61 ページ
4	印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット	61 ページ
5	呼出し名検索文字桁数設定	3桁	62 ページ
6	バーコード検索	あり	62 ページ
7	呼出し発行履歴データ転送	あり	62 ページ
8	呼出し履歴データ転送方法	SD	62 ページ
9	プリンタNo.	0000	62 ページ
10	連番保持機能設定	あり	62 ページ
11	都度発行	なし	63 ページ
12	発行枚数表示	する	63 ページ
13	発行後戻先指定	しない	63 ページ
14	価格未入力許可	しない	63 ページ
15	本体メンテナンス	なし	63 ページ
16	QRコード発行	なし	64 ページ
17	税率優先設定	ツール設定優先	64 ページ
18	税率設定	1：00.0% 2：00.0%	64 ページ

用紙種別

呼出し発行に使用する用紙の種類を選びます。用紙種類の詳細については 34 ページをご覧ください。

- バーラベ固定ラベル
- バーラベフリーラベル
- プチラパンラベル



用紙サイズ

用紙サイズを選びます。この画面は前項の「用紙種別」画面で“バーラベ固定ラベル”を選んだときのみ表示されます。

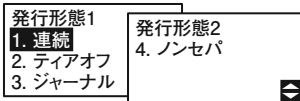
- 16mm
- 20mm
- 25mm
- 35mm
- 38mm



発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ジャーナル
- ノンセパ
- カッタ（カッタ搭載機のみ）
- ノンセパカッタ（カッタ搭載機のみ）

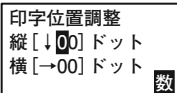


✓チェック

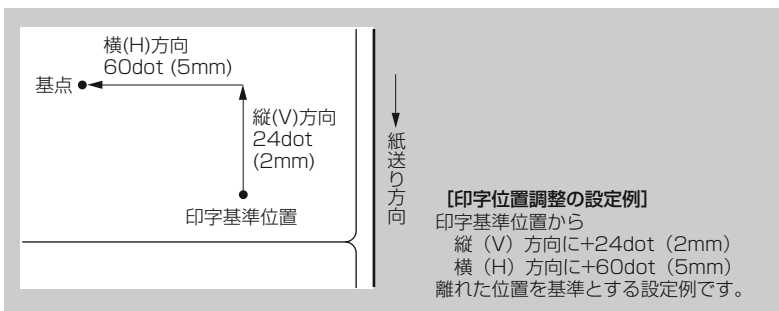
- ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（66 ページ）で「ハクリ」を選んでください。
- カッタでは、バーラベ固定ラベルが使用できません。
- ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選び、印字位置を 00 ～ 60 の範囲でドット単位で調整します。



シフトキーを押して、縦方向（↑↓） / 横方向（←→）を切替えられます。



✓チェック

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。よって、1dot=0.083mmになります。

呼出し名検索文字桁数設定

呼出し発行において、「呼出し名検索」をおこなうときの検索文字数を設定します。

先頭から何桁検索するか、桁数を1～8で入力し[確定]キーを押します。

呼出し名検索 文字桁数設定	3 桁 数
------------------	-------------

バーコード検索

呼出し発行において、「バーコード検索」をおこなう場合は、“あり”を選びます。

バーコード 検索	1. あり 2. なし
-------------	----------------

呼出し発行履歴データ転送

呼出し発行の履歴データを起動時に転送するかどうかを設定します。

発行履歴データを約10万件保存できます。

呼出し発行 履歴データ転送	1. あり 2. なし
------------------	----------------

呼出し履歴データ転送方法

呼出し発行の履歴データの転送方法を設定します。

チェック

この画面は「呼出し発行履歴データ転送」(62ページ)を“あり”に設定した場合のみ表示します。また、この画面はUSB+LANモデルと無線LANモデルのみ表示します。

呼出し履歴 データ転送方法	1. SD 2. FTP
------------------	-----------------

プリンタNo.

1台のホストにLANで複数台、本プリンタをネットワーク接続した場合、ホスト側から個々のプリンタを識別するための番号です。

プリンタNo.	000	数
---------	-----	---

連番保持機能設定

ラベルに通し番号を印字するかどうかを設定します。本プリンタの電源を切っても、通し番号は保持されます。ただし、電源を切る前と同一の呼出しデータを選択した場合に限りです。

連番保持 機能設定	1. あり 2. なし
--------------	----------------

都度発行

「都度発行」はハクリ発行時のみ有効です。

「都度発行」を“あり”にすると、**発行/停止**キーを押すたびに、ラベルを1枚印字します。

都度発行
1. あり
2. なし
▼

“なし”にすると、**発行/停止**キーを押すまで、ラベルを1枚ずつ印字します。

発行枚数表示

発行枚数表示をするかどうかを設定します。

発行枚数表示
1. する
2. しない
▼

発行後戻先指定

発行後戻先指定をするかどうかを設定します。

発行後戻先指定
1. しない
2. する
▼

価格未入力許可

価格未入力を許可するかどうかを設定します。

価格未入力許可
1. しない
2. する
▼

本体メンテナンス

呼出し発行において、「本体メンテナンス」をおこなう場合は、“あり”を選びます。

— チェック —

本体メンテナンス
1. あり
2. なし
▼

本機能を使用するためには、FIツールPRO（オプション）でデータを作成する必要があります。詳しくは、販売店、ディーラー、または弊社営業担当にお問い合わせください。

QRコード発行

呼出し発行において、「QRコード発行」をおこなう場合は、“あり”を選びます。

— チェック —

本機能を使用するためには、F1ツールPRO（オプション）でデータを作成する必要があります。詳しくは、販売店、ディーラー、または弊社営業担当にお問い合わせください。

QRコード発行
1. あり
2. なし



税率優先設定

ツールで設定した税率と本体で設定した税率のどちらを優先するか設定します。

税率優先設定
1. ツール設定優先
2. 本体設定優先



税率設定

税率を設定します。本画面で設定する税率は、価格総額表示設定（208 ページ）の税率と共通の設定となります。この画面は前項の「税率優先設定」画面で“本体設定優先”を選んだときのみ表示されます。

税率設定
1. 00.0%
2. 00.0%

数

ラベルの発行

SD カードをプリンタに挿入し、SD カードに登録したデータ呼び出してラベルを発行します。

メニュー (1/3)
1.呼出し発行
2.オンライン発行
3.設定

- ① “1. 呼出し発行” を選び、**確定** キーを押します。

呼出しNo
[]
2010/01/26 17:45
入力切替・検索 数

- ② データを呼び出します。

呼出しNo 直接呼出しNoを入力し、**確定** キーを押します。

呼出し名検索 「呼出しNo」画面で**入力切替**キーを押すと表示されます。任意で登録した呼出し名を入力して、**確定**キーを押します (67 ページ)。

バーコード検索 「呼出し名検索」画面で**▲**キーを押すと表示されます。

登録済みのバーコードをスキャナで入力します。手入力する場合はバーコードを入力し、**確定**キーを押します (68 ページ)。

QRコード発行 「バーコード検索」画面で**▲**キーを押すと表示されます。

QRコード内のデータを参照して発行します。QRコードをスキャナで入力します。

呼出し名検索

↑ : バーコード検索か

呼出し名検索

バーコード検索

↑ : QRコード 数

バーコード検索

QRコード発行

F2 : QRで登録
↑ : 呼出名検索

QRコード発行



- 「バーコード検索」画面は初期設定で「バーコード検索」が“あり”に設定されている場合のみ表示されます (62 ページ)。
- 呼出しテーブルを使用した場合は、1段目の表示 (呼出しNo、呼出し名検索、バーコード検索) が反転表示します。
- 呼出しテーブルを使用しない場合は、「バーコード検索」画面の最下段の表示が変わり、「QRコード発行」画面は表示されません。

発行枚数

[*****] 1 数

- ③ 発行するラベル枚数を入力し、**確定** キーを押します。

連続発行 / ティア
オフ発行時

発行中

XXXXXX/XXXXXX 枚
停止キーで中断

停止中

XXXXXX/XXXXXX 枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中

停止キーで終了

④ 発行を開始します。

発行が終わると手順②に戻ります。



- 連続発行/ティアオフ発行時は **発行/停止** キーで発行が一時中断します。再度、**発行/停止** キーを押すと発行します。
- ハクリ発行時は **発行/停止** キーで発行が終了します。

発行種別選択

初期設定の発行形態を「連続」または「ティアオフ」に設定している場合に、メニュー画面または呼出し No 入力画面で **▶** キーを押すと発行種別選択画面が表示されます。発行種別選択画面で「ハクリ」を選ぶとハクリ発行します。

発行種別を
選択してください
1. 連続 (ティアオフ)
2. ハクリ

① 発行モードを選び、**確定** キーを押します。

呼出しNo入力画面に戻ります。

データの呼出し

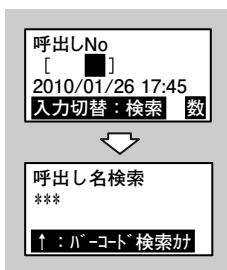
データの呼出し方法は以下の4通りです。

- 呼出しNo 任意で作成した呼出しデータの番号で検索します。
- 呼出し名検索 任意で登録した呼出し名で検索します。
- バーコード検索 任意で登録したバーコードで検索します。
- QRコード発行 QRコードをスキャンします。

ここでは呼出し名検索、バーコード検索、QRコード発行について説明します。

呼出し名検索

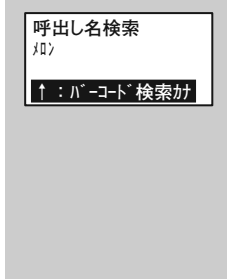
呼出し名検索をおこなうためには、FIツールで検索項目に登録する必要があります。あらかじめFIツールで作成した呼出しデータを呼出し名を使ってSDカードから呼び出します。



- 1 「呼出しNo」画面で、**入力切替** キーを押して「呼出し名検索」画面を表示させます。

— チェック —

呼出しテーブルを使用した場合は、1段目の表示（呼出しNo、呼出し名検索）が反転表示します。

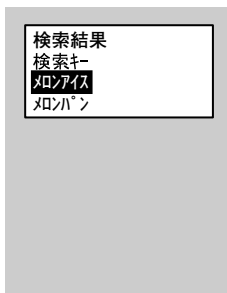


- 2 数字キーで文字を入力します。

入力切替 キーで入力文字種（カナ、英大・小文字、数字）を選びます。呼出し名を入力し、**確定** キーを押して検索を開始します。

— チェック —

検索する桁数は初期設定の「呼出し名検索文字桁数」で設定します（62 ページ）。



- 3 **▲▼◀▶** キーで候補を選択し、**確定** キーで決定します。

2段目に検索入力データ、3段目と4段目に候補が表示されます。すべての候補が表示されるため、複数の場合は、次の画面に続きます。

確定 キーを押すと決定した呼出しデータの最初の画面に変わります。

該当する呼出しデータがない場合は、検索エラーとなり、「呼出し名検索」画面に戻ります。

バーコード検索

バーコード検索をおこなうためには、FI ツールで検索項目に登録する必要があります。

あらかじめFI ツールで作成した呼出しデータをバーコードを使ってSDカードから呼出します。



- 1 「呼出し名検索」画面で、**[▲]**キーを押して「バーコード検索」画面を表示させます。

— チェック —

呼出しテーブルを使用した場合は、1段目の表示（呼出しNo、呼出し名検索）が反転表示します。

- 2 バーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、**[確定]**キーを押します。該当する呼出しデータの最初の画面に変わります。

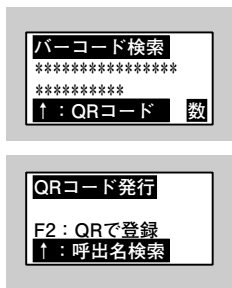
該当する呼出しデータがない場合は、検索エラーとなり、「バーコード検索」画面に戻ります。

— チェック —

呼出しテーブルを使用した場合は、1段目の表示（バーコード検索）が反転表示します。

QRコード発行

あらかじめ作成したQRコードを使って発行します。



- 1 「バーコード検索」画面で、**[▲]**キーを押して「QRコード発行」画面を表示させます。

- 2 QRコードをスキャナ入力します。該当するフォーマットが表示されます。

該当する呼出しデータがない場合は、検索エラーとなり、「バーコード検索」画面に戻ります。

QRコード登録

QRコード内のデータを、呼出しテーブルのプリセットデータとして登録します。

—  チェック —

プリセットデータを登録した後は、登録したSDカードのデータをお客様でバックアップされることを推奨します。

QRコード登録

QRコード発行

F2：QRで登録
↑：呼出名検索


- 1 「QRコード発行」画面で、キーを押して「QRコードで登録」画面を表示させます。

QRコードで登録

F2：登録終了
スキャンしてください

- 2 QRコードをスキャンします。

登録しますか？
呼出しNo[*21]
ハンガ-
はい / いいえ

- 3 “はい”を選び、キーを押します。

QRコード内のデータが呼出しテーブルのプリセットデータとして登録されます。

上書きをする？
呼出しNo[*21]
ハンガ-
はい / いいえ

スキャンした呼出し No のプリセットデータがすでに存在する場合

QRコード発行・登録

QRコード発行し、さらにそのデータをプリセットデータに登録します。発行枚数入力画面は表示されず、1枚発行されます。



- 1 電源を切ります。
- 2 **4**キーを押しながら、**電源**キーを押します。「QRコードで登録」画面が表示されたら、キーから指を離してください。

QRコードで登録

スキャンしてください

- 3 QRコードをスキャンします。

登録しますか？
呼出しNo[*21]
ハンバーガー
はい / いいえ

スキャンした呼び出し No のプリセットデータがすでに存在する場合

上書きをする？
呼出しNo[*21]
ハンバーガー
はい / いいえ

- 4 ラベル発行後、登録確認画面が表示されます。“はい”を選び、**確定**キーを押します。

QRコード内のデータが呼出しテーブルのプリセットデータとして登録されます。

プリセットデータの登録が完了したら、電源を切ってください。

本体メンテナンス

呼出しテーブルのプリセットデータ、漢字テーブル、店名テーブルの編集をおこないます。呼出しテーブルデータ、漢字テーブル、店名テーブルが入ったSDカードをプリンタに挿入した状態で操作します。この画面は「本体メンテナンス」画面（63ページ）で“あり”を選んだときのみ表示されます。



テーブルデータを編集した後は、登録したSDカードのデータをお客様でバックアップされることを推奨します。

呼出しNo
[]
2010/01/26 17:45
入力切替・検索 数

- 1 「呼出しNo」画面で、**◀**キーを押して「本体メンテナンス」画面を表示させます。

本体メンテナンス
1. 呼出しテーブル
2. 漢字テーブル
3. 店名テーブル **▶**

- 2 編集する項目を選び、**確定**キーを押します。

呼出しテーブル

本体メンテナンス
1. 呼出しテーブル
2. 漢字テーブル
3. 店名テーブル **▶**

- 1 「本体メンテナンス」画面で“呼出しテーブル”を選び、**確定**キーを押します。

呼出しテーブル
1. **登録**
2. 変更
3. 削除 **▶**

- 2 編集内容を選び、**確定**キーを押します。


登録

呼出しテーブル
1. **登録**
2. 変更
3. 削除 **▶**

- 1 「呼出しテーブル」画面で“登録”を選び、**確定**キーを押します。


呼出しテーブル登録
レイアウトNo [* * *]

- 2 登録するレイアウトNoを入力し、**確定**キーを押します。

呼出しテーブル登録
呼出しNo[***] 
北°-No[****]


- ③ 登録するレイアウトNoを入力し、**確定**キーを押します。

「コピー No」入力欄にカーソルが移動します。

呼出しテーブル登録
呼出しNo[**13] 
北°-No[****]

- ④ すでに登録されているデータをコピーする場合は、コピー元の呼出しNoを入力し、**確定**キーを押します。コピーしない場合は、入力しないで**確定**キーを押します。

X X X X

**** 


- ⑤ 各プリセットデータを入力し、**確定**キーを押します。
登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

登録しますか？
呼出しNo[**13]
ベーコンポテト
はい/いいえ


- ⑥ 確認画面で“はい”を選び、**確定**キーを押します。

入力したデータが登録されます。

変更


呼出しテーブル
1. 登録
2. **変更** 
3. 削除

- ① 「呼出しテーブル」画面で“変更”を選び、**確定**キーを押します。

呼出しテーブル変更
呼出しNo[***] 

- ② 登録する呼出しNoを入力し、**確定**キーを押します。

X X X X

**** 


- ③ 各プリセットデータを入力し、**確定**キーを押します。
初期値に変更前のデータが表示されます。

変更しますか？
呼出しNo[**13]
ベーコンポテト
はい/いいえ

- ④ 確認画面で“はい”を選び、**確定**キーを押します。

入力したデータに変更されます。

削除

呼出しテーブル
1. 登録
2. 変更
3. **削除** 

- ① 「呼出しテーブル」画面で“削除”を選び、**確定**キーを押します。

呼出しテーブル削除
呼出しNo[***]

- ② 削除する呼出しNoを入力し、**確定**キーを押します。

削除しますか？
呼出しNo[**13]
ペーコンポテト
はい/いいえ

- ③ 確認画面で“はい”を選び、**確定**キーを押します。
データが削除されます。

漢字テーブル

本体メンテナンス
1. 呼出しテーブル
2. 漢字テーブル
3. 店名テーブル

- ① 「本体メンテナンス」画面で“漢字テーブル”を選び、**確定**キーを押します。

漢字テーブル
1. テーブル例①
2. テーブル例②
3. テーブル例③

- ② 編集する漢字テーブルを選び、**確定**キーを押します。

テーブル例①
1. 登録
2. 変更
3. 削除

- ③ 編集内容を選び、**確定**キーを押します。

登録

テーブル例①
1. 登録
2. 変更
3. 削除

- ① 編集内容選択画面で“登録”を選び、**確定**キーを押します。

漢字テーブル登録
登録番号 [***]
北元番号[***]

- ② 登録する登録番号を入力し、**確定**キーを押します。
「コピー番号」入力欄にカーソルが移動します。

漢字テーブル登録
登録番号 [**14]
北元番号[***]

- ③ すでに登録されているデータをコピーする場合は、コピー元の登録番号を入力し、**確定**キーを押します。コピーしない場合は、入力しないで**確定**キーを押します。

漢字テーブル登録
神奈川県産 *****
***** 漢

- ④ データを入力し、**確定**キーを押します。
登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

登録しますか？
登録番号 [**14]
静岡県産
はい / いいえ

- ⑤ 確認画面で“はい”を選び、**確定** キーを押します。
入力したデータが登録されます。

変更

テーブル例①
1. 登録
2. **変更**
3. 削除

- ① 編集内容選択画面で“変更”を選び、**確定** キーを押します。

漢字テーブル変更
登録番号 [***]

- ② 変更する登録番号を入力し、**確定** キーを押します。

漢字テーブル変更
神奈川県産 *****

***** 漢

- ③ データを入力し、**確定** キーを押します。
初期値に変更前のデータが表示されます。

変更しますか？
登録番号 [**14]
静岡県産
はい / いいえ

- ④ 確認画面で“はい”を選び、**確定** キーを押します。
入力したデータに変更されます。

削除

テーブル例①
1. 登録
2. 変更
3. **削除**

- ① 編集内容選択画面で“削除”を選び、**確定** キーを押します。

漢字テーブル削除
登録番号 [***]

- ② 削除する登録番号を入力し、**確定** キーを押します。

削除しますか？
登録番号 [**14]
静岡県産
はい / いいえ

- ③ 確認画面で“はい”を選び、**確定** キーを押します。
データが削除されます。

店名テーブル

本体メンテナンス

1. 呼出しテーブル
2. 漢字テーブル
3. 店名テーブル

- ① 「本体メンテナンス」画面で“店名テーブル”を選び、**確定**キーを押します。

店名テーブル

1. 登録
2. 変更
3. 削除

- ② 編集内容を選び、**確定**キーを押します。

登録

店名テーブル

1. 登録
2. 変更
3. 削除

- ① 「店名テーブル」画面で“登録”を選び、**確定**キーを押します。

店名テーブル登録

登録番号 [*****■**]
北元番号[*****■**]

- ② 登録する登録番号を入力し、**確定**キーを押します。

「コピー元番号」入力欄にカーソルが移動します。

店名テーブル登録

登録番号 [**14]
北元番号[*****■**]

- ③ すでに登録されているデータをコピーする場合は、コピー元の登録番号を入力し、**確定**キーを押します。コピーしない場合は、入力しないで**確定**キーを押します。

店名

*****漢

- ④ 店名を入力し、**確定**キーを押します。

登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

住所

*****漢

- ⑤ 住所を入力し、**確定**キーを押します。

登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

電話番号

*****数

- ⑥ 電話番号を入力し、**確定**キーを押します。

登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

メモ

*****漢

- ⑦ メモを入力し、**確定**キーを押します。

登録されているデータをコピーした場合は、初期値にコピー元のデータが表示されます。

登録しますか？
登録番号【**14】
新宿店
はい/いいえ

- ⑧ 確認画面で“はい”を選び、**確定**キーを押します。
入力したデータが登録されます。

変更

店名テーブル
1. 登録
2. **変更**
3. 削除

- ① 「店名テーブル」画面で“変更”を選び、**確定**キーを押します。

店名テーブル変更
登録番号 【**#】

- ② 変更する登録番号を入力し、**確定**キーを押します。

店名

*****漢

- ③ 店名を入力し、**確定**キーを押します。
初期値に変更前のデータが表示されます。

住所

*****漢

- ④ 住所を入力し、**確定**キーを押します。
初期値に変更前のデータが表示されます。

電話番号

*****数

- ⑤ 電話番号を入力し、**確定**キーを押します。
初期値に変更前のデータが表示されます。

メモ

*****漢

- ⑥ メモを入力し、**確定**キーを押します。
初期値に変更前のデータが表示されます。

変更しますか？
登録番号【**13】
練馬店
はい/いいえ

- ⑦ 確認画面で“はい”を選び、**確定**キーを押します。
入力したデータに変更されます。

削除

店名テーブル
1. 登録
2. 変更
3. **削除**

- ① 「店名テーブル」画面で“削除”を選び、**確定**キーを押します。

店名テーブル削除
登録番号 [***]

- ② 削除する登録番号を入力し、**確定** キーを押します。

削除しますか？
登録番号[**14]
新宿店
はい/いいえ

- ③ 確認画面で“はい”を選び、**確定** キーを押します。
データが削除されます。

データ更新

テーブルを編集後、各メニューから戻る際、または電源をオフする際に編集内容がSDカードへ反映されます。

XXXテーブル
ファイル更新中

- ① この画面が表示され、編集内容がSDカードに反映されます。



この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

XXXテーブル
ファイル更新終了

- ② この画面が表示されると、SDカードへの反映は完了です。

一定時間経過後に、「本体メンテナンス」画面に戻します。

プリセットテーブル
展開中
電源を切らずに
お待ちください

- ③ 呼出しテーブルの場合のみ、「本体メンテナンス」画面から呼出し発行メニューに戻る前にプリセットテーブルがSDカードから本体に展開されます。「呼出しNo」画面が表示されるまで待ちます。

第3章

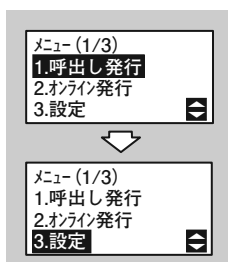
呼出し発行

第4章 固定発行

固定発行の初期設定

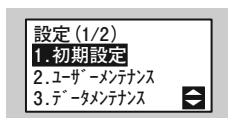
本プリンタに登録してある 25 種類のフォーマットを使用して、ラベルを発行します。ラベルのサイズとバーコードの種類を「固定発行ラベルとバーコードの種類」(91 ページ) で確認し、「フォーマット No」を使用して、フォーマットを選択できます。

ここでは固定発行モードでの基本的な画面の流れを説明します。また、「ラベル発行してみましょう」(103 ページ) も併せてご覧ください。



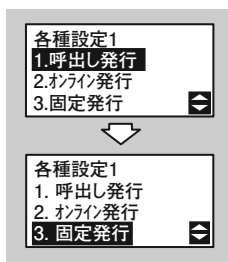
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



- ② “1. 初期設定” を選び、**確定** キーを押します。

「各種設定」画面が表示されます。



- ③ “3. 固定発行” を選び、**確定** キーを押します。

「用紙サイズ」画面が表示されます。

以降 22 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定** キーを押してください。

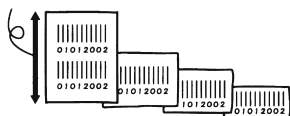
No	設定項目	初期値	参照ページ
1	用紙サイズ	25mm	81 ページ
2	プリセット登録先	本体	81 ページ
3	リサイクルマーク表示	あり	81 ページ
4	リサイクルマークテーブルNo	**	82 ページ
5	原産地表示	あり	83 ページ
6	原産地テーブルNo	***	83 ページ
7	日付印字	なし	85 ページ
8	日付手入力	あり	85 ページ
9	コードフリー入力	あり	85 ページ
10	価格印字位置	上	86 ページ
11	価格文字サイズ	標準	86 ページ
12	¥マーク付加	する	86 ページ
13	価格カンマ付加	あり	87 ページ
14	プリセットNo印字	する	87 ページ
15	ガードバー長さ	普通	87 ページ
16	発行形態	連続	88 ページ
17	リアルタイム印字	OFF	88 ページ
18	都度発行	なし	88 ページ
19	チェックラベル有無	あり	89 ページ
20	印字方向	頭出し	89 ページ
21	位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット	90 ページ
22	フォーマットNo	—	90 ページ

用紙サイズ

固定発行に使用するラベルのサイズを▲▼◀▶キーを押して選び、**確定**キーを押します。


用紙サイズ	
1. 16mm	2. 20mm
3. 25mm	4. 35mm
5. 38mm	

用紙サイズ



プリセットの登録先


本プリンタはラベルに印字するデータ（品名・コード・バーコード・価格など）を本体または SD カードに登録できます。登録したデータをプリセットデータと呼びます。

プリセット登録先	
1. 本体	
2. カード	

▲▼キーを押して、プリセットデータの登録先を選び、**確定**キーを押します。

リサイクルマーク表示

ラベルにリサイクルマークを表示するかしないかを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。

リサイクルマーク表示	
1. あり	
2. なし	

なし



あり



表示するリサイクルマークの種類は「リサイクルマークテーブル No」で指定します（82 ページ）。

—  **チェック** —

「用紙サイズ」で“35mm”を選んだときのみ、この画面が表示されます。

リサイクルマークテーブルNo

リサイクルマークテーブル No. の初期値を設定します。

— チェック —

「リサイクルマーク表示」(81 ページ) で“あり”を選んだときのみ、この画面が表示されます。
リサイクルマークテーブルNo.の初期値は未入力でも可能です。

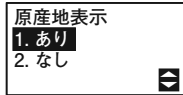
リサイクルマークNo 初期値 <input type="text"/>	数
--	---

プラマーク、紙マークともにサイズ 6×6mm、リサイクルマーク 14 種類を標準搭載しています。テーブル No.14～19 は欠番です。

テーブルNo.	名 称	印字内容
01	プラ	
02	プラ ラップ	: ラップ
03	プラ 袋	: 袋
04	プラ 袋・止め具	: 袋・止め具
05	プラ ラップ・トレー	: ラップ・トレー
06	プラ ラップ・吸水紙	: ラップ・吸水紙
07	プラ PVC	: PVC
08	プラ EVAC・PP	: EVAC, PP
09	EVAC・PE	: EVAC, PE
10	プラ PP	: PP
11	プラ PET	: PET
12	プラ ラップ・紙 トレー	ラップ トレー
13	プラ ラップ 紙 吸水	ラップ 吸水紙
20	紙	

原産地表示

ラベルに原産地表示をするかしないかを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。



なし

あり



表示するリサイクルマークの種類は「原産地テーブル No」で指定します（83 ページ）。



「用紙サイズ」で“35mm”を選んだときのみ、この画面が表示されます。

原産地テーブルNo

原産地テーブル No. の初期値を設定します。



漢字 32 ドット文字、1×1 倍、原産地 103 件を標準搭載しています。原産地テーブル番号 048～050、157～175 は欠番です。

ー：欠番を意味します。

番号	内容	番号	内容	番号	内容
001	愛知県産	018	群馬県産	035	兵庫県産
002	青森県産	019	高知県産	036	広島県産
003	秋田県産	020	埼玉県産	037	福井県産
004	石川県産	021	佐賀県産	038	福岡県産
005	茨城県産	022	滋賀県産	039	福島県産
006	岩手県産	023	静岡県産	040	北海道産
007	愛媛県産	024	島根県産	041	三重県産
008	大分県産	025	千葉県産	042	宮城県産
009	大阪府産	026	東京都産	043	宮崎県産
010	岡山県産	027	徳島県産	044	山形県産
011	沖縄県産	028	栃木県産	045	山口県産
012	香川県産	029	鳥取県産	046	山梨県産
013	鹿児島県産	030	富山県産	047	和歌山県産
014	神奈川県産	031	長崎県産	048	ー
015	岐阜県産	032	長野県産	049	ー
016	京都府産	033	奈良県産	050	ー
017	熊本県産	034	新潟県産		

番号	内容	番号	内容	番号	内容
101	アメリカ産	126	スーダン産	151	ベルギー産
102	アラブ産	127	スペイン産	152	ポルトガル産
103	アルゼンチン産	128	スリランカ産	153	マレーシア産
104	イギリス産	129	セネガル産	154	南アフリカ産
105	イスラエル産	130	タイ産	155	メキシコ産
106	イタリア産	131	台湾産	156	ロシア産
107	イラン産	132	中国産	157	—
108	インド産	133	チリ産	158	—
109	インドネシア産	134	デンマーク産	159	—
110	エクアドル産	135	ドイツ産	160	—
111	エジプト産	136	トルコ産	161	—
112	オーストラリア産	137	ナイジェリア産	162	—
113	オーストリア産	138	日本産	163	—
114	オランダ産	139	ニュージーランド産	164	—
115	カナダ産	140	ノルウェー産	165	—
116	カリフォルニア産	141	パキスタン産	166	—
117	韓国産	142	フィジー産	167	—
118	北朝鮮産	143	フィリピン産	168	—
119	ギリシア産	144	フィンランド産	169	—
120	クウェート産	145	ブラジル産	170	—
121	コロンビア産	146	フランス産	171	—
122	サウジアラビア産	147	ブルガリア産	172	—
123	シンガポール産	148	フロリダ産	173	—
124	スイス産	149	ベトナム産	174	—
125	スウェーデン産	150	ベルー産	175	—

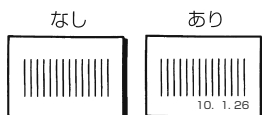
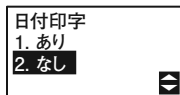


チェック

「原産地表示」(83 ページ)で“あり”を選んだときだけ、この画面が表示されます。
原産地テーブルNo.の初期値は未入力でも可能です。

日付印字

ラベルに日付を付けるか付けないかを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。



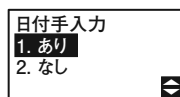
チェック

「用紙サイズ」が「25mm」と「35mm」のときだけ、この画面が表示されます。

日付の手入力

フォーマット発行、プリセット発行で「日付入力」画面を表示し、日付を手入力できます。

日付を手入力するかしないかを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。



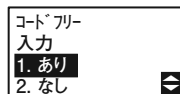
チェック

「日付印字」で「あり」を選んだときだけ、この画面が表示されます。

コードフリー入力

フォーマット発行、プリセット発行でフリーにデータ（8桁以内）を入力できます。日付は手入力になります。

コードフリー入力するかしないかを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。



チェック

「日付手入力」で「あり」を選んだときだけ、この画面が表示されます。

価格の印字位置

価格の印字位置を上または下を▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。

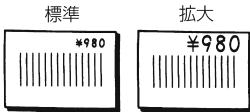


チェック

価格の位置によって、日付・品名・原産地などの位置も変わります。

価格の文字サイズ

価格の文字サイズを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。

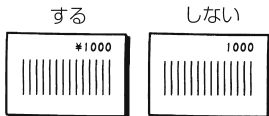
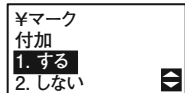


チェック

「日付印字」(85 ページ) で“あり”を選んだときやプリセット発行時は、用紙サイズによっては、拡大印字できません。

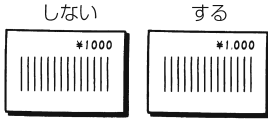
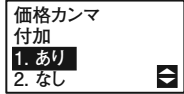
¥マークの付加

価格に¥マークを付けるか付けないかを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。



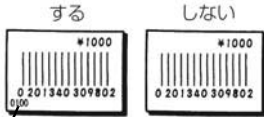
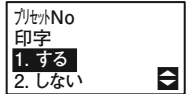
価格カンマの付加

価格にカンマを付けて印字するかどうかを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。



プリセットNoの印字

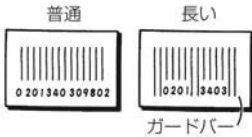
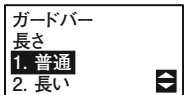
プリセット番号を印字するかどうかを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。



プリセット番号

ガードバーの長さ

ガードバーを長く印字するかしないかを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。



発行形態

発行方法を連続発行 / ティアオフから▲▼キーを押して選び、
[確定]キーを押します。

発行形態
1. 連続
2. ティアオフ

- 連続（連続発行）
必要な枚数のラベルを連続して発行します。
- ティアオフ
必要な枚数のラベルを連続して発行した後、簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。

リアルタイム印字

リアルタイム印字を ON にすると発行ごとにカレンダー印字を更新します。（発行時のカレンダーに従って、カレンダー印字をします。）

リアルタイム印字
1. ON
2. OFF

リアルタイム印字をするかしないかを▲▼キーを押して選び、
[確定]キーを押します。

— チェック —

ラベルを発行する際は [発行/停止] キーを押します。

都度発行

「都度発行」を“あり”にすると、[発行/停止]キーを押すごとに、ラベルを 1 枚印字します。“なし”にすると、[発行/停止]キーを押すまで、ラベルを 1 枚ずつ印字します。

都度発行
1. あり
2. なし

都度発行をするかしないかを▲▼キーを押して選び、[確定]キーを押します。

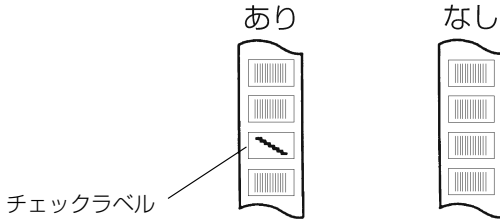
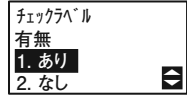
— チェック —

リアルタイム印字で“OFF”を選んだときだけ、この画面が表示されます。

チェックラベルの印字

チェックラベルを印字するかどうかを▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。

「チェックラベル」とは、印字ヘッドの状態を確認するために印字するラベルのことです。アイテムの区切りにも利用できます。
→「第7章 困ったときは」(267 ページ)

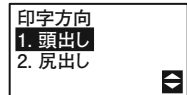


— チェック —

「発行形態」(88 ページ) で“連続”を選んだときだけ、この画面が表示されます。

印字方向

印字方向を▲▼キーを押して選び、**確定**キーを押します。

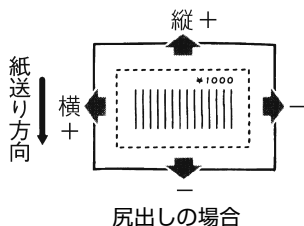


印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選択して、印字位置を00～60の範囲でドット単位で調整し、**確定**キーを押します。
シフトキーを押して、縦方向(↑↓) / 横方向(←→)を切替えます。

位置調整
縦 [↓00] ドット
横 [→00] ドット

数



フォーマットNoの設定

使用したいフォーマットを15件まで固定できます。固定したいフォーマット番号を設定し、**確定**キーを押します。

フォーマット固定
フォーマットNo []
99設定で解除

数

— チェック —

“99”を入力すると、フォーマット固定が解除され、すべてのフォーマットが選択できます。

固定発行ラベルとバーコードの種類

本プリンタには 25 種類のフォーマットが用意されていますので、それを利用してかんたんにラベルを作ることができます。

フォーマットは、ラベルのサイズとバーコードの種類によって選べるようになっていきますので、印字する前に、使用するラベルのサイズとバーコードの種類を確認してください。ラベル幅は 32mm に固定されています。

ラベルの長さは？▶バーコードの桁数は？▶フォーマット番号は？

バーコード桁数	フォーマット番号
ラベルの長さ：16mm	
13桁 (JAN13)	41 ◇◇○○○○○ P P P P P C (NonPLU)
	42 ◇◇○○○○○ P P P P P C (NonPLU)
バーコードなし	43 バーコードなし
ラベルの長さ：20mm／25mmおよび35mm	
8桁 (JAN8)	01 * * * * * C (PLU)
	02 4 9 * * * * * C (PLU)
	03 0 * * * * * C (PLU)
	04 4 5 * * * * * C (PLU)
	21 ◇△△ P P P P C (NonPLU)
	22 2△△ P P P P C (NonPLU)
13桁 (JAN13)	11 * * * * * * * * * C (PLU)
	12 4 9 * * * * * * * * * C (PLU)
	13 0 4 * * * * * * * * * C (PLU)
	14 4 5 * * * * * * * * * C (PLU)
	31 ◇◇○○○○○ P / C P P P P C (NonPLU)
	32 ◇◇○○○○○ P P P P P C (NonPLU)
	33 ◇◇○○○○○ P P P P C (NonPLU)
	34 0 2 ○○○○○ P / C P P P P C (NonPLU)
	35 0 2 ○○○○○ P P P P P C (NonPLU)
	36 0 2 ○○○○○ P P P P C (NonPLU)
38 ◇◇○○○○○ P P P P P C (NonPLU)	
UPC-A	07 * * * * * * * * * C (PLU)
UPC-E	08 0 * * * * * * C (PLU)
バーコードなし	39
ラベルの長さ：38mm	
8桁 (JAN8)	45 * * * * * * * C (PLU)
	* * * * * * * C (PLU)
13桁 (JAN13)	55 * * * * * * * * * C (PLU)
	* * * * * * * * * C (PLU)

* フリー入力
 ◇ フラグ
 △ コード
 ○ アイテムコード

P 価格
 C チェックデジット
 P / C プライスチェックデジット

■ PLU とは
ソースマーキングと呼ばれ、メーカーまたは発売元で商品コードをバーコード化するもので、価格が
バーコードの中に含まれていないものです。

例) 49 △△△△△ ○○○○○ C (本プリンタのフォーマット番号 12)
フラグ メーカーコード アイテムコード チェックデジット

■ NonPLU とは
インスタマーキングと呼ばれ、生鮮品や日配品など店舗ごとに、アイテムコードや価格などをバー
コード化するもので、価格がバーコードの中に含まれているものです。

例) 02 ○○○○○ P P P P C (本プリンタのフォーマット番号 36)
フラグ アイテムコード 価格 チェックデジット

価格税込み表示

初期値での印字見本です。

表の見かた

バーコード
の桁数

フォーマット
番号

バーコード
構成

用紙のサイズ

20mm/25mm

8桁 (JAN8)

22

33

¥1234

3331 2342

2△△PPPPC

固定 任意の数字 チェックデジット

16mm

13桁 (JAN13)

バーコードなし

41



42



43



20mm/25mm

8桁 (JAN8)

01



02



03



04



21



22



13桁 (JAN13)

11



12



13



14



31



32



33



34



35



36



38



20mm/25mm

UPC-A	UPC-E	バーコードなし
07 123 ¥123456 *****C	08 123 ¥123456 0*****C	39 123456789012345 ¥123456

38mm

8桁 (JAN8)	13桁 (JAN13)
45 123 ¥123456 *****C *****C	55 123 ¥123456 *****C *****C

35mm

8桁 (JAN8)

01 123 ¥123456 愛知県産 *****C	02 123 ¥123456 愛知県産 49*****C	03 123 ¥123456 愛知県産 0*****C	04 123 ¥123456 愛知県産 45*****C	21 33 ¥1234 愛知県産 ◇△△PPPPC	22 33 ¥1234 愛知県産 2△△PPPPC
---	---	--	---	--	--

13桁 (JAN13)

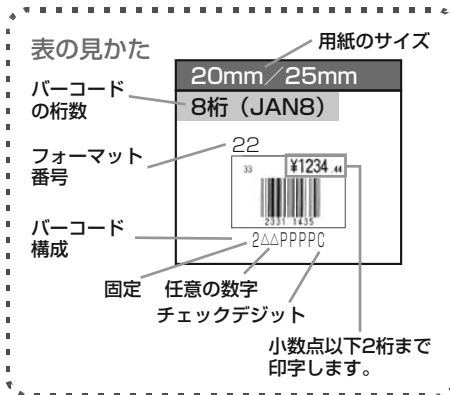
11 123 ¥123456 愛知県産 *****C	12 123 ¥123456 愛知県産 49*****C	13 123 ¥123456 愛知県産 04*****C	14 123 ¥123456 愛知県産 45*****C	31 123 ¥1234 愛知県産 ◇◇◇◇◇◇P ₆ PPPPC	32 123 ¥12345 愛知県産 ◇◇◇◇◇◇PPPPPC
33 123 ¥1234 愛知県産 ◇◇◇◇◇◇◇PPPPC	34 123 ¥1234 愛知県産 02◇◇◇◇◇P ₆ PPPC	35 123 ¥12345 愛知県産 02◇◇◇◇◇PPPPC	36 123 ¥1234 愛知県産 02◇◇◇◇◇PPPPC	38 123 ¥123456 愛知県産 ◇◇◇◇◇◇PPPPPC	

UPC-A/E

07 123 ¥123456 愛知県産 *****C	08 123 ¥123456 愛知県産 0*****C
---	--

価格税込み表示（小数点2桁印字）

「小数点2桁印字」（208ページ）で“する”を選んだ場合の印字見本です。



16mm	
13桁（JAN13）	バーコードなし
41 000000PPPPPC	43
42 000000PPPPPC	

20mm/25mm					
8桁（JAN8）					
01 *****C	02 49*****C	03 0*****C	04 45*****C	21 ◇△PPPPC	22 2△PPPPC
13桁（JAN13）					
11 *****C	12 49*****C	13 04*****C	14 45*****C	31 000000PPPPPC	32 000000PPPPPC
33 000000PPPPPC	34 020000PPPPPC	35 020000PPPPPC	36 020000PPPPPC	38 000000PPPPPC	

20mm/25mm

UPC-A	UPC-E	バーコードなし
07 *****C	08 0*****C	39 ¥123456

38mm

8桁 (JAN8)	13桁 (JAN13)
45 *****C *****C	55 *****C *****C

35mm

8桁 (JAN8)

01 *****C	02 49*****C	03 0*****C	04 45*****C	21 ◇△△PPPPC	22 2△△PPPPC
------------------	--------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------

13桁 (JAN13)

11 *****C	12 49*****C	13 04*****C	14 45*****C	31 ◇◇◇◇◇◇◇P ₆ PPPPC	32 ◇◇◇◇◇◇◇PPPPC
33 ◇◇◇◇◇◇◇PPPPC	34 0200000P ₆ PPPPC	35 0200000PPPPC	36 0200000PPPPC	38 ◇◇◇◇◇◇PPPPC	

UPC-A/E

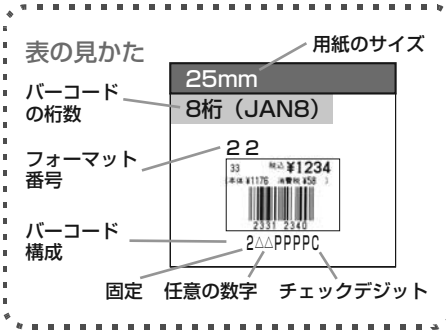
07 *****C	08 0*****C
------------------	-------------------

価格総額表示（本体価格・消費税）

「総額表示テーブル」（209 ページ）で“本体+消費税”を選んだ場合の印字見本です。




重要



総額表示テーブル（本体価格・消費税）の印字は16mm（バーコードなし）、25mm、35mmのラベルのみ印字可能です。



16mm	
13桁 (JAN13)	バーコードなし
41 1234 税込 ¥12345 (本体 #117578 消費税 #5878) ◇◇◇◇◇◇PPPPPC	43 123456789012345 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878)
42 123 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878) ◇◇◇◇◇◇PPPPPC	

25mm					
8桁 (JAN8)					
01 123 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878) *****C	02 123 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878) 49*****C	03 123 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878) 0*****C	04 123 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878) 45*****C	21 33 税込 ¥1234 (本体 #1176 消費税 #58) ◇△△PPPPC	22 33 税込 ¥1234 (本体 #1176 消費税 #58) 2△△PPPPC
13桁 (JAN13)					
11 123 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878) *****C	12 123 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878) 49*****C	13 123 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878) 04*****C	14 123 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878) 45*****C	31 123 税込 ¥1234 (本体 #1176 消費税 #58) ◇◇◇◇◇◇PPPPC	32 123 税込 ¥12345 (本体 #11758 消費税 #587) ◇◇◇◇◇◇PPPPPC
33 123 税込 ¥1234 (本体 #1176 消費税 #58) 2 233333 312344 ◇◇◇◇◇◇PPPPC	34 123 税込 ¥1234 (本体 #1176 消費税 #58) 0 233333 312344 0200000PPPPC	35 123 税込 ¥12345 (本体 #11758 消費税 #587) 0 233333 312344 0200000PPPPC	36 123 税込 ¥1234 (本体 #1176 消費税 #58) 0 233333 312344 0200000PPPPC	38 123 税込 ¥123456 (本体 #117578 消費税 #5878) 2 233331 234563 ◇◇◇◇◇◇PPPPPC	

25mm		
UPC-A	UPC-E	バーコードなし
<p>07</p>  <p>*****C</p>	<p>08</p>  <p>0*****C</p>	<p>39</p> 

38mm	
8桁 (JAN8)	13桁 (JAN13)
<p>45</p>  <p>*****C *****C</p>	<p>55</p>  <p>*****C *****C *****C</p>

35mm					
8桁 (JAN8)					
<p>01</p>  <p>*****C</p>	<p>02</p>  <p>49*****C</p>	<p>03</p>  <p>0*****C</p>	<p>04</p>  <p>45*****C</p>	<p>21</p>  <p>◇△△PPPPC</p>	<p>22</p>  <p>2△△PPPPC</p>

13桁 (JAN13)					
<p>11</p>  <p>*****C</p>	<p>12</p>  <p>49*****C</p>	<p>13</p>  <p>04*****C</p>	<p>14</p>  <p>45*****C</p>	<p>31</p>  <p>◇◇◇◇◇◇◇◇PPPPC</p>	<p>32</p>  <p>◇◇◇◇◇◇◇◇PPPPC</p>
<p>33</p>  <p>◇◇◇◇◇◇◇◇PPPPC</p>	<p>34</p>  <p>020000◇◇PPPPC</p>	<p>35</p>  <p>020000PPPPPC</p>	<p>36</p>  <p>020000◇◇PPPPC</p>	<p>38</p>  <p>◇◇◇◇◇◇PPPPPC</p>	

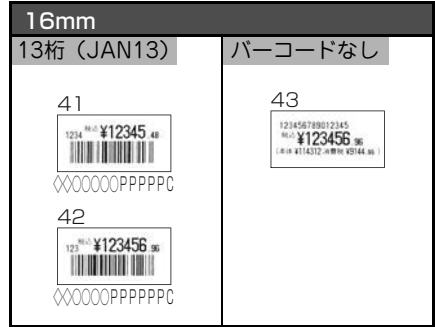
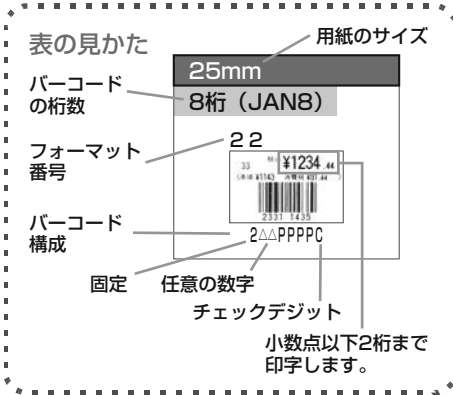
UPC-A/E	
<p>07</p>  <p>*****C</p>	<p>08</p>  <p>0*****C</p>

価格総額表示（本体価格・消費税）（小数点2桁印字）

「小数点2桁印字」（208ページ）で“する”を選び、「総額表示テーブル」（209ページ）で“本体+消費税”を選んだ場合の印字見本です。

重要

総額表示テーブル（本体価格・消費税）の印字は16mm（バーコードなし）、25mm、35mmのラベルのみ印字可能です。



20mm/25mm		
UPC-A	UPC-E	バーコードなし
<p>07</p> <p>*****C</p>	<p>08</p> <p>0*****C</p>	<p>39</p>

38mm	
8桁 (JAN8)	13桁 (JAN13)
<p>45</p> <p>*****C *****C</p>	<p>55</p> <p>*****C *****C</p>

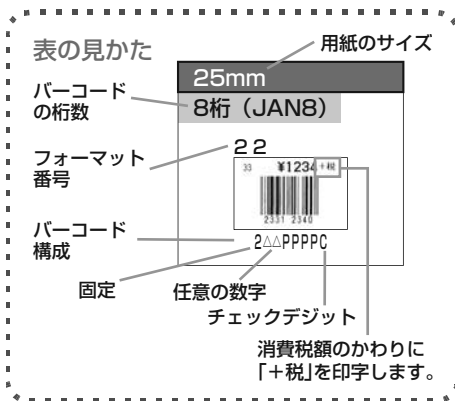
35mm					
8桁 (JAN8)					
<p>01</p> <p>*****C</p>	<p>02</p> <p>49*****C</p>	<p>03</p> <p>0*****C</p>	<p>04</p> <p>45*****C</p>	<p>21</p> <p>◇△PPPPC</p>	<p>22</p> <p>2△PPPPC</p>

13桁 (JAN13)					
<p>11</p> <p>*****C</p>	<p>12</p> <p>49*****C</p>	<p>13</p> <p>04*****C</p>	<p>14</p> <p>45*****C</p>	<p>31</p> <p>◇◇◇◇◇◇PPPPC</p>	<p>32</p> <p>◇◇◇◇◇◇PPPPC</p>
<p>33</p> <p>◇◇◇◇◇◇PPPPC</p>	<p>34</p> <p>020000PPPPC</p>	<p>35</p> <p>020000PPPPC</p>	<p>36</p> <p>020000PPPPC</p>	<p>38</p> <p>◇◇◇◇◇PPPPC</p>	

UPC-A/E	
<p>07</p> <p>*****C</p>	<p>08</p> <p>0*****C</p>

価格総額表示（本体価格+税）

「総額表示テーブル」（209 ページ）で “+税” を選んだ場合の印字見本です。



16mm	
13桁（JAN13）	バーコードなし
41	43
42	

20mm/25mm

8桁（JAN8）

01	02	03	04	21	22

13桁（JAN13）

11	12	13	14	31	32
33	34	35	36	38	

20mm/25mm		
UPC-A	UPC-E	バーコードなし
<p>07</p> <p>*****C</p>	<p>08</p> <p>0*****C</p>	<p>39</p> <p>¥123456 + tax</p>

38mm	
8桁 (JAN8)	13桁 (JAN13)
<p>45</p> <p>*****C *****C</p>	<p>55</p> <p>*****C *****C</p>

35mm					
8桁 (JAN8)					
<p>01</p> <p>*****C</p>	<p>02</p> <p>49*****C</p>	<p>03</p> <p>0*****C</p>	<p>04</p> <p>45*****C</p>	<p>21</p> <p>◇△△PPPPC</p>	<p>22</p> <p>2△△PPPPC</p>

13桁 (JAN13)					
<p>11</p> <p>*****C</p>	<p>12</p> <p>49*****C</p>	<p>13</p> <p>04*****C</p>	<p>14</p> <p>45*****C</p>	<p>31</p> <p>◇◇◇◇◇◇◇◇PPPPC</p>	<p>32</p> <p>◇◇◇◇◇◇◇◇PPPPC</p>
<p>33</p> <p>◇◇◇◇◇◇◇◇PPPPC</p>	<p>34</p> <p>02000000PPPPC</p>	<p>35</p> <p>02000000PPPPC</p>	<p>36</p> <p>02000000PPPPC</p>	<p>38</p> <p>◇◇◇◇◇◇PPPPC</p>	

UPC-A/E	
<p>07</p> <p>*****C</p>	<p>08</p> <p>0*****C</p>

対応用紙サイズと印字フォーマット

用紙サイズ フォーマット	16mm	20mm	25mm	35mm	38mm
	No.01		△	○	○
No.02		△	○	○	
No.03		△	○	○	
No.04		△	○	○	
No.07		△	○	○	
No.08		△	○	○	
No.11		△	○	○	
No.12		△	○	○	
No.13		△	○	○	
No.14		△	○	○	
No.21		△	○	○	
No.22		△	○	○	
No.31		△	○	○	
No.32		△	○	○	
No.33		△	○	○	
No.34		△	○	○	
No.35		△	○	○	
No.36		△	○	○	
No.38		△	○	○	
No.39		△	○		
No.41	△				
No.42	△		△		
No.43	△				
No.45					○
No.55					○
スキャナ対応	No.20	△	△	△	
	No.25				△

- ：固定発行、総額表示対応しています。
 △：固定発行、総額表示対応していません。
 “税込”印字のみ対応します。

ラベル発行してみましょう

本プリンタに登録してあるフォーマットを使用して、ラベルを発行します。
まず、ラベルに印字する内容を入力します。

フォーマット番号によって、バーコードの内容や桁数が異なりますので、作りたい
バーコードのフォーマットを「固定発行ラベルとバーコードの種類」(91 ページ)
で確定してください。

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

- ① “4. 固定発行” を選び、**確定** キーを押します。

「フォーマットNo」画面が表示されます。

フォーマットNo
[]

F3: リセットモード 数

- ② フォーマット番号を入力し、**確定** キーを押します。

(ここではフォーマット01で説明します。)

税率切替
1. 10.0%
2. 08.0%

- ③ 税率を選び、**確定** キーを押します。

— チェック —

この画面は「税率切替」(208 ページ) で“有効”を選んだときのみ表示されます。

JAN8
*****C

数

- ④ バーコードを入力し、**確定** キーを押します。

コード

数

- ⑤ コードを入力し、**確定** キーを押します。

— チェック —

未入力でも次の画面に進みます。

原産地
[00] 数
愛知県産

⑥ 原産地番号を入力し、**確定**キーを押します。

(この例は001：愛知県産)

✓チェック

- 初期設定で用紙サイズ35mmを選択し、かつ原産地“あり”を選択した場合のみ表示します。
- 原産地番号を入力すると原産地テーブルデータを表示します。
- 原産地テーブルデータ表示は▲▼◀▶キーで変更できます。
- 未入力でも次の画面に進みます。

なし



あり



⑦ 価格を入力し、**確定**キーを押します。

税抜き価格
¥***** 数

✓チェック

“0”でも未入力でも次の画面に変わります。

⑧ リサイクルマーク番号を入力し、**確定**キーを押します。 (この例は01：プラ)

リサイクルマーク
[01] 数
プラ

✓チェック

- 初期設定で用紙サイズ35mmを選択し、かつリサイクルマーク“あり”を選択した場合のみ表示します。
- リサイクルマーク番号を入力するとリサイクルマークテーブルデータを表示します。
- リサイクルマークテーブルデータ表示は▲▼◀▶キーで変更できます。
- 未入力でも次の画面に変わります。

なし



あり



枚数

■■■■

枚数

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中

XXXX / XXXX 枚

停止キーで中断

停止中

XXXX / XXXX 枚

発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中

停止キーで終了

- 9 発行するラベル枚数を入力し、**確定** キーを押します。

✓
チェック

連続発行とティアオフ発行時のみ表示します。

- 10 発行を開始します。

発行が終わると手順④に戻ります。

✓
チェック

- 連続発行/ティアオフ発行時は **発行/停止** キーで発行が一時中断します。再度、**発行/停止** キーを押すと発行します。
- ハクリ発行時は **発行/停止** キーで発行が終了します。

プリセットモード

ラベルに印字するデータ（品名・コード・バーコード・価格など）を登録しておくことができます。登録したデータをプリセットデータと呼びます。データを登録しておけば、いつでも呼び出してラベルに印字することができるので、入力の手間が省けます。また、登録することにより、商品の種類ごとにデータを管理することもできます。

データを分かりやすく管理するために、それぞれのデータに名前（プリセット番号）をつけておきます。プリセット番号は1～9999間の番号でつけます。登録したデータを読み出すときは、登録したときにつけたプリセット番号を入力します。

登録先について

プリセットデータは本体またはSDカードに登録できます。本体には2500件、SDカードには5000件のデータを登録しておくことができます。登録先は「プリセットの登録先」（81ページ）で選んでください。

データを登録する

フォーマット番号と印字データを入力して、プリセット番号をつけて登録します。フォーマット番号45と55はプリセット登録できません。登録できる印字データ

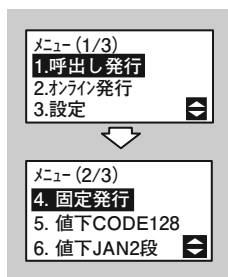
- パーコードデータ
- コード
- 価格
- 品名



重要

・SDカードを使うときは、「SDカードの取り扱い」（282ページ）をご覧ください。はじめで使うときは、「SDカードの初期化」（284ページ）もご覧ください。

- ① “4.固定発行” を選び、**確定** キーを押します。



- ② 「フォーマットNo」画面が表示されたら、**▼**キーを押します。

「プリセット」画面が表示されます。

- ③ “2.登録”を選び、**確定**キーを押します。

- ④ 登録するデータのフォーマット番号を入力し、**確定**キーを押します。

(ここではフォーマット01で説明します。)

- ⑤ プリセット番号を入力し、**確定**キーを押します。

プリセット番号は、4桁以内で入力してください。

- ⑥ 税率を選び、**確定**キーを押します。

チェック

この画面は「税率切替」(208 ページ)で“有効”を選んだときのみ表示されます。

- ⑦ バーコードを入力し、**確定**キーを押します。

- ⑧ コードを入力し、**確定**キーを押します。

チェック

未入力でも次の画面に進みます。

- ⑨ 価格を入力し、**確定**キーを押します。

チェック

“0”でも未入力でも次の画面に変わります。

- ⑩ 品名を入力し、**確定**キーを押します。

品名は、漢字・カタカナ・英数字のいずれかを使用して入力します。

引き続きデータを登録するときは、手順⑤からの操作を繰り返します。前に登録したプリセット番号の次の番号が表示されますので、その番号で登録するときはそのまま**確定**キーを押して操作を進めます。

登録したデータを修正するときは

一度登録したプリセットデータの印字内容を修正することができます。

- ① “4. 固定発行” を選び、**確定**キーを押します。

- ② 「フォーマットNo」画面が表示されたら、**▼**キーを押します。

「プリセット」画面が表示されます。

- ③ “3. 変更” を選び、**確定**キーを押します。

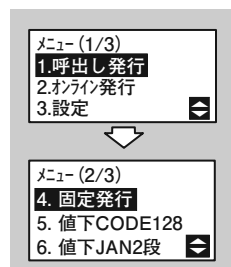
- ④ プリセット番号を入力し、**確定**キーを押します。

- ⑤ 入力データが表示されますので、必要に応じて修正します。

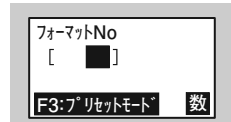
画面は、登録したフォーマット番号により異なります。

確定キーを押すと、次の項目が表示されます。必要な箇所を修正してください。修正が必要ないときは、そのまま**確定**キーを押します。

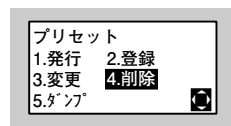
登録したデータを消すときは



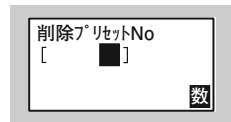
- ① “4.固定発行” を選び、**確定** キーを押します。



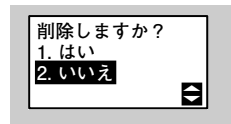
- ② 「フォーマットNo」画面が表示されたら、**▼**キーを押します。
「プリセット」画面が表示されます。



- ③ “4.削除” を選び、**確定** キーを押します。



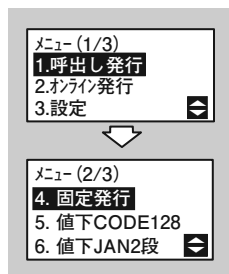
- ④ プリセット番号を入力し、**確定** キーを押します。



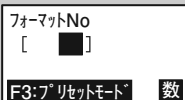
- ⑤ “はい” を選び、**確定** キーを押します。

登録したデータを呼び出す

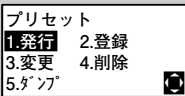
登録しておいたプリセットデータを呼び出して印字します。



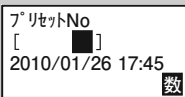
- ① “4.固定発行” を選び、**確定** キーを押します。



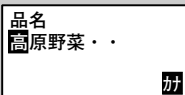
- ② 「フォーマットNo」画面が表示されたら、**▼**キーを押します。
「プリセット」画面が表示されます。



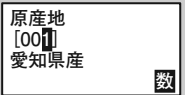
- ③ “1.発行”を選び、**確定**キーを押します。



- ④ プリセット番号を入力し、**確定**キーを押します。



- ⑤ 品名が表示されます。確認して、**確定**キーを押します。



- ⑥ 原産地番号を入力し、**確定**キーを押します。

(この例は001：愛知県産)

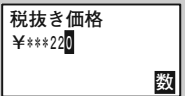


- 初期設定で用紙サイズ35mmを選択し、かつ原産地“あり”を選択した場合のみ表示します。
- 原産地番号を入力すると原産地テーブルデータを表示します。
- 原産地テーブルデータ表示は**▲▼◀▶**キーで変更できます。
- 未入力でも次の画面に進みます。

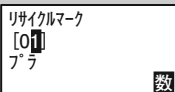
なし



あり



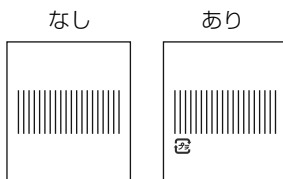
- ⑦ 価格が表示されます。確認して、**確定**キーを押します。



- 8 リサイクルマーク番号を入力し、**確定** キーを押します。
(この例は01：プラ)

✓チェック

- 初期設定で用紙サイズ35mmを選択し、かつリサイクルマーク“あり”を選択した場合のみ表示します。
- リサイクルマーク番号を入力するとリサイクルマークテーブルデータを表示します。
- リサイクルマークテーブルデータ表示は **▲▼◀▶** キーで変更できます。
- 未入力でも次の画面に変わります。



- 9 発行するラベル枚数を入力し、**確定** キーを押します。

✓チェック

連続発行とティアオフ発行時のみ表示します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中
XXXX / XXXX 枚
停止キーで中断

停止中
XXXX / XXXX 枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

- 10 発行を開始します。

発行が終わると手順③に戻ります。

✓チェック

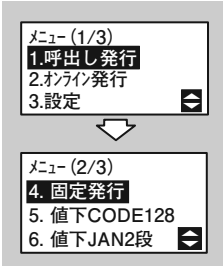
- 連続発行/ティアオフ発行時は **発行/停止** キーで発行が一時中断します。再度、**発行/停止** キーを押すと発行します。
- ハクリ発行時は **発行/停止** キーで発行が終了します。

✓チェック

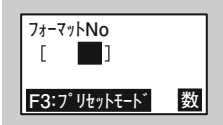
呼び出したプリセットデータに税率が登録されている場合はその税率が適用されます。プリセットデータに税率が登録されていない場合（古いプリセットデータを長期間使用している場合など）は、「税率切替」の“1.”に設定した税率が適用されます。

登録したデータを印字して確認する

登録したプリセットデータの一部またはすべてをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。

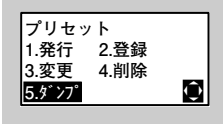


- ① “4.固定発行” を選び、**確定** キーを押します。

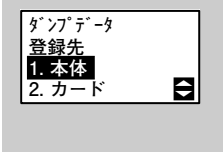


- ② 「フォーマットNo」画面が表示されたら、**▼**キーを押します。

「プリセット」画面が表示されます。

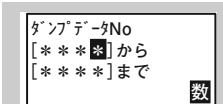


- ③ “5.ダンプ” を選び、**確定** キーを押します。



- ④ ダンプ発行するプリセットの登録先を選び、**確定** キーを押します。

プリンタ本体に登録されているデータのときは「本体」を選びます。SDカードに登録されているデータのときは「カード」を選びます。

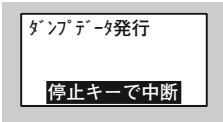


- ⑤ ダンプ発行するデータの範囲を指定し、**確定** キーを押します。

開始番号より終了番号が大きくなるようにプリセットNo.を入力してください。

開始番号だけを入力した場合、開始番号から最終番号までのプリセットをダンプ発行します。

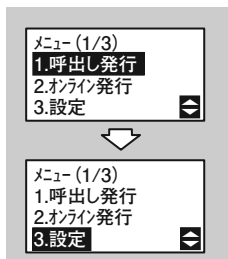
終了番号だけを入力した場合、最初の番号から終了番号までのプリセットをダンプ発行します。



- ⑥ 指定した範囲のプリセットデータが一枚ずつ印字されます。

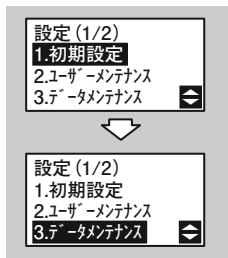
プリセットデータのコピー（本体メモリ⇄SDカード）

以下の手順でプリセットデータを本体メモリまたは SD カードにコピーします。各画面で▲▼キーまたは数字キーを使って各項目番号を選び、**確定**キーを押してください。



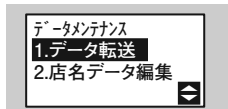
- ① “3. 設定” を選び、**確定**キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



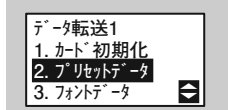
- ② “3. データメンテナンス” を選び、**確定**キーを押します。

「データメンテナンス」画面が表示されます。



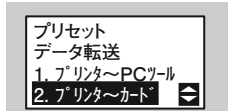
- ③ “1. データ転送” を選び、**確定**キーを押します。

「データ転送」画面が表示されます。

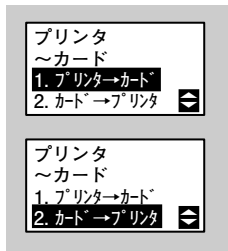


- ④ “2.プリセットデータ” を選び、**確定**キーを押します。

「プリセットデータ転送」画面が表示されます。



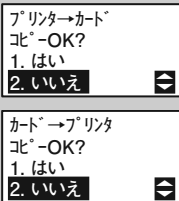
- ⑤ “2.プリンタ～カード” を選び、**確定**キーを押します。



- ⑥ 「プリンタ～カード」画面でデータのコピー先を選び、**確定**キーを押します。



SDカードからプリンタにデータをコピーする場合、
1～2500件分のデータをコピーします。



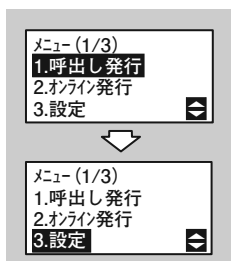
- 7 選択したデータのコピー先を確認し“はい”を選び、**確定**キーを押してコピーを開始します。

コピーが完了したら、**確定**キーを押します。
「プリセットデータ転送」画面に戻ります。

第5章 その他の発行機能

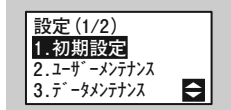
オンライン発行の初期設定

はじめてオンライン発行をおこなう前に以下の手順で初期設定をおこなってください。設定した内容は電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。



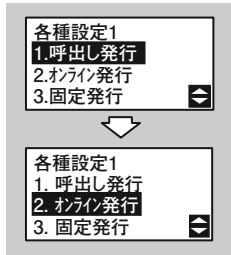
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



- ② “1. 初期設定” を選び、**確定** キーを押します。

「各種設定」画面が表示されます。



- ③ “2. オンライン発行” を選び、**確定** キーを押します。

「用紙種別」画面が表示されます。

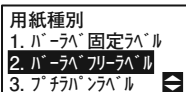
以降4項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定** キーを押してください。

No	設定項目	初期値	参照ページ
1	用紙種別	パラペフリーラベル	116 ページ
2	用紙サイズ	25mm	116 ページ
3	発行形態	連続	116 ページ
4	印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット	117 ページ

用紙種別

オンライン発行に使用する用紙の種類を選びます。用紙種類の詳細については 34 ページをご覧ください。

- バーラベ固定ラベル
- バーラベフリーラベル
- プチラパンラベル



用紙サイズ

用紙サイズを選びます。この画面は前項の「用紙種別」画面で“バーラベ固定ラベル”を選んだときのみ表示されます。

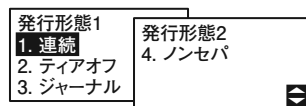
- 16mm
- 20mm
- 25mm
- 35mm
- 38mm



発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ジャーナル
- ノンセパ
- カッタ（カッタ搭載機のみ）
- ノンセパカッタ（カッタ搭載機のみ）



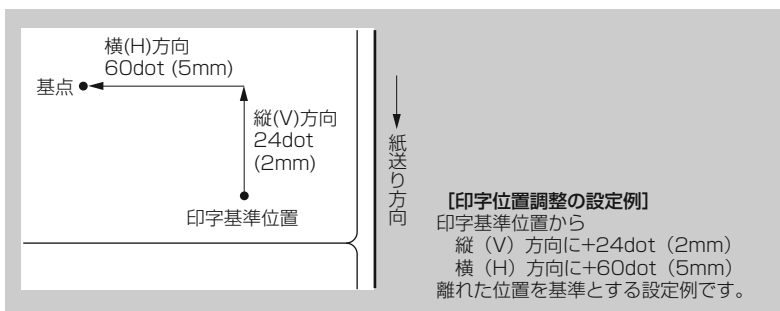
印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選び、印字位置を 00 ~ 60 の範囲でドット単位で調整します。

印字位置調整
縦 [↓00] ドット
横 [→00] ドット

教

シフトキーを押して、縦方向 (↑↓) / 横方向 (←→) を切替えられます。

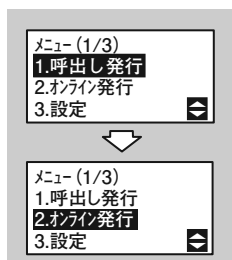


チェック

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。よって、1dot=0.083mmになります。

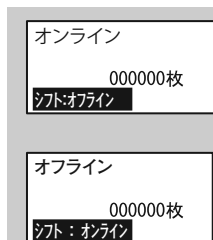
オンライン発行画面

本プリンタとコンピュータをオンラインケーブルまたは無線 LAN で接続すると、オンライン発行ができます。



- ① “2. オンライン発行” を選び、**確定** キーを押します。

「オンライン」画面が表示されます。



- ② 「オンライン」画面が表示されたら、コンピュータからデータを送信してください。

シフト キーで「オフライン」画面に変わります。

オフライン状態です。ラベルは発行できません。

シフト キーで「オンライン」画面に変わります。

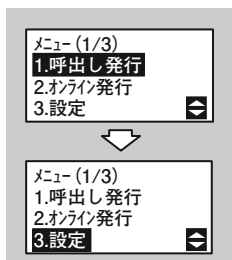


印字停止中に **削除/AC** キーで受信済みの印字データをクリアできます。

値下CODE128の初期設定

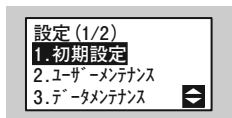
本プリンタの初期設定の流れを説明します。

はじめて CODE128 の値下げラベル発行をおこなう前に、以下の手順で初期設定をおこなってください。設定した内容は電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。



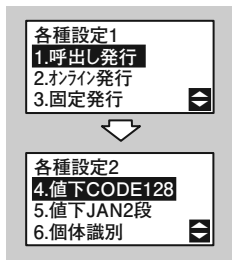
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



- ② “1. 初期設定” を選び、**確定** キーを押します。

「各種設定」画面が表示されます。



- ③ “4. 値下CODE128” を選び、**確定** キーを押します。

「用紙種別」画面が表示されます。

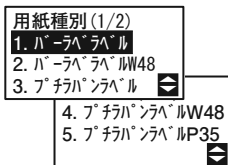
以降 4 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定** キーを押してください。

No	設定項目	初期値	参照ページ
1	用紙種別	バラバラ	120 ページ
2	発行形態	連続	120 ページ
3	チェックラベル有無	あり	120 ページ
4	印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット	121 ページ

用紙種別

呼出し発行に使用する用紙の種類を選びます。用紙種類の詳細については 34 ページをご覧ください。

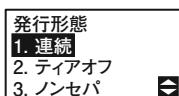
- バーラベラベル (長さ25.4mm×幅55mm)
- バーラベラベルW48 (長さ25.4mm×幅48mm)
- プチラパンラベル (長さ25mm×幅55mm)
- プチラパンラベルW48 (長さ25mm×幅48mm)
- プチラパンラベルP35 (長さ35mm×幅55mm)



発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ノンセパ



ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面 (147 ページ) で「ハクリ」を選んでもください。

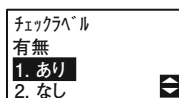
ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

チェックラベルの印字

チェックラベルを印字するかどうかを選びます。

「チェックラベル」とは、印字ヘッドの状態を確認するために印字するラベルのことです。アイテムの区切りにも利用できます。

→「第7章 困ったときは」(267 ページ)



あり

なし



チェックラベル



「発行形態」(前項) で「連続」を選んだときだけ、この画面が表示されます。

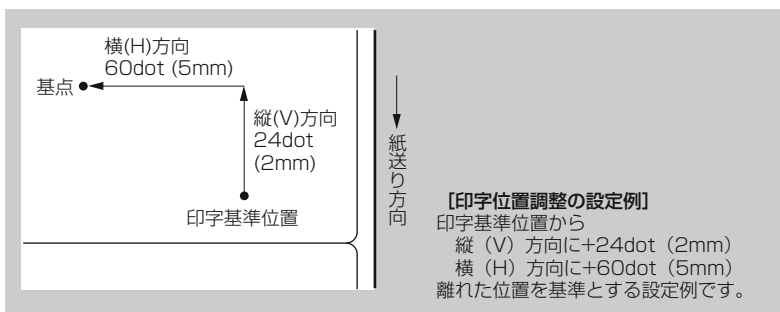
印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選び、印字位置を 00 ～ 60 の範囲でドット単位で調整します。

印字位置調整
縦 [↓00] ドット
横 [→00] ドット

数

シフト キーを押して、縦方向 (↑↓) / 横方向 (←→) を切替えます。



本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。よって、1dot=0.083mmになります。

値下CODE128の設定

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定



メニュー (2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

業務選択
1. 値引処理
2. 設定

- ① “5. 値下CODE128” を選び、**確定** キーを押します。

「業務選択」画面が表示されます。

- ② “設定” を選び、**確定** キーを押します。



- 「メニュー設定」機能 (250 ページ) の「メニュー表示」にて、「3. 設定」を“する”に設定した場合のみ、「設定」が表示されます。
- 「廃棄データ」(127 ページ) を“あり”に設定した場合のみ、「廃棄」が表示されます。

以降 42 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定** キーを押してください。

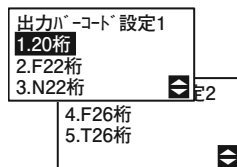
No	設定項目	初期値	参照ページ
1	出力バーコード設定	20桁	124 ページ
2	ラベルサイズ	バーラベラベル	124 ページ
3	発行形態	連続	124 ページ
4	使用項目	円引き：する %引き：する 新価格：する	125 ページ
5	項目フラグ	円引き：* %引き：* 新価格：*	125 ページ
6	バーコード値引条件	円引き：値引き額 %引き：割引率	125 ページ
7	見出しテーブル円引き	印字なし	125 ページ
8	見出しテーブル%引き	印字なし	126 ページ
9	見出しテーブル新価格	印字なし	126 ページ
10	50%引の表示	50%引	127 ページ
11	値引上限	50%	127 ページ
12	端数処理	切捨て	127 ページ
13	廃棄データ	なし	127 ページ
14	NON-PLU 13桁1	フラグ：** 価格：5桁	128 ページ
15	NON-PLU 13桁2	フラグ：** 価格：5桁	128 ページ
16	NON-PLU 13桁3	フラグ：** 価格：5桁	128 ページ
17	NON-PLU 13桁4	フラグ：** 価格：5桁	128 ページ
18	NON-PLU 13桁5	フラグ：** 価格：5桁	128 ページ
19	NON-PLU 13桁6	フラグ：** 価格：5桁	128 ページ
20	NON-PLU 13桁7	フラグ：** 価格：5桁	128 ページ
21	NON-PLU 13桁8	フラグ：** 価格：5桁	128 ページ
22	NON-PLU 13桁9	フラグ：** 価格：5桁	128 ページ
23	NON-PLU 13桁10	フラグ：** 価格：5桁	128 ページ
24	NON-PLU 8桁	あり	128 ページ
25	出力バーコード	22	128 ページ
26	UPC-A 1	00	128 ページ
27	UPC-A 2	未設定	128 ページ
28	UPC-A 3	未設定	128 ページ
29	UPC-A 4	未設定	128 ページ
30	UPC-A 5	未設定	128 ページ
31	UPC-E	0埋め6桁	128 ページ
32	バーコード識別	JAN13:0 JAN8:8 UPC-A:2 UPC-E:6	129 ページ
33	賞味期限入力	なし	129 ページ
34	賞味期限ダミー設定	月：99 日：99 時間：99	129 ページ
35	賞味期限桁数選択	6桁	129 ページ
36	元売価印字	すべて	130 ページ
37	値下後価格印字	すべて	130 ページ

No	設定項目	初期値	参照ページ
38	パスワード設定	なし	130 ページ
39	担当者コード	あり	130 ページ
40	値引き履歴データ蓄積	あり	131 ページ
41	値引き履歴データ転送方法	SD	131 ページ
42	プリンタNo.	00	131 ページ

出力バーコード設定

出力するバーコードを選びます。

- 20桁
- F22桁
- N22桁
- F26桁
- T26桁

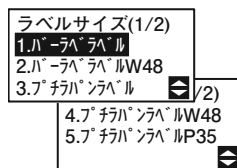


出力バーコードの詳細は、販売店、ディーラー、または弊社営業担当にお問い合わせください。

ラベルサイズ

ラベルサイズを選びます。

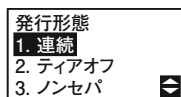
- バーラベラベル
- バーラベラベルW48
- プチラパンラベル
- プチラパンラベルW48
- プチラパンラベルP35



発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ノンセパ



ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（147 ページ）で「ハクリ」を選んでください。

ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

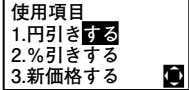
使用項目

使用する値引処理を選びます。

- ▲▼または数字キーを使って設定を変更したい項目を選び、
◀▶キーで表示するかどうかを選びます。設定が終わったら、

確定キーを押します。

“する”に設定した項目のみ「値引処理」(142 ページ ⑥)に表示されます。

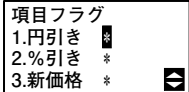


項目フラグ

値引処理のバーコード内フラグを設定します。0～9までの数字のみ入力可能です。

—  チェック —

「使用項目」で“する”に設定した値引処理のみ入力できます。
“しない”に設定した値引処理は“—”で表示され入力できません。



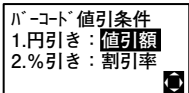
バーコード値引条件

値引処理ごとの値引条件を選びます。

円引き：値引額、新価格

%引き：割引率、新価格

選んだ条件が、バーコードの価格に反映されます。



見出しテーブル 円引き

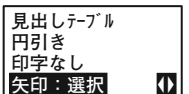
値引処理「円引き」の見出しテーブルデータを選びます。

見出しテーブルは、ご使用になるレジの価格設定に合わせて選んでください。

- 印字なし
- 表示価格より
- ご奉仕価格
- サービス品
- お買得品
- 値下後価格
- 本体価格
- 本体価格より

—  チェック —

「使用項目」で“円引き”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。



見出しテーブル %引き

値引処理「%引き」の見出しテーブルデータを選びます。
見出しテーブルは、ご使用になるレジの価格設定に合わせて選んでください。

見出しテーブル
%引き
印字なし
矢印：選択

- 印字なし
- 表示価格より
- ご奉仕価格
- サービス品
- お買得品
- 値下後価格
- 本体価格
- 本体価格より

— チェック —

「使用項目」で“%引き”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

見出しテーブル 新価格

値引処理「新価格」の見出しテーブルデータを選びます。
見出しテーブルは、ご使用になるレジの価格設定に合わせて選んでください。

見出しテーブル
新価格
印字なし
矢印：選択

- 印字なし
- 表示価格より
- ご奉仕価格
- サービス品
- お買得品
- 値下後価格
- 本体価格
- 本体価格より

— チェック —

「使用項目」で“新価格”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

50%引の表示

50%引きの表示方法を選びます。

— チェック —

「使用項目」で“%引き”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

50%引の表示
1.50%引
2.半額
▼

値引上限

値引きの上限値を設定します。50%～99%の間で設定可能です。

— チェック —

「使用項目」で“%引き”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

値引上限
50%
数

端数処理

計算後の端数処理の方法を選びます。

— チェック —

「使用項目」で“%引き”を“する”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

端数処理
1. 切上げ
2. 切捨て
3. 四捨五入
▼

廃棄データ

廃棄処理をするかしないかを選びます。

“あり”を選択した場合、廃棄データをプリンタ本体へ最大1000件（値下データ含む）まで蓄積します。

“あり”に設定したときのみ、業務選択画面に「廃棄」が表示されます。

廃棄データ
1. あり
2. なし
▼

NON-PLU 13桁

13桁スキャナ入力時にNON-PLUと認識するフラグを設定します。フラグは、00～99まで設定可能です。また、読取ったバーコード内の価格を設定できます。価格を「4桁」に設定した場合は、9～12桁目を価格とします。価格を「5桁」に設定した場合は、8～12桁目を価格とします。プライスチェックデジットは、計算しません。

「NON-PLU13桁1」から「NON-PLU13桁10」までの10件設定できます。

▲▼または数字キーを使って設定を変更したい項目（フラグまたは桁数）を選びます。

NON-PLU 13桁1
フラグ **
価格
4桁 5桁

NON-PLU 8桁

「あり」を選択した場合、バーコード体系は、2XXPPPPC/D（P：価格4桁）になります。「なし」を選択した場合、8桁の読取りバーコードはPLUになります。

NON-PLU 8桁
1.あり
2.なし

出力バーコードフラグ

出力バーコードフラグを設定します。フラグは、00～99まで設定可能です。

出力バーコード
フラグ 00

— チェック —

「出力バーコード設定」で“N22桁”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

UPC-Aフラグ

UPC-A フラグを設定します。フラグは、00～09まで設定可能です。「UPC-A 1」から「UPC-A 5」までの5件設定します。

UPC-A 1
フラグ 00

UPC-E

UPC-E の設定をします。

UPC-E
1.0埋め6桁
2.0埋め7桁
3.UPC-A

バーコード識別

値引処理のバーコード内フラグを設定します。0～9までの数字のみ入力可能です。

バーコード識別1	バーコード識別2
1.JAN13 0	4.UPC-E 6
2.JAN8 8	
3.UPC-A 2	

— チェック —

「出力バーコード設定」で“F22桁”または“F26桁”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

賞味期限入力

賞味期限を入力するかどうかを選びます。

— チェック —

「出力バーコード設定」で“T26桁”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

賞味期限入力
1.あり
2.なし

賞味期限ダミー設定

賞味期限のダミー数値を設定します。月：00～99、日：00～99、時間：00～99が設定可能です。

— チェック —

「出力バーコード設定」で“T26桁”に設定したときのみ、この画面が表示されます。

賞味期限ダミー設定
月 日 時間
00 00 00

賞味期限桁数選択

賞味期限の桁数を選びます。

— チェック —

「賞味期限入力」で“あり”を選んだときのみ、この画面が表示されます。

賞味期限桁数選択
1.6桁
2.4桁

元売価印字

元売価を印字するかしないかを選びます。

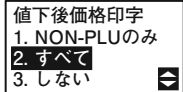
- NON-PLUのみ NON-PLUバーコードを入力（スキャン）した場合のみ、元売価を印字します。PLUバーコードの場合は、元売価を印字しません。
- すべて 元売価を印字します。PLUバーコードの場合は、価格入力が必要となります。
- しない 元売価を印字しません。NON-PLUバーコードであっても、印字しません。



値下後価格印字

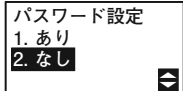
値下後価格を印字するかしないかを選びます。

- NON-PLUのみ NON-PLUバーコードを入力（スキャン）した場合のみ、値下後価格を印字します。PLUバーコードの場合は、値下後価格を印字しません。
- すべて 値下後価格を印字します。PLUバーコードの場合は、価格入力が必要となります。
- しない 値下後価格印字をしません。NON-PLUバーコードであっても、印字しません。



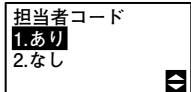
パスワード設定

「値引処理」の実行時にパスワードを必要とするかどうかを選びます。



担当者コード

「値引処理」の実行時に担当者コード入力画面を表示するかしないかを選びます。“あり”を選択した場合、担当者コード入力画面で入力された担当者コードが、履歴データの担当者コードへ反映されます。“なし”を選択した場合、履歴データの担当者コードは、“000000”が入力されます。

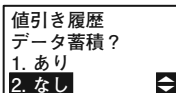


値引き履歴データ蓄積

値引き履歴データを蓄積するかどうか選びます。

値引き処理の履歴データをプリンタ本体に蓄積し、ホストなどへ転送する場合は、“あり”を設定します。“なし”を設定した場合は、履歴データをプリンタ本体へ蓄積しません。

ただし、値引き履歴データは、JAN2 段値下もしくは CODE128 値下的一方しか蓄積できません。JAN2段値下履歴データが“あり”に設定されている状態で、CODE128 値下履歴データ蓄積を“なし”から“あり”に変更するとデータ削除確認画面が表示されます。



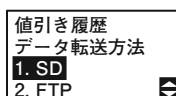
値引き履歴データ転送方法

値引き履歴データ転送方法を選びます。

—  チェック —

「値引き履歴データ蓄積」で“あり”を選んだときのみ、この画面が表示されます。

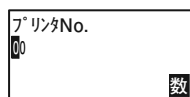
USBモデルの場合、およびUSB+LANモデルでUSBが選択されている場合、この画面は表示されません。値引き履歴データ蓄積選択画面が“あり”の場合は、SDカードに履歴データを保存します。



プリンタNo.

値引きデータを蓄積するプリンタ No. を設定します。00～99の設定が可能です。未入力の場合、プリンタ No. は“00”を設定します。

プリンタ No. は、値引き履歴データに反映されます。



値下CODE128の印字レイアウト例

印字レイアウトは「値下設定」(256 ページ) で設定します。

円引きラベル

元売価印字をする場合

「総額レイアウト」の設定: “なし” で値下後価格印字をしないとき	「総額レイアウト」の設定: “なし” 以外で値下後価格印字をしないとき
表示価格 5000 円を 1000 円引 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を 1000 円引 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 5000 円を 1000 円引	表示価格 (本体) 5000 円を 1000 円引

「総額レイアウト」の設定: “なし” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “本体+税” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “本体(大)” で値下後価格印字をするとき
表示価格 5000 円を 値下後価格 1000 円引きで 4000 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 1000 円引きで 4000 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を (本体) 値下後価格 1000 円引きで (税込) 4000 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 5000 円を 1000 円引きで 値下後価格 4000 円	表示価格 (本体) 5000 円を 1000 円引きで 値下後価格 (本体) 4000 円 +税	表示価格 (本体) 5000 円を 1000 円引きで 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円

「総額レイアウト」の設定: “税込(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “併記(同)” で値下後価格印字をするとき
表示価格 (本体) 5000 円を (税込) 値下後価格 1000 円引きで (本体) 4320 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を (本体) 値下後価格 1000 円引きで (税込) 4320 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 (本体) 5000 円を 1000 円引きで 値下後価格 (税込) 4320 円 (本体) 4000 円	表示価格 (本体) 5000 円を 1000 円引きで 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円

元売価印字をする場合（小数2桁印字あり）

「総額レイアウト」の設定：“本体(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“税込(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“併記(同)” で値下後価格印字をするとき																								
<table border="1"> <tr> <td>表示価格 (本体) 5000 円を</td> <td>値下後価格 (本体) 4000 円</td> </tr> <tr> <td>1000 円引きで</td> <td>(税込) 4320.99 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">バーコード (CODE128)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</td> </tr> </table>	表示価格 (本体) 5000 円を	値下後価格 (本体) 4000 円	1000 円引きで	(税込) 4320.99 円	バーコード (CODE128)		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D		<table border="1"> <tr> <td>表示価格 (本体) 5000 円を</td> <td>値下後価格 (税込) 4320.99 円</td> </tr> <tr> <td>1000 円引きで</td> <td>(本体) 4000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">バーコード (CODE128)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</td> </tr> </table>	表示価格 (本体) 5000 円を	値下後価格 (税込) 4320.99 円	1000 円引きで	(本体) 4000 円	バーコード (CODE128)		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D		<table border="1"> <tr> <td>表示価格 (本体) 5000 円を</td> <td>値下後価格 (本体) 4000 円</td> </tr> <tr> <td>1000 円引きで</td> <td>(税込) 4320.99 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">バーコード (CODE128)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</td> </tr> </table>	表示価格 (本体) 5000 円を	値下後価格 (本体) 4000 円	1000 円引きで	(税込) 4320.99 円	バーコード (CODE128)		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	
表示価格 (本体) 5000 円を	値下後価格 (本体) 4000 円																									
1000 円引きで	(税込) 4320.99 円																									
バーコード (CODE128)																										
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D																										
表示価格 (本体) 5000 円を	値下後価格 (税込) 4320.99 円																									
1000 円引きで	(本体) 4000 円																									
バーコード (CODE128)																										
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D																										
表示価格 (本体) 5000 円を	値下後価格 (本体) 4000 円																									
1000 円引きで	(税込) 4320.99 円																									
バーコード (CODE128)																										
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D																										
<table border="1"> <tr> <td>表示価格 (本体) 5000 円を</td> <td>1000 円引きで</td> </tr> <tr> <td>値下後価格 (本体)</td> <td>4000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(税込) 4320.99 円</td> </tr> </table>	表示価格 (本体) 5000 円を	1000 円引きで	値下後価格 (本体)	4000 円		(税込) 4320.99 円	<table border="1"> <tr> <td>表示価格 (本体) 5000 円を</td> <td>1000 円引きで</td> </tr> <tr> <td>値下後価格 (税込)</td> <td>4320.99 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(本体) 4000 円</td> </tr> </table>	表示価格 (本体) 5000 円を	1000 円引きで	値下後価格 (税込)	4320.99 円		(本体) 4000 円	<table border="1"> <tr> <td>表示価格 (本体) 5000 円を</td> <td>1000 円引きで</td> </tr> <tr> <td>値下後価格 (本体)</td> <td>4000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(税込) 4320.99 円</td> </tr> </table>	表示価格 (本体) 5000 円を	1000 円引きで	値下後価格 (本体)	4000 円		(税込) 4320.99 円						
表示価格 (本体) 5000 円を	1000 円引きで																									
値下後価格 (本体)	4000 円																									
	(税込) 4320.99 円																									
表示価格 (本体) 5000 円を	1000 円引きで																									
値下後価格 (税込)	4320.99 円																									
	(本体) 4000 円																									
表示価格 (本体) 5000 円を	1000 円引きで																									
値下後価格 (本体)	4000 円																									
	(税込) 4320.99 円																									

元売価印字をしない場合

「総額レイアウト」の設定：“なし” で値下後価格印字をしないとき	「総額レイアウト」の設定：“なし” 以外で値下後価格印字をしないとき						
<table border="1"> <tr> <td>表示価格 より 1000 円引</td> </tr> <tr> <td>バーコード (CODE128)</td> </tr> <tr> <td>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</td> </tr> </table>	表示価格 より 1000 円引	バーコード (CODE128)	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	<table border="1"> <tr> <td>本体価格 より 1000 円引</td> </tr> <tr> <td>バーコード (CODE128)</td> </tr> <tr> <td>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</td> </tr> </table>	本体価格 より 1000 円引	バーコード (CODE128)	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 より 1000 円引							
バーコード (CODE128)							
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D							
本体価格 より 1000 円引							
バーコード (CODE128)							
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D							
<table border="1"> <tr> <td>表示価格より 1000 円引</td> </tr> </table>	表示価格より 1000 円引	<table border="1"> <tr> <td>本体価格より 1000 円引</td> </tr> </table>	本体価格より 1000 円引				
表示価格より 1000 円引							
本体価格より 1000 円引							

「総額レイアウト」の設定：“なし” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“本体+税” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“本体(大)” で値下後価格印字をするとき																		
<table border="1"> <tr> <td>1000 円引きで</td> <td>値下後価格 (本体) 4000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">バーコード (CODE128)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</td> </tr> </table>	1000 円引きで	値下後価格 (本体) 4000 円	バーコード (CODE128)		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D		<table border="1"> <tr> <td>1000 円引きで</td> <td>値下後価格 (本体) 4000 円 +税</td> </tr> <tr> <td colspan="2">バーコード (CODE128)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</td> </tr> </table>	1000 円引きで	値下後価格 (本体) 4000 円 +税	バーコード (CODE128)		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D		<table border="1"> <tr> <td>1000 円引きで</td> <td>値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">バーコード (CODE128)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</td> </tr> </table>	1000 円引きで	値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円	バーコード (CODE128)		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	
1000 円引きで	値下後価格 (本体) 4000 円																			
バーコード (CODE128)																				
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D																				
1000 円引きで	値下後価格 (本体) 4000 円 +税																			
バーコード (CODE128)																				
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D																				
1000 円引きで	値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円																			
バーコード (CODE128)																				
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D																				
<table border="1"> <tr> <td>1000 円引きで</td> <td>値下後価格 4000 円</td> </tr> </table>	1000 円引きで	値下後価格 4000 円	<table border="1"> <tr> <td>1000 円引きで</td> <td>値下後価格 (本体) 4000 円 +税</td> </tr> </table>	1000 円引きで	値下後価格 (本体) 4000 円 +税	<table border="1"> <tr> <td>1000 円引きで</td> <td>値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円</td> </tr> </table>	1000 円引きで	値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円												
1000 円引きで	値下後価格 4000 円																			
1000 円引きで	値下後価格 (本体) 4000 円 +税																			
1000 円引きで	値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円																			

「総額レイアウト」の設定：“税込(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“併記(同)” で値下後価格印字をするとき
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>値下後価格</small> 1000 円引きで (税込) 4320 円 (本体) 4000 円 <hr/> バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC / D </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>値下後価格</small> 1000 円引きで (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 <hr/> バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC / D </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 1000 円引きで 値下後価格 (税込) 4320 円 (本体) 4000 円 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 1000 円引きで 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 </div>

元売価印字をしない場合 (小数2桁印字あり)

「総額レイアウト」の設定：“本体(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“税込(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定：“併記(同)” で値下後価格印字をするとき
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>値下後価格</small> 1000 円引きで (本体) 4000 円 (税込) 4320.99 円 <hr/> バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC / D </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>値下後価格</small> 1000 円引きで (税込) 4320.99 円 (本体) 4000 円 <hr/> バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC / D </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>値下後価格</small> 1000 円引きで (本体) 4000 円 (税込) 4320.99 円 <hr/> バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC / D </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 1000 円引きで 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320.99 円 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 1000 円引きで 値下後価格 (税込) 4320.99 円 (本体) 4000 円 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 1000 円引きで 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320.99 円 </div>

%引きラベル

元売価印字をする場合

「総額レイアウト」の設定: “なし” で値下後価格印字をしないとき	「総額レイアウト」の設定: “なし” 以外で値下後価格印字をしないとき
表示価格 5000 円を 50 %引 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を 50 %引 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 5000 円を 半額 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を 半額 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 5000 円を 50 %引	表示価格 (本体) 5000 円を 50 %引
表示価格 5000 円を 半額	表示価格 (本体) 5000 円を 半額

「総額レイアウト」の設定: “なし” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “本体+税” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “本体(大)” で値下後価格印字をするとき
表示価格 5000 円を 値下後価格 50 %引きで 2500 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 5000 円を 値下後価格(本体) 50 %引きで 2500 円 +税 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 5000 円を 値下後価格 (本体) 2500 円 50 %引きで (税込) 2700 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 5000 円を 値下後価格 半額 2500 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 5000 円を 値下後価格(本体) 半額 2500 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 5000 円を 値下後価格 (本体) 半額 (税込) 2700 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 5000 円を 50 %引きで 値下後価格 2500 円	表示価格 (本体) 5000 円を 50 %引きで 値下後価格 (本体) 2500 円 +税	表示価格 (本体) 5000 円を 50 %引きで (本体) 2500 円 値下後価格 (税込) 2700 円
表示価格 5000 円を 半額 値下後価格 2500 円	表示価格 (本体) 5000 円を 半額 値下後価格 (本体) 2500 円 +税	表示価格 (本体) 5000 円を 半額 (本体) 2500 円 値下後価格 (税込) 2700 円

「総額レイアウト」の設定: “税込(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “併記(同)” で値下後価格印字をするとき
表示価格(本体) 5000 円を 値下後価格 (税込) 2700 円 50 %引きで (本体) 2500 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格(本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 2500 円 50 %引きで (税込) 2700 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 5000 円を 値下後価格 (税込) 2700 円 半額 (本体) 2500 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格(本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 半額 (税込) 2700 円 半額 (本体) 2500 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格(本体) 5000 円を 50 %引きで (税込) 2700 円 値下後価格 (本体) 2500 円	表示価格(本体) 5000 円を 50 %引きで (本体) 2500 円 値下後価格 (税込) 2700 円
表示価格(本体) 5000 円を 半額 (税込) 2700 円 値下後価格 (本体) 2500 円	表示価格(本体) 5000 円を 半額 (本体) 2500 円 値下後価格 (税込) 2700 円

元売価印字をする場合 (小数2桁印字あり)

「総額レイアウト」の設定: “本体(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “税込(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “併記(同)” で値下後価格印字をするとき
表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 50 %引きで (税込) 2700.99 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を (税込) 2700.99 円 50 %引きで (本体) 2500 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を (本体) 2500 円 50 %引きで (税込) 2700.99 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 半額 (本体) 2500 円 (税込) 2700.99 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を (税込) 2700.99 円 半額 (本体) 2500 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 半額 (本体) 2500 円 (税込) 2700.99 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格(本体) 5000 円を 50 %引きで 値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700.99 円	表示価格(本体) 5000 円を 50 %引きで 値下後価格 (税込) 2700.99 円 (本体) 2500 円	表示価格(本体) 5000 円を 50 %引きで 値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700.99 円
表示価格(本体) 5000 円を 半額 値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700.99 円	表示価格(本体) 5000 円を 半額 値下後価格 (税込) 2700.99 円 (本体) 2500 円	表示価格(本体) 5000 円を 半額 値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700.99 円

元売価印字をしない場合

「総額レイアウト」の設定: “なし” で値下後価格印字をしないとき	「総額レイアウト」の設定: “なし” 以外で値下後価格印字をしないとき
表示価格 より 50 %引 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	本体価格 より 50 %引 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 より 半額 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	本体価格 より 半額 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格より 50 %引	本体価格より 50 %引
表示価格より 半額	本体価格より 半額

「総額レイアウト」の設定: “なし” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “本体+税” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “本体(大)” で値下後価格印字をするとき
50 %引きで 値下後価格 2500 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	50 %引きで 値下後価格(本体) 2500 円 +税 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	50 %引きで (本体) 2500 円 (税込) 2700 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
半額 値下後価格 2500 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	半額 値下後価格(本体) 2500 円 +税 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	半額 (本体) 2500 円 (税込) 2700 円 バーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
50 %引きで 値下後価格 2500 円	50 %引きで 値下後価格 (本体) 2500 円 +税	50 %引きで (本体) 2500 円 値下後価格 (税込) 2700 円
半額 値下後価格 2500 円	半額 値下後価格 (本体) 2500 円 +税	半額 (本体) 2500 円 値下後価格 (税込) 2700 円

「総額レイアウト」の設定: “税込(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “併記(同)” で値下後価格印字をするとき
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">値下後価格 (税込) 2700 円 (本体) 2500 円</p> <p>50 %引きで</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700 円</p> <p>50 %引きで</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">値下後価格 (税込) 2700 円 (本体) 2500 円</p> <p>半額</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700 円</p> <p>半額</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>50 %引きで</p> <p style="text-align: right;">(税込) 2700 円</p> <p>値下後価格 (本体) 2500 円</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>50 %引きで</p> <p style="text-align: right;">(本体) 2500 円</p> <p>値下後価格 (税込) 2700 円</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">半額</p> <p style="text-align: right;">(税込) 2700 円</p> <p>値下後価格 (本体) 2500 円</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">半額</p> <p style="text-align: right;">(本体) 2500 円</p> <p>値下後価格 (税込) 2700 円</p> </div>

元売価印字をしない場合 (小数2桁印字あり)

「総額レイアウト」の設定: “本体(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “税込(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “併記(同)” で値下後価格印字をするとき
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700.99 円</p> <p>50 %引きで</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">値下後価格 (税込) 2700.99 円 (本体) 2500 円</p> <p>50 %引きで</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700.99 円</p> <p>50 %引きで</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700.99 円</p> <p>半額</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">値下後価格 (税込) 2700.99 円 (本体) 2500 円</p> <p>半額</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">値下後価格 (本体) 2500 円 (税込) 2700.99 円</p> <p>半額</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>50 %引きで</p> <p>値下後価格 (本体) 2500 円</p> <p style="text-align: right;">(税込) 2700.99 円</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>50 %引きで</p> <p>値下後価格 (税込) 2700.99 円</p> <p style="text-align: right;">(本体) 2500 円</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>50 %引きで</p> <p>値下後価格 (本体) 2500 円</p> <p style="text-align: right;">(税込) 2700.99 円</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">半額</p> <p>値下後価格 (本体) 2500 円</p> <p style="text-align: right;">(税込) 2700.99 円</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">半額</p> <p>値下後価格 (税込) 2700.99 円</p> <p style="text-align: right;">(本体) 2500 円</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">半額</p> <p>値下後価格 (本体) 2500 円</p> <p style="text-align: right;">(税込) 2700.99 円</p> </div>

新価格ラベル

元売価印字をする場合

「総額レイアウト」の設定: “なし” のとき	「総額レイアウト」の設定: “本体+税” のとき	「総額レイアウト」の設定: “本体(大)” のとき
表示価格 5000 円を 値下後価格 4000 円 パーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格(本体) 4000 円 パーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 パーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 5000 円を 値下後価格 4000 円	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円

「総額レイアウト」を “税込(大)” に設定したとき	「総額レイアウト」を “併記(同)” に設定したとき
表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (税込) 4320 円 (本体) 4000 円 パーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 パーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (税込) 4320 円 (本体) 4000 円	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円

元売価印字をする場合 (小数2桁印字あり)

「総額レイアウト」の設定: “本体(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “税込(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “併記(同)” で値下後価格印字をするとき
表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320.99 円 パーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (税込) 4320.99 円 (本体) 4000 円 パーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320.99 円 パーコード (CODE128) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D
表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320.99 円	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (税込) 4320.99 円 (本体) 4000 円	表示価格 (本体) 5000 円を 値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320.99 円

元売価印字をしない場合

「総額レイアウト」の設定: “なし” のとき	「総額レイアウト」の設定: “本体+税” のとき	「総額レイアウト」の設定: “本体(大)” のとき
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ご奉仕 価格 1000 円</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本体価格 より 1000 円 +税</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後 価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ご奉仕価格 1000 円</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本体価格より 1000 円 +税</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円</p> </div>

「総額レイアウト」を “税込(大)” に設定したとき	「総額レイアウト」を “併記(同)” に設定したとき
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後 (税込) 4320 円 価格 (本体) 4000 円</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後 (本体) 4000 円 価格 (税込) 4320 円</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後価格 (税込) 4320 円 (本体) 4000 円</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320 円</p> </div>

元売価印字をしない場合 (小数2桁印字あり)

「総額レイアウト」の設定: “本体(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “税込(大)” で値下後価格印字をするとき	「総額レイアウト」の設定: “併記(同)” で値下後価格印字をするとき
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後 (本体) 4000 円 価格 (税込) 4320.99 円</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後 (税込) 4320.99 円 価格 (本体) 4000 円</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後 (本体) 4000 円 価格 (税込) 4320.99 円</p> <p>バーコード (CODE128)</p> <p>XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXC/D</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320.99 円</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後価格 (税込) 4320.99 円 (本体) 4000 円</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>値下後価格 (本体) 4000 円 (税込) 4320.99 円</p> </div>

ラベルの発行

本プリンタに登録してある値下 CODE128 を使用して、商品の値下げラベルを発行します。

「円引き」「%引き」「新価格」の3つの値引き処理ができます。

No	値引処理	設定内容	参照ページ
1	円引き	値引き金額を設定します。	141 ページ
2	%引き	割引率を設定します。	143 ページ
3	新価格	表示価格を訂正し、新たな価格を設定します。	145 ページ

円引きラベルを発行する

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オフライン発行
3. 設定

メニュー (2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

業務選択
1. 値引処理
2. 廃棄
3. 設定

パスワード
[*][*][*][*]

- ① “5. 値下CODE128” を選び、**確定** キーを押します。

「業務選択」画面が表示されます。

- ② “1. 値引処理” を選び、**確定** キーを押します。

「パスワード」画面が表示されます。



「メニュー設定」機能の「メニュー表示」にて、「3. 設定」を“する”に設定した場合のみ、「3. 設定」を表示します。

- ③ パスワードを入力し、**確定** キーを押します。

「担当者コード」画面が表示されます。



「業務選択」画面の「設定」にて、パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は、248 ページをご覧ください。

担当者コード

数

4 担当者コードを入力し、**確定**キーを押します。

0～999999まで設定可能です。「税率切替」画面が表示されます。



チェック

「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、130 ページをご覧ください。

税率切替

1. 10.0%

2. 08.0%

▶

5 税率を選び、**確定**キーを押します。

チェック

この画面は「税率切替」（208 ページ）で“有効”を選んだときのみ表示されます。

値引処理

1. 円引 2. %引

3. 新価格

F1: アップロード

⬆

6 “1.円引”を選び、**確定**キーを押します。

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

値引き額

***円

F2: %引 F3: 新価格

7 値引き額を入力し、**確定**キーを押します。

1～9999円の設定が可能です。



◀キーで割引率選択画面に変わります。



▼キーで新価格入力画面に変わります。

6 桁の場合

賞味期限 6 桁

月* 日** 時間**

⬆

8 賞味期限を入力し、**確定**キーを押します。

チェック

「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限入力選択を“あり”に設定した場合のみ表示します。

賞味期限入力選択の設定は、129 ページをご覧ください。

「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限桁数選択を“6 桁”に設定した場合と“4 桁”に設定した場合で桁数が異なります。

賞味期限桁数選択の設定は、129 ページをご覧ください。

4 桁の場合

賞味期限 4 桁

月* 日**

⬆

100円引き **1枚
 *****C*****C
 通常価格 *****円
 F2:組 10%

- 9 値引対象品のバーコードをスキヤナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力します。発行枚数を入力し、**確定**キーを押します。

◀キーで、発行の単位を選べます。

枚：バーコードラベルを指定枚数発行できます。

組：バーコードラベルと文字ラベルをセットで発行できます。

発行後、**発行/停止**キーを押すと再発行します。

連続発行 /
 ティアオフ発行時

発行中
 XXXX / XXXX枚
停止キーで中断

停止中
 XXXX / XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

- 10 発行を開始します。

発行が終わると手順9に戻ります。

✓チェック

- 連続発行/ティアオフ発行時は **発行/停止** キーで発行が一時中断します。再度、**発行/停止** キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセバ発行時は **発行/停止** キーで発行が終了します。

%引きラベルを発行する

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
 2. オライ発行
 3. 設定

メニュー (2/3)
 4. 固定発行
5. 値下CODE128
 6. 値下JAN2段

業務選択
1. 値引処理
 2. 廃棄
 3. 設定

- 1 “5. 値下CODE128” を選び、**確定** キーを押します。

「業務選択」画面が表示されます。

- 2 “1. 値引処理” を選び、**確定** キーを押します。

「パスワード」画面が表示されます。

✓チェック

「メニュー設定」機能の「メニュー表示」にて、「3. 設定」を“する”に設定した場合のみ、「3. 設定」を表示します。

パスワード
[****]

③ パスワードを入力し、**確定**キーを押します。

「担当者コード」画面が表示されます。



「業務選択」画面の「設定」にて、パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。

パスワードの登録は、248 ページをご覧ください。

担当者コード
[*****] 数

④ 担当者コードを入力し、**確定**キーを押します。

「税率切替」画面が表示されます。



「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、130 ページをご覧ください。

税率切替
1. 10.0%
2. 08.0%

⑤ 税率を選び、**確定**キーを押します。



この画面は「税率切替」(208 ページ)で“有効”を選んだときのみ表示されます。

値引処理
1. 円引 2. 2%引
3. 新価格
F1:アップ F2:ロート

⑥ “2%引”を選び、**確定**キーを押します。

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

1. 10% 2. 20%
3. 30% 4. 40%
5. 50% 6. 任意
F1:円引 F3:新価格

⑦ 割引率を選び、**確定**キーを押します。「任意」を選んだときのみ、次の画面で割引率を入力し、**確定**キーを押します。

▲キーで値引き額入力画面に変わります。

▼キーで新価格入力画面に変わります。

割引率
*%
F1:円引 F3:新価格

6桁の場合

賞味期限6桁
月**日**時間**

4桁の場合

賞味期限4桁
月**日**

8 賞味期限を入力し、**確定**キーを押します。



「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限入力選択を“あり”に設定した場合のみ表示します。

賞味期限入力選択の設定は、129ページをご覧ください。「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限桁数選択を“6桁”に設定した場合と“4桁”に設定した場合で桁数が異なります。

賞味期限桁数選択の設定は、129ページをご覧ください。

9 値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力します。発行枚数を入力し、**確定**キーを押します。

◀キーで、発行の単位を選べます。

枚：バーコードラベルを指定枚数発行できます。

組：バーコードラベルと文字ラベルをセットで発行できます。

発行後、**発行/停止**キーを押すと再発行します。

10 発行を開始します。

発行が終わると手順9に戻ります。



- 連続発行/ティアオフ発行時は**発行/停止**キーで発行が一時中断します。再度、**発行/停止**キーを押すと発行します。

- ハクリ/ノンセパ発行時は**発行/停止**キーで発行が終了します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中
XXXX / XXXX枚
停止キーで中断

停止中
XXXX / XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

新価格ラベルを発行する

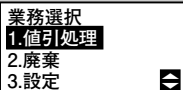
メニュー(1/3)
1. 呼出し発行
2. オラフ発行
3. 設定



メニュー(2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

1 “5. 値下CODE128”を選び、**確定**キーを押します。

「業務選択」画面が表示されます。

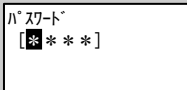


- ② “1. 値引処理” を選び、**確定** キーを押します。

「パスワード」画面が表示されます。



「メニュー設定」機能の「メニュー表示」にて、「3.設定」を“する”に設定した場合のみ、「3.設定」を表示します。

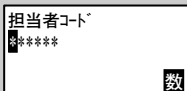


- ③ パスワードを入力し、**確定** キーを押します。

「担当者コード」画面が表示されます。



「業務選択」画面の「設定」にて、パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は、248 ページをご覧ください。

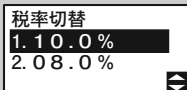


- ④ 担当者コードを入力し、**確定** キーを押します。

「税率切替」画面が表示されます。



「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、130 ページをご覧ください。

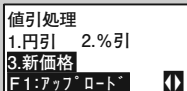


- ⑤ 税率を選び、**確定** キーを押します。

「値引処理」画面が表示されます。

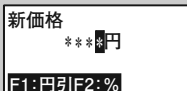


この画面は「税率切替」（208 ページ）で“有効”を選んだときのみ表示されます。



- ⑥ “3.新価格” を選び、**確定** キーを押します。

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。



- ⑦ 新価格を入力し、**確定** キーを押します。

▲キーで値引き額入力画面に変わります。

◀キーで割引率入力画面に変わります。

6桁の場合

賞味期限6桁
月*日** 時間**

4桁の場合

賞味期限4桁
月*日**8 賞味期限を入力し、**確定**キーを押します。

「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限入力選択を“あり”に設定した場合のみ表示します。

賞味期限入力選択の設定は、129ページをご覧ください。
「業務選択」画面の「設定」にて、賞味期限桁数選択を“6桁”に設定した場合と“4桁”に設定した場合で桁数が異なります。

賞味期限桁数選択の設定は、129ページをご覧ください。

100円 **1枚
*****C****C
通常価格 ****円
F2:組 10%

9 値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力します。発行枚数を入力し、**確定**キーを押します。

キーで、発行の単位を選べます。

枚：バーコードラベルを指定枚数発行できます。

組：バーコードラベルと文字ラベルをセットで発行できます。

発行後、**発行/停止**キーを押すと再発行します。

連続発行 /
ティアオフ発行時発行中
XXXX / XXXX枚**停止キーで中断**停止中
XXXX / XXXX枚**発行キーで再開**

ハクリ発行時

剥離発行中

停止キーで終了

10 発行を開始します。

発行が終わると手順9に戻ります。



- 連続発行/ティアオフ発行時は**発行/停止**キーで発行が一時中断します。再度、**発行/停止**キーを押すと発行します。

- ハクリ発行/ノンセパ発行時は**発行/停止**キーで発行が終了します。

発行種別選択

初期設定の発行形態を「連続」または「ティアオフ」に設定している場合に、業務選択画面またはバーコード入力画面でキーを押すと発行種別選択画面が表示されます。発行種別選択画面で「ハクリ」を選ぶとハクリ発行します。

発行種別を
選択してください
1. 連続 (ティアオフ)
2. ハクリ

1 発行モードを選び、**確定**キーを押します。

元の画面に戻ります。

商品を廃棄する

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定



メニュー (2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

業務選択
1. 値引処理
2. 廃棄
3. 設定

パスワード
[*][*][*][*]

担当者コード
[*][*][*][*]

コード入力
[*][*][*][*][*][*][*][*][*][*][*][*]C
F1:アップロード

廃棄数量
1**

- ① “5. 値下CODE128” を選び、**確定** キーを押します。

「業務選択」画面が表示されます。

- ② “2. 廃棄” を選び、**確定** キーを押します。

「パスワード」画面が表示されます。

- ③ パスワードを入力し、**確定** キーを押します。

「担当者コード」画面が表示されます。



「業務選択」画面の「設定」にて、パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。

パスワードの登録は、248 ページをご覧ください。

- ④ 担当者コードを入力し、**確定** キーを押します。

「コード入力」画面が表示されます。



「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、130 ページをご覧ください。

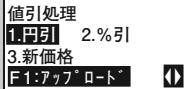
- ⑤ 廃棄する商品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力します。**確定** キーを押します。

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

- ⑥ 廃棄する数量を入力し、**確定** キーを押します。

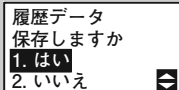
履歴データ保存

蓄積した廃棄履歴、値引き履歴を SD カードに保存します。
USB+LAN モデルおよび無線 LAN モデルの場合、「値引き履歴データ転送方法」
(131 ページ) で “SD” に設定したときのみ操作できます。



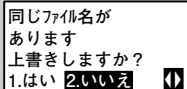
値引処理
1.円引 2.%引
3.新価格
F1:アップロード

- 1 「値引処理」画面、または、廃棄の「コード入力画面」で、**▲**キーを押して履歴データ保存画面を表示させます。



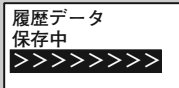
履歴データ
保存しますか
1. はい
2. いいえ

- 2 “はい”を選び、**確定**キーを押します。
履歴データが最大件数になった場合にもこの画面が表示されます。



同じファイル名が
あります
上書きしますか?
1.はい 2.いいえ

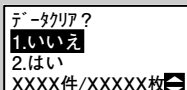
- 3 SDカードに、保存しようとしているのと同じ名前のファイルがある場合、確認画面が表示されます。上書きする場合は、“はい”を選び、**確定**キーを押します。



履歴データ
保存中
▶▶▶▶▶▶▶▶

- 4 履歴データ保存中は、“>>”が増えて進行状態を示します。

履歴データ保存完了後、「データクリア」画面に変わります。



データクリア?
1.いいえ
2.はい
XXXX件/XXXX枚

- 5 履歴データクリアの実行を確認し、**確定**キーを押します。

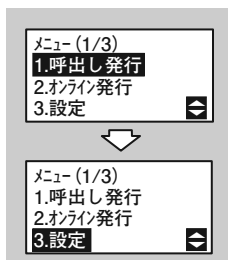
いいえ 履歴データを消去せず「値引処理」画面に戻ります。

はい 履歴データを消去して「値引処理」画面に戻ります。

値下JAN2段の初期設定

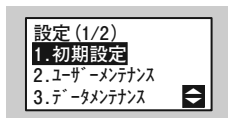
本プリンタの初期設定の流れを説明します。

はじめて JAN2 段の値下げラベル発行をおこなう前に、以下の手順で初期設定をおこなってください。設定した内容は電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。



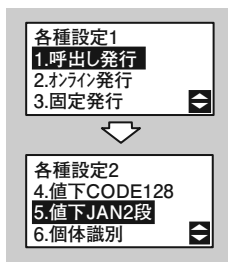
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



- ② “1. 初期設定” を選び、**確定** キーを押します。

「各種設定」画面が表示されます。



- ③ “5. 値下JAN2段” を選び、**確定** キーを押します。

「用紙種別」画面が表示されます。

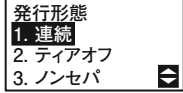
以降3つの設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定** キーを押してください。

No	設定項目	初期値	参照ページ
1	発行形態	連続	151 ページ
2	チェックラベル有無	あり	151 ページ
3	印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット	152 ページ

発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ノンセパ



— チェック —

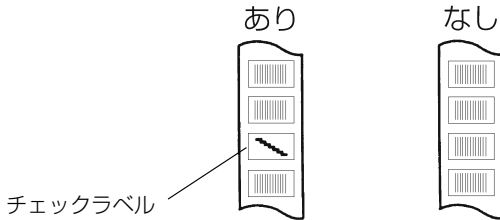
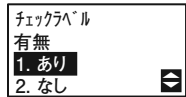
ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（177 ページ）で「ハクリ」を選んでください。

ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

チェックラベルの印字

チェックラベルを印字するかどうかを選びます。

「チェックラベル」とは、印字ヘッドの状態を確認するために印字するラベルのことです。アイテムの区切りにも利用できます。
→「第7章 困ったときは」（267 ページ）



— チェック —

「発行形態」で“連続”を選んだときだけ、この画面が表示されます。

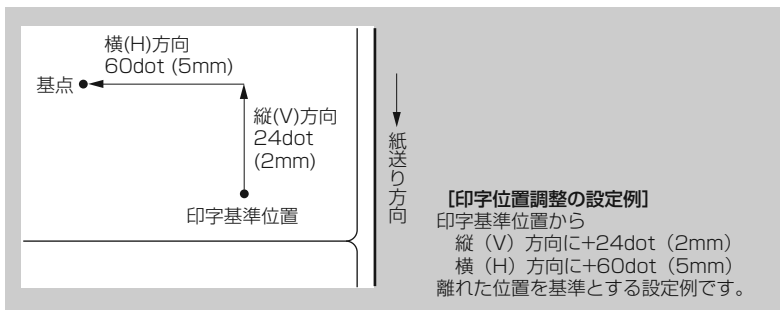
印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選び、印字位置を 00 ~ 60 の範囲でドット単位で調整します。

印字位置調整
縦 [↓00] ドット
横 [→00] ドット

数

シフト キーを押して、縦方向 (↑↓) / 横方向 (←→) を切替えられます。



チェック

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。よって、1dot=0.083mmになります。

値下JAN2段の設定

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定



メニュー (2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

業務選択
1. 値引処理
2. テーブル
3. 設定

- ① “6. 値下JAN2段” を選び、**確定** キーを押します。

「業務選択」画面が表示されます。

- ② “設定” を選び、**確定** キーを押します。



チェック

「メニュー設定」機能（250 ページ）の「メニュー表示」にて、「3. 設定」を“する”に設定した場合のみ、「3. 設定」が表示されます。

以降 30 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定** キーを押してください。

No	設定項目	初期値	参照ページ
1	ラベルサイズ	P65×W32	155 ページ
2	発行形態	連続	155 ページ
3	出力バーコード	バーコード1段	155 ページ
4	コメント機能	あり	155 ページ
5	プロパー価格表示	あり	155 ページ
6	部門機能	あり	155 ページ
7	NON-PLU 13桁1	フラグ：** 価格：4桁	156 ページ
8	NON-PLU 13桁2	フラグ：** 価格：4桁	156 ページ
9	NON-PLU 13桁3	フラグ：** 価格：4桁	156 ページ
10	NON-PLU 13桁4	フラグ：** 価格：4桁	156 ページ
11	NON-PLU 13桁5	フラグ：** 価格：4桁	156 ページ
12	NON-PLU 13桁6	フラグ：** 価格：4桁	156 ページ
13	NON-PLU 13桁7	フラグ：** 価格：4桁	156 ページ
14	NON-PLU 13桁8	フラグ：** 価格：4桁	156 ページ
15	NON-PLU 13桁9	フラグ：** 価格：4桁	156 ページ
16	NON-PLU 13桁10	フラグ：** 価格：4桁	156 ページ
17	出力バーフラグ	フラグ：02 P/C：あり	156 ページ
18	アイテムコード	5桁	156 ページ
19	出力バーコード	上段：21 下段：29	156 ページ
20	価格表示単位	¥	156 ページ
21	50%引の表示	50%引	157 ページ
22	円引処理	する	157 ページ
23	円引印字	新価格	157 ページ
24	%引処理	する	157 ページ
25	%引印字	新価格	157 ページ
26	新価格処理	する	157 ページ
27	担当者コード	あり	158 ページ
28	値引き履歴データ蓄積	なし	158 ページ
29	値引き履歴データ転送方法	SD	158 ページ
30	プリンタNo.	**	158 ページ

ラベルサイズ

ラベルサイズを選びます。

- P65×W32（長さ65mm×幅32mm）
- P35×W48（長さ35mm×幅48mm）

ラベルサイズ
1. P65 X W32
2. P35 X W48

発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ノンセパ

発行形態
1. 連続
2. ティアオフ
3. ノンセパ



チェック

ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（177 ページ）で「ハクリ」を選んでもください。

ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

出力バーコード

出力するバーコードの種類を選びます。

出力
バーコード
1. バーコード 1 段
2. バーコード 2 段

コメント機能

コメントを印字するかどうかを選びます。
コメントの設定は、159 ページをご覧ください。

コメント機能
1. あり
2. なし

プロパー価格表示

プロパー価格（元売価）を印字するかどうかを選びます。

プロパー
価格表示
1. あり
2. なし

部門機能

部門名を印字するかどうかを選びます。
部門名の設定は、161 ページをご覧ください。

部門機能
1. あり
2. なし

NON-PLU 13桁

13 桁スキャナ入力時に NON-PLU と認識するフラグを設定します。フラグは、00～99 まで設定可能です。また、読取ったバーコード内の価格を設定できます。価格を「4 桁」に設定した場合は、9～12 桁目を価格とします。価格を「5 桁」に設定した場合は、8～12 桁目を価格とします。プライスチェックデジットは、計算しません。「NON-PLU13 桁 1」から「NON-PLU13 桁 10」までの 10 件設定できます。

Non-PLU 13桁1
フラグ 00*
価格
4桁 5桁

▲▼または数字キーを使って設定を変更したい項目（フラグまたは桁数）を選びます。

出力バーフラグ

出力バーコード 1 段のフラグとプライスチェックデジットの有無を選びます。

出力バーフラグ
02
P/C
あり なし

アイテムコード

アイテムコードの桁数を選びます。

— チェック —

「出力バーフラグ」で「P/C」を「なし」に設定したときのみ、この画面が表示されます。

アイテムコード
1.5桁
2.6桁

出力バーコード

出力バーコード 2 段のフラグを設定します。

出力バーコード
上段 21
下段 29

価格表示単位

価格表示単位を選びます。

価格表示
単位
1. ¥
2. 円

50%引の表示

50%引きの表示方法を選びます。

50%引の表示
1.50%引
2.半額
▼

円引処理

値引処理で「円引」を使用するかどうかを選びます。

“する”を選んだ場合のみ、「値引処理」(170 ページ ⑤)に「円引」が表示されます。

円引処理
1.する
2.しない
▼

円引印字

円引ラベルの印字内容を選びます。

円引印字
1.新価格
2.円引
3.円引+新価格
▼

%引処理

値引処理で「%引」を使用するかどうかを選びます。

“する”を選んだ場合のみ、「値引処理」(172 ページ ⑤)に「%引」が表示されます。

%引処理
1.する
2.しない
▼

%引印字

%引ラベルの印字内容を選びます。

%引印字
1.新価格
2.%引
3.%引+新価格
▼

新価格処理

値引処理で「新価格」を使用するかどうかを選びます。

“する”を選んだ場合のみ、「値引処理」(175 ページ ⑤)に「新価格」が表示されます。

新価格処理
1.する
2.しない
▼

担当者コード

「値引処理」の実行時に担当者コード入力画面を表示するかしないかを選びます。“あり”を選択した場合、担当者コード入力画面で入力された担当者コードが、履歴データの担当者コードへ反映されます。“なし”を選択した場合、履歴データの担当者コードは、“000000”が入力されます。

担当者コード

- 1.あり
- 2.なし

値引き履歴データ蓄積

値引き履歴データを蓄積するかどうかを選びます。値引き処理の履歴データをプリンタ本体に蓄積し、ホストなどへ転送する場合は、“あり”を設定します。“なし”を設定した場合は、履歴データをプリンタ本体へ蓄積しません。ただし、値引き履歴データは、JAN2 段値下もしくは CODE128 値下の一方しか蓄積できません。JAN2段値下履歴データが“あり”に設定されている状態で、CODE128 値下履歴データ蓄積を“なし”から“あり”に変更するとデータ削除確認画面が表示されます。

値引き履歴
データ蓄積？

- 1.あり
- 2.なし

値引き履歴データ転送方法

値引き履歴データ転送方法を選びます。

— チェック —

「値引き履歴データ蓄積」で“あり”を選んだときのみ、この画面が表示されます。

USBモデルの場合、およびUSB+LANモデルでUSBが選択されている場合、この画面は表示されません。値引き履歴データ蓄積選択画面が“あり”の場合は、SDカードに履歴データを保存します。

値引き履歴
データ転送方法

1. SD
2. FTP

プリンタNo.

値引きデータを蓄積するプリンタ No. を設定します。00～99の設定が可能です。未入力の場合、プリンタ No. は“00”を設定します。

プリンタ No. は、値引き履歴データに反映されます。

プリンタNo.

※

数

テーブル編集

コメントや部門名を編集します。

メニュー (1/3)
1.呼出し発行
2.ダイヤ発行
3.設定

メニュー (2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

業務選択
1. 値引処理
2. テーブル
3. 設定

- 1 “6. 値下JAN2段” を選び、**確定** キーを押します。

「業務選択」画面が表示されます。

- 2 “テーブル” を選び、**確定** キーを押します。

コメントテーブル

テーブル選択
1.コメント
2.部門

コメントテーブル
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

- 1 「テーブル選択」画面で“コメント”を選び、**確定** キーを押します。

- 2 編集内容を選び、**確定** キーを押します。

登録

コメントテーブル
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

登録テーブルNo
[*#]
コピ-No[*#] 数

- 1 「コメントテーブル」画面で“登録”を選び、**確定** キーを押します。

- 2 登録するテーブルNoを入力し、**確定** キーを押します。

既存のテーブルをコピーし、一部を変更して登録したい場合は、**シフト** キーを押して「コピー No」にカーソルを移動し、コピー元のテーブルNoを入力します。

- コメントを入力し、**確定** キーを押します。

変更

- 「コメントテーブル」画面で“変更”を選び、**確定** キーを押します。

- 変更するテーブルNoを入力し、**確定** キーを押します。

- コメントを入力し、**確定** キーを押します。

削除

- 「コメントテーブル」画面で“削除”を選び、**確定** キーを押します。

- 削除するテーブルNoを入力し、**確定** キーを押します。
削除するテーブルNoを入力して **シフト** キーを押すとテーブル内容が確認できます。

- 確認画面で“はい”を選び、**確定** キーを押します。
データが削除されます。

ダンプ発行

登録したコメントの一部またはすべてをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。

- 「コメントテーブル」画面で“ダンプ”を選び、**確定** キーを押します。

ダンプテーブルNo
[*#]から[**]まで

数

- ② ダンプ発行するデータの範囲を指定し、**確定**キーを押します。

開始番号より終了番号が大きくなるようにテーブルNoを入力してください。

シフトキーを押すと、開始番号と終了番号の入力欄をカーソルが移動します。

開始番号だけを入力した場合、指定した1件だけを発行します。

コメントテーブル
ダンプデータ発行中

- ③ 指定した範囲のコメントが一枚ずつ印字されます。

部門テーブル

テーブル選択
1. コメント
2. 部門

◀▶

- ① 「テーブル選択」画面で「部門」を選び、**確定**キーを押します。

部門テーブル
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

⊞

- ② 編集内容を選び、**確定**キーを押します。

登録

部門テーブル
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

⊞

- ① 「部門テーブル」画面で「登録」を選び、**確定**キーを押します。

登録テーブルNo
[*#] -No[**]
コピ

数

- ② 登録するテーブルNoを入力し、**確定**キーを押します。

既存のテーブルをコピーし、一部を変更して登録したい場合は、**シフト**キーを押して「コピー No」にカーソルを移動し、コピー元のテーブルNoを入力します。

部門
● . .

漢

- ③ 部門名を入力し、**確定**キーを押します。

変更

部門テーブル
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

- 1 「部門テーブル」画面で“変更”を選び、**確定** キーを押します。

変更テーブルNo
[*][.]

- 2 変更するテーブルNoを入力し、**確定** キーを押します。

部門
[.]

- 3 部門名を入力し、**確定** キーを押します。

削除

部門テーブル
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

- 1 「部門テーブル」画面で“削除”を選び、**確定** キーを押します。

削除テーブルNo
[*][.]

- 2 削除するテーブルNoを入力し、**確定** キーを押します。
削除するテーブルNoを入力して**シフト**キーを押すとテーブル内容が確認できます。

削除しますか？
1.はい
2.いいえ

- 3 確認画面で“はい”を選び、**確定** キーを押します。
データが削除されます。

ダンプ発行

登録した部門名の一部またはすべてをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。

部門テーブル
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

- 1 「部門テーブル」画面で“ダンプ”を選び、**確定** キーを押します。

ダンプデータNo
[*]から[*]まで

数

- 2 ダンプ発行するデータの範囲を指定し、**確定** キーを押します。

開始番号より終了番号が大きくなるようにプリセットNo.を入力してください。

シフト キーを押すと、開始番号と終了番号の入力欄をカーソルが移動します。

開始番号だけを入力した場合、指定した1件だけを発行します。

部門テーブル
ダンプデータ発行中

- 3 指定した範囲の部門名が一枚ずつ印字されます。

値下JAN2段の印字レイアウト例

印字レイアウトは「値下設定」(256 ページ) で設定します。

円引きラベル

「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "なし" で 値下後価格印字をしないとき	「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "なし" 以外で 値下後価格印字をしないとき
お買得品 表示価格より 1 2 3 4 5 6 部門名 2300 円引	お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 1000 円引

「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "なし" で 値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "本体+税" で値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "本体(大)" で値下後価格印字をするとき
お買得品 通常価格 3980 円より 部門名 1000 円引で ¥2980	お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 1000 円引で (本体)¥4000 +税	お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 1000 円引で (本体)¥4000 (税込) ¥4320
お買得品 通常価格 3980 円より 部門名 1000 円引で 2980 円	お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 1000 円引で (本体) 4000 円 +税	お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 1000 円引で (本体) 4000 円 (税込) 4320 円

「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "税込(大)" で値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "併記(同)" で値下後価格印字をするとき
お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 1000 円引で (税込)¥4320 (本体) ¥4000	お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 1000 円引で (本体)¥4000 (税込)¥4320
お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 1000 円引で (税込) 4320 円 (本体) 4000 円	お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 1000 円引で (本体) 4000 円 (税込) 4320 円

<p>「ラベルサイズ」の設定：“P35×W48”で 値下後価格印字をしないとき</p>	<p>「ラベルサイズ」の設定：“P35×W48”で 値下後価格印字をするとき</p>								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">お 買 得 品</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 2px;">部門名</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バーコード</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表示価格より 1 2 3 4 5 6 L</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(解説文字を含む)</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: 24pt; margin-top: 10px;">2300 円引</p> </div>	部門名	バーコード	表示価格より 1 2 3 4 5 6 L	(解説文字を含む)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">お 買 得 品</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 2px;">部門名</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バーコード</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">通常価格 5000 円より 2 7 0 0 円引</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(解説文字を含む)</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: 24pt; margin-top: 10px;">¥2300</p> </div>	部門名	バーコード	通常価格 5000 円より 2 7 0 0 円引	(解説文字を含む)
部門名	バーコード								
表示価格より 1 2 3 4 5 6 L	(解説文字を含む)								
部門名	バーコード								
通常価格 5000 円より 2 7 0 0 円引	(解説文字を含む)								
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">お 買 得 品</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 2px;">部門名</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バーコード</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">通常価格 5000 円より 2 7 0 0 円引</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(解説文字を含む)</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: 24pt; margin-top: 10px;">2300 円</p> </div>	部門名	バーコード	通常価格 5000 円より 2 7 0 0 円引	(解説文字を含む)				
部門名	バーコード								
通常価格 5000 円より 2 7 0 0 円引	(解説文字を含む)								

%引きラベル

「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "なし" で 値下後価格印字をしないとき	「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "なし" 以外で 値下後価格印字をしないとき
お買得品 <small>表示価格より 1 2 3 4 5 6 部門名</small> 20%引	お買得品 <small>お買得品(本体) 5000円 部門名</small> 20%引

「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "なし" で 値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "本体+税" で 値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "本体(大)" で 値下後価格印字をするとき
お買得品 <small>通常価格 5000円より 部門名</small> <small>25%引で</small> ¥3750	お買得品 <small>お買得品(本体) 5000円 部門名</small> <small>20%引で</small> (本体) ¥4000 <small>+税</small>	お買得品 <small>お買得品(本体) 5000円 部門名</small> <small>20%引で</small> (本体) ¥4000 <small>(税込) ¥4320</small>
お買得品 <small>通常価格 5000円より 部門名</small> <small>25%引で</small> 3750円	お買得品 <small>お買得品(本体) 5000円 部門名</small> <small>20%引で</small> (本体) 4000円 <small>+税</small>	お買得品 <small>お買得品(本体) 5000円 部門名</small> <small>20%引で</small> (本体) 4000円 <small>(税込) 4320円</small>

「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "税込(大)" で 値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定: "P65×W32"、 「総額レイアウト」の設定: "併記(同)" で 値下後価格印字をするとき
お買得品 <small>お買得品(本体) 5000円 部門名</small> <small>20%引で</small> (税込) ¥4320 <small>(本体) ¥4000</small>	お買得品 <small>お買得品(本体) 5000円 部門名</small> <small>20%引で</small> (本体) ¥4000 <small>(税込) ¥4320</small>
お買得品 <small>お買得品(本体) 5000円 部門名</small> <small>20%引で</small> (税込) 4320円 <small>(本体) 4000円</small>	お買得品 <small>お買得品(本体) 5000円 部門名</small> <small>20%引で</small> (本体) 4000円 <small>(税込) 4320円</small>

「ラベルサイズ」の設定: “P35×W48” で 値下後価格印字をしないとき	「ラベルサイズ」の設定: “P35×W48” で 値下後価格印字をするとき												
<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>部門名 表示価格 より 123456</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">20%引</td></tr> </table>	お 買 得 品		部門名 表示価格 より 123456	バーコード (解説文字を含む)	20%引		<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>部門名 通常価格 5000 円より 20 %引</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">¥4000</td></tr> </table>	お 買 得 品		部門名 通常価格 5000 円より 20 %引	バーコード (解説文字を含む)	¥4000	
お 買 得 品													
部門名 表示価格 より 123456	バーコード (解説文字を含む)												
20%引													
お 買 得 品													
部門名 通常価格 5000 円より 20 %引	バーコード (解説文字を含む)												
¥4000													
	<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>部門名 5000 円より 20 %引</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">4000 円</td></tr> </table>	お 買 得 品		部門名 5000 円より 20 %引	バーコード (解説文字を含む)	4000 円							
お 買 得 品													
部門名 5000 円より 20 %引	バーコード (解説文字を含む)												
4000 円													

「50%引の表示」(157 ページ) を “半額” に設定し、割引率を50%に設定した場合

「ラベルサイズ」の設定: “P65×W32”、 「総額レイアウト」の設定: “なし” 以外で 値下後価格印字をしないとき	「ラベルサイズ」の設定: “P65×W32”、 「総額レイアウト」の設定: “本体+税” で 値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定: “P65×W32”、 「総額レイアウト」の設定: “本体(大)” で 値下後価格印字をするとき												
<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>お買得品(本体) 5000円 半額 部門名</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> </table>	お 買 得 品		お買得品(本体) 5000円 半額 部門名	バーコード (解説文字を含む)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) ¥4000 +税 部門名</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> </table>	お 買 得 品		お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) ¥4000 +税 部門名	バーコード (解説文字を含む)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) ¥4000 (税込) ¥4320 部門名</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> </table>	お 買 得 品		お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) ¥4000 (税込) ¥4320 部門名	バーコード (解説文字を含む)
お 買 得 品														
お買得品(本体) 5000円 半額 部門名	バーコード (解説文字を含む)													
お 買 得 品														
お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) ¥4000 +税 部門名	バーコード (解説文字を含む)													
お 買 得 品														
お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) ¥4000 (税込) ¥4320 部門名	バーコード (解説文字を含む)													
	<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) 4000 円 +税 部門名</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> </table>	お 買 得 品		お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) 4000 円 +税 部門名	バーコード (解説文字を含む)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 部門名</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> </table>	お 買 得 品		お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 部門名	バーコード (解説文字を含む)				
お 買 得 品														
お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) 4000 円 +税 部門名	バーコード (解説文字を含む)													
お 買 得 品														
お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 部門名	バーコード (解説文字を含む)													

「ラベルサイズ」の設定: “P65×W32”、 「総額レイアウト」の設定: “税込(大)” で 値下後価格印字をするとき	「ラベルサイズ」の設定: “P65×W32”、 「総額レイアウト」の設定: “併記(同)” で 値下後価格印字をするとき								
<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>お買得品(本体) 8000円 半額で (税込) ¥4320 (本体) ¥4000 部門名</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> </table>	お 買 得 品		お買得品(本体) 8000円 半額で (税込) ¥4320 (本体) ¥4000 部門名	バーコード (解説文字を含む)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) ¥4000 (税込) ¥4320 部門名</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> </table>	お 買 得 品		お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) ¥4000 (税込) ¥4320 部門名	バーコード (解説文字を含む)
お 買 得 品									
お買得品(本体) 8000円 半額で (税込) ¥4320 (本体) ¥4000 部門名	バーコード (解説文字を含む)								
お 買 得 品									
お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) ¥4000 (税込) ¥4320 部門名	バーコード (解説文字を含む)								
<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>お買得品(本体) 8000円 半額で (税込) 4320 円 (本体) 4000 円 部門名</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> </table>	お 買 得 品		お買得品(本体) 8000円 半額で (税込) 4320 円 (本体) 4000 円 部門名	バーコード (解説文字を含む)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">お 買 得 品</th></tr> <tr> <td>お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 部門名</td> <td>バーコード (解説文字を含む)</td> </tr> </table>	お 買 得 品		お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 部門名	バーコード (解説文字を含む)
お 買 得 品									
お買得品(本体) 8000円 半額で (税込) 4320 円 (本体) 4000 円 部門名	バーコード (解説文字を含む)								
お 買 得 品									
お買得品(本体) 8000円 半額で (本体) 4000 円 (税込) 4320 円 部門名	バーコード (解説文字を含む)								

新価格ラベル

<p>「ラベルサイズ」の設定: 「P65×W32」、「総額レイアウト」の設定: 設定: “なし” のとき</p>	<p>「ラベルサイズ」の設定: 「P65×W32」、「総額レイアウト」の設定: 設定: “本体+税” のとき</p>	<p>「ラベルサイズ」の設定: 「P65×W32」、「総額レイアウト」の設定: 設定: “本体(大)” のとき</p>
<p>お買得品 表示価格より 1 2 3 4 5 6 部門名 ¥2300</p> <p>バーコード (解説文字を含む)</p>	<p>お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 (本体)¥4000 +税</p> <p>バーコード (解説文字を含む)</p>	<p>お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 (本体)¥4000 (税込) ¥4320</p> <p>バーコード (解説文字を含む)</p>
<p>お買得品 表示価格より 1 2 3 4 5 6 部門名 2300円</p> <p>バーコード (解説文字を含む)</p>	<p>お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 (本体) 4000円 +税</p> <p>バーコード (解説文字を含む)</p>	<p>お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 (本体) 4000円 (税込) 4320円</p> <p>バーコード (解説文字を含む)</p>

<p>「ラベルサイズ」の設定: 「P65×W32」、「総額レイアウト」の設定: 設定: “税込(大)” のとき</p>	<p>「ラベルサイズ」の設定: 「P65×W32」、「総額レイアウト」の設定: 設定: “併記(同)” のとき</p>
<p>お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 (税込)¥4320 (本体) ¥4000</p> <p>バーコード (解説文字を含む)</p>	<p>お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 (本体)¥4000 (税込)¥4320</p> <p>バーコード (解説文字を含む)</p>
<p>お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 (税込) 4320円 (本体) 4000円</p> <p>バーコード (解説文字を含む)</p>	<p>お買得品 お買得品(本体)5000円 部門名 (本体) 4000円 (税込) 4320円</p> <p>バーコード (解説文字を含む)</p>

<p>「ラベルサイズ」の設定: 「P35×W48” のとき</p>
<p>お買得品 部門名 バーコード (解説文字を含む) ¥2300</p>
<p>お買得品 部門名 バーコード (解説文字を含む) 2300円</p>

ラベルの発行

本プリンタに登録してある値引 JAN2 段を使用して、商品の値下げラベルを発行します。

「円引き」「%引き」「新価格」の3つの値引き処理ができます。

No	値引処理	設定内容	参照ページ
1	円引き	値引き金額を設定します。	169 ページ
2	%引き	割引率を設定します。	172 ページ
3	新価格	表示価格を訂正し、新たな価格を設定します。	174 ページ

円引きラベルを発行する

メニュー (1/3)
1.呼出し発行
2.オンライン発行
3.設定

メニュー (2/3)
4.固定発行
5.値下CODE128
6.値下JAN2段

業務選択
1.値引処理
2.テーブル
3.設定

コメント
*
数

- ① “6. 値下JAN2段” を選び、**確定** キーを押します。

「業務選択」画面が表示されます。

- ② “値引処理” を選び、**確定** キーを押します。

- ③ コメントテーブルNo.を入力し、**確定** キーを押します。

—— チェック ——

「業務選択」画面の「設定」にて、コメント機能を“あり”に設定した場合のみ表示します。コメント機能の設定は、155 ページをご覧ください。

担当者コード

数

- ④ 担当者コードを入力し、**確定**キーを押します。


「値引処理」画面が表示されます。



「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、158 ページをご覧ください。

値引処理
1.円引 2.%引
3.新価格
F1:アップロード
数

- ⑤ “円引”を選び、**確定**キーを押します。

キーで履歴データ保存画面に変わります。

円引き処理
***円
数

- ⑥ 値引き金額を入力し、**確定**キーを押します。

1～9999円の設定が可能です。

バーコード入力
***** C
XXXX円引
数

- ⑦ 値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、**確定**キーを押します。

下段バーコード
***** C
XXXX円引
数

- ⑧ 下段のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、**確定**キーを押します。



「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、155 ページをご覧ください。

部門
**
数

- ⑨ 部門のコードを入力し、**確定**キーを押します。



「業務選択」画面の「設定」にて、部門設定を“あり”に設定し、かつ出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。部門名の設定は、161 ページをご覧ください。ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

アイテム

数

10 アイテムを入力し、**確定**キーを押します。



「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード1段”に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、155 ページをご覧ください。ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

元売価入力
*****円
*****円引

数

11 元売価を入力し、**確定**キーを押します。



NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

枚数
1***

数

12 発行枚数を入力し、**確定**キーを押します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中
XXXX / XXXX枚

停止キーで中断

停止中
XXXX / XXXX枚

発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中

停止キーで終了

13 発行を開始します。

発行が終わると手順⑦に戻ります。



- 連続発行/ティアオフ発行時は**発行/停止**キーで発行が一時中断します。再度、**発行/停止**キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセバ発行時は**発行/停止**キーで発行が終了します。

%引きラベルを発行する

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

メニュー (2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

業務選択
1. 値引処理
2. テーブル
3. 設定

コメント
*
数

担当者コード

数

値引処理
1. 円引 2. %引
3. 新価格
F1:アップ F2:リセット

%引き処理
%
数

バーコード入力
***** C
XX%引
数

- ① “6. 値下JAN2段” を選び、**確定** キーを押します。
「業務選択」画面が表示されます。

- ② “値引処理” を選び、**確定** キーを押します。

- ③ コメントテーブルNo.を入力し、**確定** キーを押します。

— チェック —

「業務選択」画面の「設定」にて、コメント機能を“あり”に設定した場合のみ表示します。コメント機能の設定は、155 ページをご覧ください。

- ④ 担当者コードを入力し、**確定** キーを押します。

「値引処理」画面が表示されます。

— チェック —

「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、158 ページをご覧ください。

- ⑤ “%引” を選び、**確定** キーを押します。

▲ キーで履歴データ保存画面に変わります。

- ⑥ 割引率を入力し、**確定** キーを押します。

1～99%の設定が可能です。

- ⑦ 値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、**確定** キーを押します。

下段バーコード ***** C XX%引	数
----------------------------	---

- 8 下段のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、**確定** キーを押します。

— チェック —

「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、155 ページをご覧ください。

部門 **	数
----------	---

- 9 部門のコードを入力し、**確定** キーを押します。

— チェック —

「業務選択」画面の「設定」にて、部門設定を“あり”に設定し、かつ出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。部門名の設定は、161 ページをご覧ください。ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

アイテム ****	数
--------------	---

- 10 アイテムを入力し、**確定** キーを押します。

— チェック —

「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード1段”に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、155 ページをご覧ください。ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

元売値入力 ***円 XX%引	数
-----------------------	---

- 11 元売値を入力し、**確定** キーを押します。

— チェック —

NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

枚数 ***	数
-----------	---

- 12 発行枚数を入力し、**確定** キーを押します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中
XXXX / XXXX 枚
停止キーで中断

停止中
XXXX / XXXX 枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

13 発行を開始します。

発行が終わると手順⑦に戻ります。

✓チェック

- 連続発行/ティアオフ発行時は **発行/停止** キーで発行が一時中断します。再度、**発行/停止** キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセバ発行時は **発行/停止** キーで発行が終了します。

新価格処理ラベルを発行する

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

メニュー (2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

業務選択
1. 値引処理
2. テーブル
3. 設定

コメント
* 数

1 “6. 値下JAN2段” を選び、**確定** キーを押します。

「業務選択」画面が表示されます。

2 “値引処理” を選び、**確定** キーを押します。

3 コメントテーブルNo.を入力し、**確定** キーを押します。

✓チェック

「業務選択」画面の「設定」にて、コメント機能を“あり”に設定した場合のみ表示します。コメント機能の設定は、155 ページをご覧ください。

担当者コード

数

- ④ 担当者コードを入力し、**確定**キーを押します。

「値引処理」画面が表示されます。



「業務選択」画面の「設定」にて、担当者コード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。担当者コードの設定は、158 ページをご覧ください。

値引処理
1.円引 2.%引
3.新価格
F1:アップ R:オート

数

- ⑤ “新価格”を選び、**確定**キーを押します。

▲キーで履歴データ保存画面に変わります。

新価格処理
***円

数

- ⑥ 値引後の新価格を入力し、**確定**キーを押します。

1～9999円の設定が可能です。

バーコード入力
***** C
XXXX円

数

- ⑦ 値引対象品のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、**確定**キーを押します。

下段バーコード
***** C
XXXX円

数

- ⑧ 下段のバーコードをスキャナ入力します。手入力する場合は、バーコードを入力し、**確定**キーを押します。



「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、155 ページをご覧ください。

部門
**

数

- ⑨ 部門のコードを入力し、**確定**キーを押します。



「業務選択」画面の「設定」にて、部門設定を“あり”に設定し、かつ出力バーコード設定を“バーコード2段”に設定した場合のみ表示します。部門名の設定は、161 ページをご覧ください。ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

アイテム

数

- ⑩ アイテムを入力し、**確定** キーを押します。



「業務選択」画面の「設定」にて、出力バーコード設定を“バーコード1段”に設定した場合のみ表示します。出力バーコードの設定は、155 ページをご覧ください。ただし、NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

元売値入力
****円
XXXX円
数

- ⑪ 元売値を入力し、**確定** キーを押します。



NonPLUバーコードを入力したときは、この画面を表示しません。

枚数

数

- ⑫ 発行枚数を入力し、**確定** キーを押します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中
XXXX / XXXX 枚
停止キーで中断

停止中
XXXX / XXXX 枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

- ⑬ 発行を開始します。

発行が終わると手順⑦に戻ります。



- 連続発行/ティアオフ発行時は **発行/停止** キーで発行が一時中断します。再度、**発行/停止** キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセバ発行時は **発行/停止** キーで発行が終了します。

発行種別選択

初期設定の発行形態を「連続」または「ティアオフ」に設定している場合に、業務選択画面で **[▶]** キーを押すと発行種別選択画面が表示されます。発行種別選択画面で「ハクリ」を選ぶとハクリ発行します。

発行種別を
選択してください
1. 連続 (ティアオフ)
2. ハクリ

- 1 発行モードを選び、**[確定]** キーを押します。

業務選択画面に戻ります

履歴データ保存

蓄積した廃棄履歴、値引き履歴を SD カードに保存します。
USB+LAN モデルおよび無線 LAN モデルの場合、「値引き履歴データ転送方法」(158 ページ) で“SD”に設定したときのみ操作できます。

値引処理
1. 円引 2. %引
3. 新価格
F1: アップロード

- 1 「値引処理」画面で、**[▲]** キーを押して履歴データ保存画面を表示させます。

履歴データが最大件数になった場合にもこの画面が表示されます。

履歴データ
保存しますか
1. はい
2. いいえ

- 2 “はい”を選び、**[確定]** キーを押します。

同じファイル名が
あります
上書きしますか？
1. はい 2. いいえ

- 3 SDカードに、保存しようとしているのと同じ名前のファイルがある場合、確認画面が表示されます。上書きする場合は、“はい”を選び、**[確定]** キーを押します。

履歴データ
保存中
>>>>>>>>>

- 4 履歴データ保存中は、“>>”が増えて進行状態を示します。

履歴データ保存完了後、「データクリア」画面に変わります。

データクリア？
1. いいえ
2. はい
XXXX件/XXXXX枚

- 5 履歴データクリアの実行を確認し、**[確定]** キーを押します。

いいえ 履歴データを消去せず「値引処理」画面に戻ります。

はい 履歴データを消去して「値引処理」画面に戻ります。

個体識別

本プリンタに登録してある個体識別を使用して、継承ラベルおよび個体識別ラベルを発行します。

継承ラベル（大ラベル）

「部位名」「個体識別番号」「産地名」「消費期限」が表示されます。



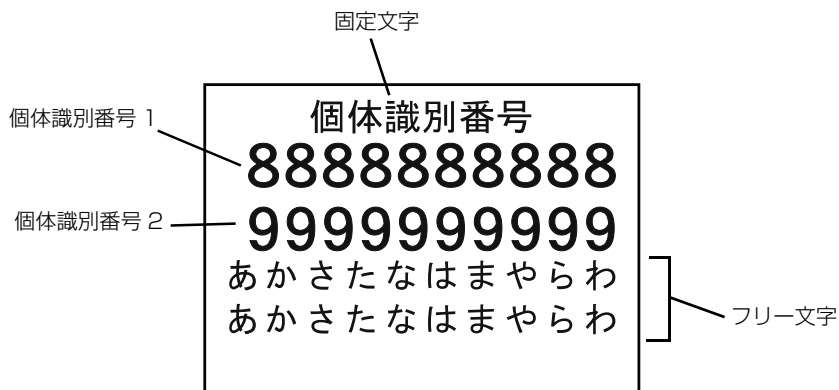
継承ラベル（小ラベル）

「個体識別番号」「消費期限」が表示されます。



個体識別ラベル

「個体識別ラベル」が表示されます。



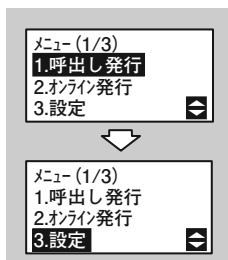
チェック

日付見出とフリー文字は、個体識別の「設定」のテーブル設定で設定します。
テーブル設定については、186 ページをご覧ください。

個体識別の初期設定

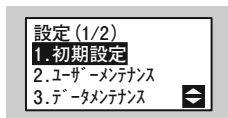
本プリンタの初期設定の流れを説明します。

はじめて個体識別ラベル発行をおこなう前に、以下の手順で初期設定をおこなってください。設定した内容は電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。



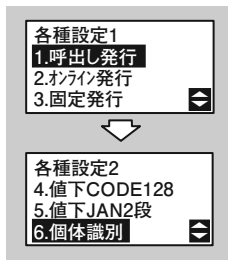
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



- ② “1. 初期設定” を選び、**確定** キーを押します。

「各種設定」画面が表示されます。



- ③ “6. 個体識別” を選び、**確定** キーを押します。

「発行形態」画面が表示されます。

以降 16 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定** キーを押してください。

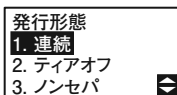
No	設定項目	初期値	参照ページ
1	発行形態	連続	181 ページ
2	チェックラベル有無	あり	182 ページ
3	継承ラベル印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット	183 ページ
4	個体識別ラベル印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット	183 ページ
5	部位名印字	あり	183 ページ
6	部位テーブルNo印字	あり	183 ページ
7	産地名印字	あり	184 ページ
8	産地テーブルNo印字	あり	184 ページ

No	設定項目	初期値	参照ページ
9	日付印字	あり	184 ページ
10	加算日数初期値	000	184 ページ
11	個体識別固定印字	あり	185 ページ
12	継承ラベルサイズ	大ラベルP38xW40	185 ページ
13	個体識別ラベルサイズ	縦：25mm 横：32mm	185 ページ
14	バーコード種変更	しない	185 ページ
15	バーコード種変更パスワード	****	185 ページ
16	バーコード種	ITFコード	185 ページ

発行形態

ラベルの発行形態を選びます。

- 連続
- ティアオフ
- ノンセパ



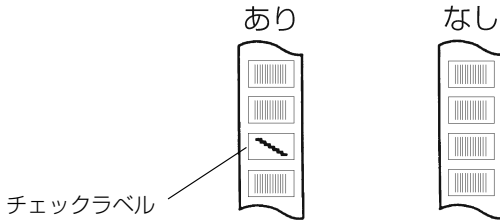
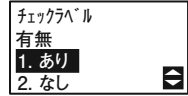
ハクリ発行する場合は、発行種別選択画面（198 ページ）で「ハクリ」を選んでください。

ノンセパはノンセパラベルを使用時に設定してください。

チェックラベルの印字

チェックラベルを印字するかどうかを選びます。

「チェックラベル」とは、印字ヘッドの状態を確認するために印字するラベルのことです。アイテムの区切りにも利用できます。
→「第7章 困ったときは」(267 ページ)



✓
チェック

「発行形態」で“連続”を選んだときだけ、この画面が表示されます。

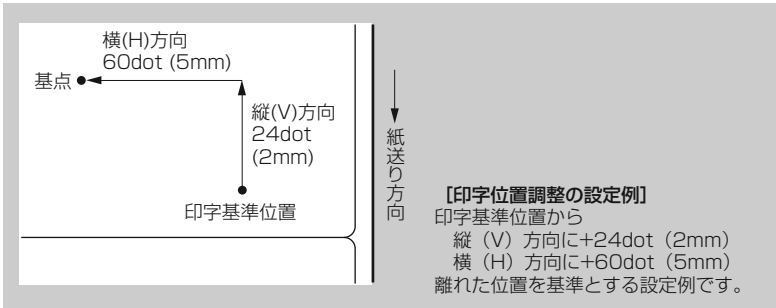
印字位置調整

▲▼キーを押して、縦方向 / 横方向を選び、印字位置を 00 ~ 60 の範囲でドット単位で調整します。

継承ラベル
印字位置調整
縦 [↓00]ドット
横 [→00]ドット

個体識別ラベル
印字位置調整
縦 [↓00]ドット
横 [→00]ドット

シフトキーを押して、縦方向 (↑↓) / 横方向 (←→) を切替えられます。



チェック

本プリンタのヘッド密度は12dot/mmです。よって、1dot=0.083mmになります。

部位名の印字

部位名の印字をおこなうかどうかを選びます。

印字項目選択
部位名印字
1. あり
2. なし

部位テーブルNoの印字

部位テーブル No の印字をおこなうかどうかを選びます。

印字項目選択
部位テーブルNo印字
1. あり
2. なし



チェック

「部位名」で“あり”に設定した場合のみ表示されます。ここで“なし”を選択した場合、「継承ラベル発行」(195 ページ)において「部位名」画面が表示されません。
部位テーブルNoについては、193 ページをご覧ください。

産地名の印字

産地名の印字をおこなうかどうかを選びます。

— チェック —

ここで“なし”を選択した場合、「継承ラベル発行」（195 ページ）において「産地名」画面が表示されません。

印字項目選択
産地名印字
1. あり
2. なし

産地テーブルNoの印字

産地テーブル No の印字をおこなうかどうかを選びます。

— チェック —

「産地名印字」で“あり”に設定した場合のみ表示されます。産地テーブルNoについては、190 ページをご覧ください。

印字項目選択
産地テーブルNo印字
1. あり
2. なし

日付の印字

日付の印字をおこなうかどうかを選びます。

— チェック —

ここで“なし”を選択した場合、「継承ラベル発行」（195 ページ）において「加算日数」画面が表示されません。

印字項目選択
日付印字
1. あり
2. なし

加算日数の初期値

加算日数（消費期限）の初期値を設定します。
プリンタのシステムカレンダー日付に対しての加算日数を入力します。

例) 翌日を設定するときは“001”を入力します。

— チェック —

「日付印字」で“あり”に設定した場合のみ表示されます。

印字項目選択
加算日数初期値
[000]

数

個体識別の固定印字

個体識別の固定印字をおこなうかどうかを選びます。

印字項目選択 個体識別固定印字
1. あり
2. なし

継承ラベルサイズ

継承ラベルのサイズを選びます。

- 大ラベル（長さ38mm×幅40mm）
- 小ラベル（長さ25mm×幅32mm）

継承ラベルサイズ
1. 大ラベルP38×W40
2. 小ラベルP25×W32

個体識別ラベルサイズ

個体識別ラベルのサイズを設定します。

- 縦：25～100mm
- 横：32～48mm

個体識別ラベル サイズ
縦 [25] mm
横 [32] mm
数

バーコード種の変更

バーコード種を変更するかどうを選びます。“する”を選んで **確定** キーを押すと「バーコード種変更パスワード」画面が表示されます。

バーコード種変更
1. しない
2. する

バーコード種変更のパスワード

バーコード種を変更するためのパスワードを入力できます。

— チェック —

バーコード種変更をおこなう場合は、パスワード入力が必要です。パスワードの登録は、248 ページをご覧ください。

バーコード種 変更パスワード
[* * * *]
数

バーコード種

バーコードの種類を選びます。

- ITFコード
- CODE128Cタイプ

バーコード種
1. ITFコード
2. CODE128Cタイプ

個体識別の設定

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. 申込み発行
3. 設定



メニュー (3/3)
7. 個体識別

個体識別
1. 継承ﾌﾞﾙ発行
2. 個体識別番号
3. 設定

- 1 “7. 個体識別” を選び、**確定** キーを押します。

「個体識別」画面が表示されます。

- 2 “設定” を選び、**確定** キーを押します。

漢字16

テーブル設定
1. 漢字16
2. 漢字22
3. 日付見出

漢字16 1行目
●
.....
漢

漢字16 2行目
●
.....
漢

漢字16 3行目
●
.....
漢

- 1 「テーブル設定」画面で“漢字16”を選び、**確定** キーを押します。

- 2 漢字16の1行目を全角14文字以内で入力し、**確定** キーを押します。

- 3 漢字16の2行目を全角14文字以内で入力し、**確定** キーを押します。

- 4 漢字16の3行目を全角14文字以内で入力し、**確定** キーを押します。

漢字22

テーブル設定
1.漢字16
2.漢字22
3.日付見出

- 1 「テーブル設定」画面で“漢字22”を選び、**確定** キーを押します。

漢字22 1行目
■
..

- 2 漢字22の1行目を全角10文字以内で入力し、**確定** キーを押します。

漢字22 2行目
■
..

- 3 漢字22の2行目を全角10文字以内で入力し、**確定** キーを押します。

日付見出

テーブル設定
1.漢字16
2.漢字22
3.日付見出

- 1 「テーブル設定」画面で“日付見出”を選び、**確定** キーを押します。

日付見出
消費期限

- 2 日付見出を全角4文字以内で入力し、**確定** キーを押します。

産地名

テーブル設定
1.漢字16
2.漢字22
3.日付見出

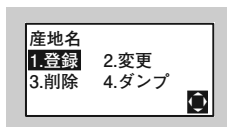
- 1 「テーブル設定」画面で“産地名”を選び、**確定** キーを押します。

テーブル設定
4.産地名
5.部位名

- 2 編集内容を選び、**確定** キーを押します。

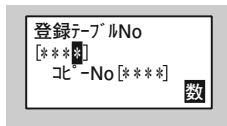
産地名
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

登録



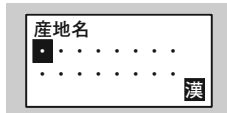
産地名
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

- 1 「産地名」画面で“登録”を選び、**確定**キーを押します。



登録テーブルNo
[***#]
コピー-No[****] 数

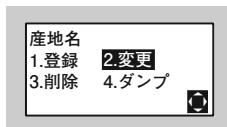
- 2 登録するテーブルNoを入力し、**確定**キーを押します。
既存のテーブルをコピーし、一部を変更して登録したい場合は、**▼**キーを押して「コピー No」にカーソルを移動し、コピー元のテーブルNoを入力します。



産地名
●
● 漢

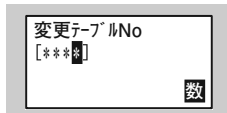
- 3 産地名を入力し、**確定**キーを押します。

変更




産地名
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

- 1 「産地名」画面で“変更”を選び、**確定**キーを押します。



変更テーブルNo
[***#] 数

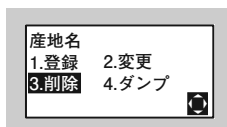
- 2 変更するテーブルNoを入力し、**確定**キーを押します。



産地名
●
● 漢

- 3 産地名を入力し、**確定**キーを押します。

削除



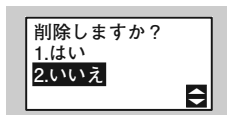
産地名
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

- 1 「産地名」画面で“削除”を選び、**確定**キーを押します。



削除テーブルNo
[***#] 数

- 2 削除するテーブルNoを入力し、**確定**キーを押します。
削除するテーブルNoを入力して**▼**キーを押すとテーブル内容が確認できます。

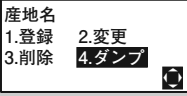


削除しますか？
1.はい
2.いいえ

- 3 確認画面で“はい”を選び、**確定**キーを押します。
データが削除されます。

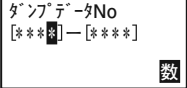
ダンプ発行

登録した産地名の一部またはすべてをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。



産地名
1.登録 2.変更
3.削除 4.ダンプ

- ① 「産地名」画面で“ダンプ”を選び、**確定**キーを押します。



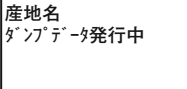
ダンプデータNo
【***】-【***】

- ② ダンプ発行するデータの範囲を指定し、**確定**キーを押します。

開始番号より終了番号が大きくなるようにテーブルNo.を入力してください。

シフトキーを押すと、開始番号と終了番号の入力欄をカーソルが移動します。

開始番号だけを入力した場合、指定した1件だけを発行します。



産地名
ダンプデータ発行中

- ③ 指定した範囲の産地名が一枚ずつ印字されます。

産地名の初期値は次のとおりです。

番号	内 容	番号	内 容	番号	内 容
001	北海道産	017	石川県産	033	岡山県産
002	青森産	018	福井県産	034	広島県産
003	岩手県産	019	山梨県産	035	山口県産
004	宮城県産	020	長野県産	036	徳島県産
005	秋田県産	021	岐阜県産	037	香川県産
006	山形県産	022	静岡県産	038	愛媛県産
007	福島県産	023	愛知県産	039	高知県産
008	茨城県産	024	三重県産	040	福岡県産
009	栃木県産	025	滋賀県産	041	佐賀県産
010	群馬県産	026	京都府産	042	長崎県産
011	埼玉県産	027	大阪府産	043	熊本県産
012	千葉県産	028	兵庫県産	044	大分県産
013	東京都産	029	奈良県産	045	宮崎県産
014	神奈川県産	030	和歌山県産	046	鹿児島県産
015	新潟県産	031	鳥取県産	047	沖縄県産
016	富山県産	032	島根県産	099	国産

番号	内 容	番号	内 容	番号	内 容
101	アメリカ産	120	クウェート産	139	ニュージーランド産
102	アラブ産	121	コロンビア産	140	ノルウェー産
103	アルゼンチン産	122	サウジアラビア産	141	パキスタン産
104	イギリス産	123	シンガポール産	142	フィジー産
105	イスラエル産	124	スイス産	143	フィリピン産
106	イタリア産	125	スウェーデン産	144	フィンランド産
107	イラン産	126	スーダン産	145	ブラジル産
108	インド産	127	スペイン産	146	フランス産
109	インドネシア産	128	スリランカ産	147	ブルガリア産
110	エクアドル産	129	セネガル産	148	フロリダ産
111	エジプト産	130	タイ産	149	ベトナム産
112	オーストラリア産	131	台湾産	150	ペルー産
113	オーストリア産	132	中国産	151	ベルギー産
114	オランダ産	133	チリ産	152	ポルトガル産
115	カナダ産	134	デンマーク産	153	マレーシア産
116	カルフォルニア産	135	ドイツ産	154	南アフリカ産
117	韓国産	136	トルコ産	155	メキシコ産
118	北朝鮮産	137	ナイジェリア産	156	ロシア産
119	ギリシア産	138	日本産		

部位名

テーブル設定

- 1.漢字16
- 2.漢字22
- 3.日付見出



テーブル設定

- 4.産地名
- 5.部位名



- 1 「テーブル設定」画面で“部位名”を選び、**確定**キーを押します。

部位名

- 1.登録
- 2.変更
- 3.削除
- 4.ダンプ



- 2 編集内容を選び、**確定**キーを押します。

登録

部位名

- 1.登録
- 2.変更
- 3.削除
- 4.ダンプ



- 1 「部位名」画面で“登録”を選び、**確定**キーを押します。

登録テーブルNo

[***#]
コピ-No [***#]

数

- 2 登録するテーブルNoを入力し、**確定**キーを押します。

既存のテーブルをコピーし、一部を変更して登録したい場合は、**▼**キーを押して「コピー No」にカーソルを移動し、コピー元のテーブルNoを入力します。

部位名

●
.....

漢

- 3 部位名を入力し、**確定**キーを押します。

変更

部位名

- 1.登録
- 2.変更
- 3.削除
- 4.ダンプ



- 1 「部位名」画面で“変更”を選び、**確定**キーを押します。

変更テーブルNo

[***#]

数

- 2 変更するテーブルNoを入力し、**確定**キーを押します。

- 3 部位名を入力し、**確定** キーを押します。

削除

- 1 「部位名」画面で“削除”を選び、**確定** キーを押します。

- 2 削除するテーブルNoを入力し、**確定** キーを押します。
削除するテーブルNoを入力して▼キーを押すとテーブル内容が確認できます。

- 3 確認画面で“はい”を選び、**確定** キーを押します。
データが削除されます。

ダンプ発行

登録した部位名の一部またはすべてをまとめて印字（ダンプ発行）し、確認することができます。

- 1 「部位名」画面で“ダンプ”を選び、**確定** キーを押します。

- 2 ダンプ発行するデータの範囲を指定し、**確定** キーを押します。

開始番号より終了番号が大きくなるようにテーブルNo.を入力してください。

◀▶キーを押すと、開始番号と終了番号の入力欄がカーソルが移動します。

開始番号だけを入力した場合、指定した1件だけを発行します。

- 3 指定した範囲の部位名が一枚ずつ印字されます。

部位名の初期値は次のとおりです。

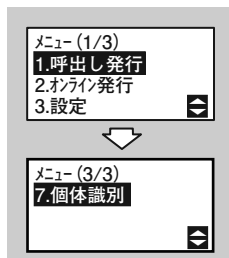
番号	内 容	番号	内 容	番号	内 容
100	枝肉	325	かたローズC	441	かいのみ (フラップミート)
101	セット	330	かたばら	442	フランク (ささみ)
102	セットC	331	かたばらA (三角ばら)	490	その他ばら
190	その他枝肉	332	かたばらB (プリセット)	500	骨付ロイン
191	その他セット	333	かたばらC	501	骨付ロイン (ヒレなし)
200	枝肉半丸 (サイド)	334	かたばらD	502	ロインセット
201	半丸セット	340	かた (うで、しゃくし)	503	ロインセットC
202	半丸セットC	341	かたS	510	リブローズ
210	骨付きとも	342	とうがらし (チャックテン)	511	リブローズS
220	骨付きとも (ばらなし)	350	まえずね (すね)	512	リブローズ芯 (リブアイロ)
290	その他半丸枝肉	351	まえずねS	513	リブローズかぶり (リブキ)
291	その他半丸セット	390	その他まえ	520	サーロイン
300	骨付まえ	400	骨付ともばら	521	サーロインS
301	まえセット	401	ともばらセット	522	サーロインA
302	まえセットC	402	ともばらセットC	523	サーロインB
310	ネック	410	ともばら	530	ヒレ (ヘレ)
311	ネックS	420	うちばら	531	ヒレA
312	ネックA	421	ともばらA	532	ヒレB
320	かたローズ (くらした)	422	ともばらB	590	その他ロイン
321	ネック付きかたローズ	430	そとばら	600	骨付もも
322	かたローズS	431	ともばらC	601	ももセット
323	かたローズA	432	ともばらD	602	ももセットC
324	かたローズB	440	かいのみ・ささみ	610	うちもも

番号	内容	番号	内容	番号	内容
611	うちももS	715	すじ	843	センマイ（第3胃）
612	うちももかぶり	720	骨	844	アカセンマイ（第4胃、ギ
613	うちももA	730	脂肪	845	ショウチョウ（小腸）
614	うちももB	731	脂肪	846	ダイチョウ（大腸）
620	しんたま	732	天然脂	847	シマチョウ
621	しんたまS	790	その他部位	848	チョクチョウ（直腸）
622	ともさんかく（トライチツ	800	副生物	860	<その他内臓部>
630	らんいち	801	副生物セット	861	チレ（脾臓、タチギモ）
631	ランプ	810	<頭部>	862	スイゾウ（隣臓）
632	いちぼ（クーレット）	811	カシラニク（頭肉、トウニ	863	シビレ（胸腺）
640	そともも（はばきなし）	812	ホホニク（頬肉）	864	気管（フエガラミ、フエ）
641	そともも（はばき付）	820	<赤物>	865	食道（ノドスジネリガエ
642	そとももS	821	タン（舌）	866	ブレンズ（脳）
643	はばき（ヒール）	822	ハツ（心臓、ココロ）	867	セキズイ（脊髄）
644	しきんぼ（アイラウンド）	823	ハツモト（下行大動脈）	868	チチカブ（乳房）
650	ともずね（はばき付）	824	レバー（肝臓、キモ）	869	コブクロ（子宮）
651	ともずね	825	サガリ	880	<足、尾部>
652	ともずねS	826	ハラミ（横隔膜）	881	テール（尾）
690	その他もも	827	マメ（腎臓）	882	牛足
711	小肉（トリミングミート）	828	フワ（肺臓、フク）	883	アキレス（アキレス腱）
712	挽材（正肉）	840	<白物>	890	<その他副生物>
713	小間材	841	ミノ（第1胃）	891	ハラ脂
714	切り落とし	842	ハチノス（第2胃）		

ラベルの発行

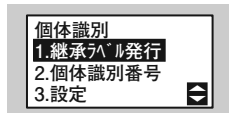
継承ラベル、個体識別ラベルの発行方法を説明します。

継承ラベルを発行する

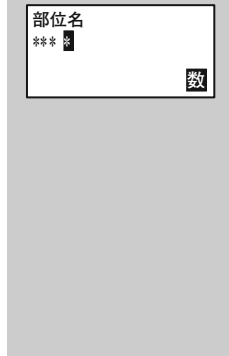


- ① “7. 個体識別” を選び、**確定** キーを押します。

「個体識別」画面が表示されます。



- ② “1. 継承ラベル発行” を選び、**確定** キーを押します。

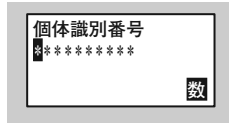


- ③ 部位名番号をスキャナ入力します。手入力する場合は、部位名番号を入力し、**確定** キーを押します。

部位名の番号については、193 ページをご覧ください。



- この画面は個体識別の初期設定で「部位名印字」が“あり”に設定したときのみ表示されます（183 ページ）。
- 部位名番号を入力後、**入力切替** キーを押すと部位名を表示します。部位名表示後は、**▲▼◀▶** キーで変更できます。



- ④ 個体識別番号をスキャナ入力します。手入力する場合は、個体識別番号を入力し、**確定** キーを押します。

産地名

数

⑤ 産地名番号を入力し、**確定**キーを押します。

産地名の番号については、190 ページをご覧ください。

✓
チェック

- この画面は個体識別の初期設定で「産地名印字」が“あり”に設定されているときのみ表示されます（184 ページ）。
- 産地名番号を入力後、**入力切替**キーを押すと産地名を表示します。産地名表示後は、**▲▼◀▶**キーで変更できます。

加算日数

000

数

⑥ 加算日数（消費期限）を入力し、**確定**キーを押します。✓
チェック

この画面は個体識別の初期設定で「日付印字」が“あり”に設定されているときのみ表示されます（184 ページ）。

発行枚数

1***

数

⑦ 発行枚数を入力し、**確定**キーを押します。✓
チェック

連続発行とティアオフ発行時のみ表示します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中

XXXX / XXXX 枚

停止キーで中断

停止中

XXXX / XXXX 枚

発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中

停止キーで終了

⑧ 発行を開始します。

発行が終わると手順③に戻ります。

✓
チェック

- 連続発行/ティアオフ発行時は**発行/停止**キーで発行が一時中断します。再度、**発行/停止**キーを押すと発行します。
- ハクリ発行/ノンセバ発行時は**発行/停止**キーで発行が終了します。

個体識別ラベルを発行する

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

↓

メニュー (3/3)
7. 個体識別

- ① “7. 個体識別” を選び、**確定** キーを押します。
「個体識別」画面が表示されます。

個体識別
1. 継承ラベル発行
2. 個体識別番号
3. 設定

- ② “2. 個体識別番号” を選び、**確定** キーを押します。

個体識別番号
1. 1件目入力
***** 数

- ③ 1件目の個体識別番号をスキャナ入力します。手入力する場合は、個体識別番号を入力し、**確定** キーを押します。

2件目の「個体識別番号入力」画面が表示されます。

個体識別番号
2. 2件目入力
***** 数

- ④ 2件目の個体識別番号をスキャナ入力します。手入力する場合は、個体識別番号を入力し、**確定** キーを押します。

3件目の「個体識別番号入力」画面が表示されます。

もし入力すべき個体識別番号が1件の場合は、未入力のまま**確定**キーを押し、手順⑥に変わります。

個体識別番号
3. 3件目入力
***** 数

- ⑤ 3件目の個体識別番号をスキャナ入力します。手入力する場合は、個体識別番号を入力し、**確定** キーを押します。

もし入力すべき個体識別番号が2件の場合は、未入力のまま**確定**キーを押し、手順⑥に変わります。

発行枚数
1. 発行枚数
*** 数

- ⑥ 発行枚数を入力し、**確定** キーを押します。



連続発行とティアオフ発行時のみ表示します。

連続発行 /
ティアオフ発行時

発行中
XXXX / XXXX枚
停止キーで中断

停止中
XXXX / XXXX枚
発行キーで再開

ハクリ発行時

剥離発行中
停止キーで終了

7 発行を開始します。

発行が終わると手順③に戻ります。



- 連続発行/ティアオフ発行時は「発行/停止」キーで発行が一時中断します。再度、「発行/停止」キーを押すと発行します。
- ハクリ発行時は「発行/停止」キーで発行が終了します。

発行種別選択

初期設定の発行形態を「連続」または「ティアオフ」に設定している場合に、個体識別画面で▶キーを押すと発行種別選択画面が表示されます。発行種別選択画面で「ハクリ」を選ぶとハクリ発行します。

発行種別を
選択してください
1. 連続 (ティアオフ)
2. ハクリ

1 発行モードを選び、「確定」キーを押します。

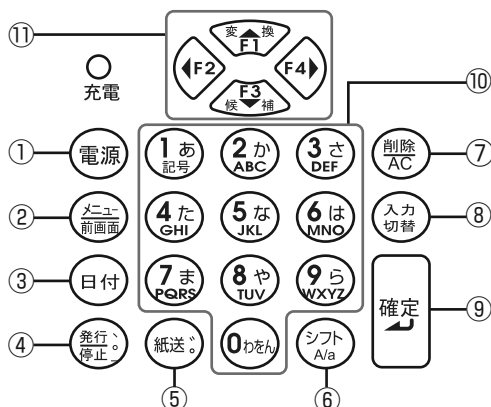
個体識別画面に戻ります。

第6章 環境設定











本プリンタの印字速度や印字濃度などを変えるのに必要な操作のしかたを説明します。

キーのはたらき

本プリンタを操作するときはキーボードを使います。ここでは、それぞれのキーのはたらきを紹介します。



番号	本書での表現	はたらき
①	電源	・ 電源OFF時に押すと電源がONになります。電源ON時に1秒以上押すと電源がOFFになります。
②	メニュー/前画面	・ 操作の途中で、前の画面に戻りたいときに押します。 ・ 1つ上のメニューへ戻りたいときは1秒以上押します。
③	日付	・ カレンダーを一時変更するときに押します。(呼出し発行と固定発行のみ)
④	発行/停止	・ ラベルが印字されている途中で印字を停止したり、印字を再開させたりするときに押します。 ・ 文字の入力状態が「漢字(ひらがな)」および「カタカナ」のとき、句読点などが入力できます。
⑤	紙送	・ 用紙を送りたいときに押します。 ・ 文字の入力状態が「漢字(ひらがな)」および「カタカナ」のとき、濁音(゜)半濁音(゚)が入力できます。
⑥	シフト	・ 品名入力で、小さい文字(拗音・促音・小文字など)、スペースを入力するときに押します。 ・ 英文字を全角・半角変換するときに押します。

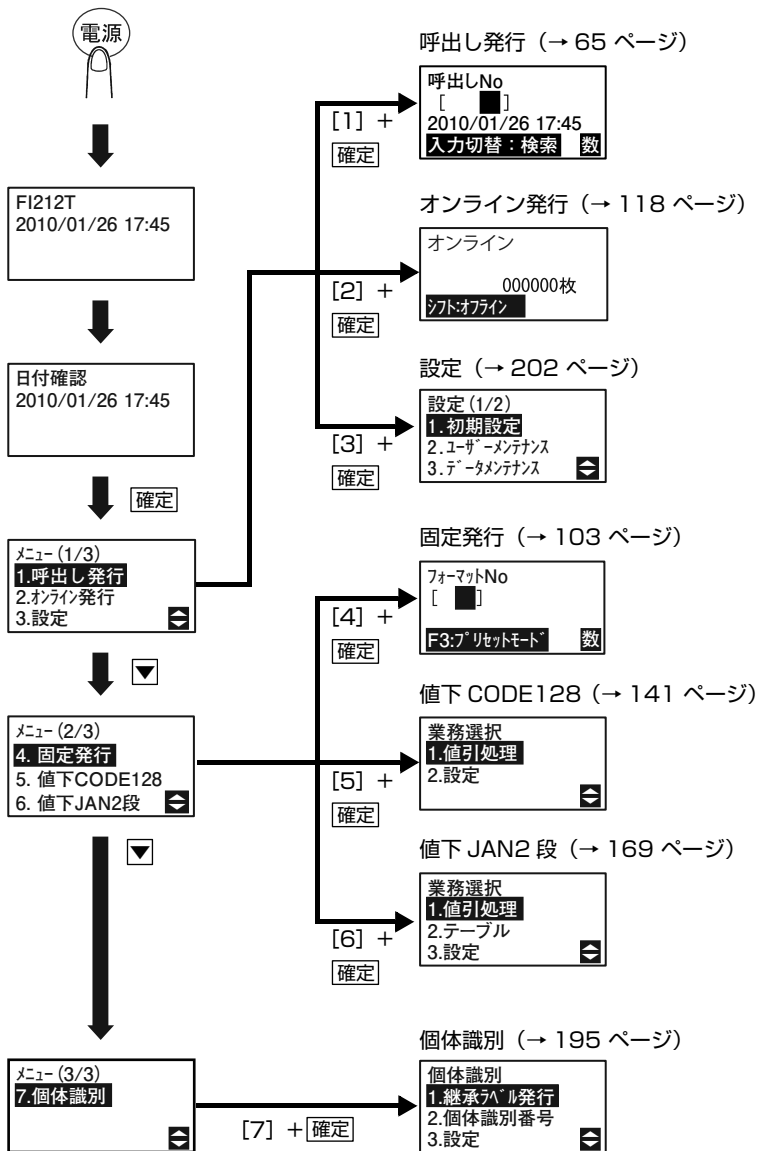
番号	本書での表現	はたらき
⑦	削除/AC	<ul style="list-style-type: none"> データを入力している画面で、カーソル位置にある文字を削除します。 入力した文字をすべて消したいときは1秒以上押します。
⑧	入力切替	<ul style="list-style-type: none"> 品名入力で入力状態を切替えるときに押します。 呼出し発行時、呼出し名検索やバーコード検索を使用するときに押します。 漢字(ひらがな)⇒全角カタカナ⇒半角カタカナ⇒英大文字⇒英小文字⇒数字⇒JIS入力の順に変わります。
⑨	確定	<ul style="list-style-type: none"> 入力したデータを確定するときや、操作を進めるときに押します。
⑩	数字キー / 文字キー	<ul style="list-style-type: none"> 数字キーは、価格やバーコードデータなどの数値を入力するときに押します。 品名入力の場合は、漢字(ひらがな)・カタカナ・英文字が入力できます。
⑪	   	<ul style="list-style-type: none"> 項目を選ぶ画面では■(カーソル)を表示します。 キーを押して、カーソルを目的の項目に合わせます。 バーコードデータなどを入力するときは、カーソル位置に文字が入ります。 キーで、入力した文字を漢字変換します。 キーで、入力した文字の変換候補に移動します。

本プリンタの画面遷移について

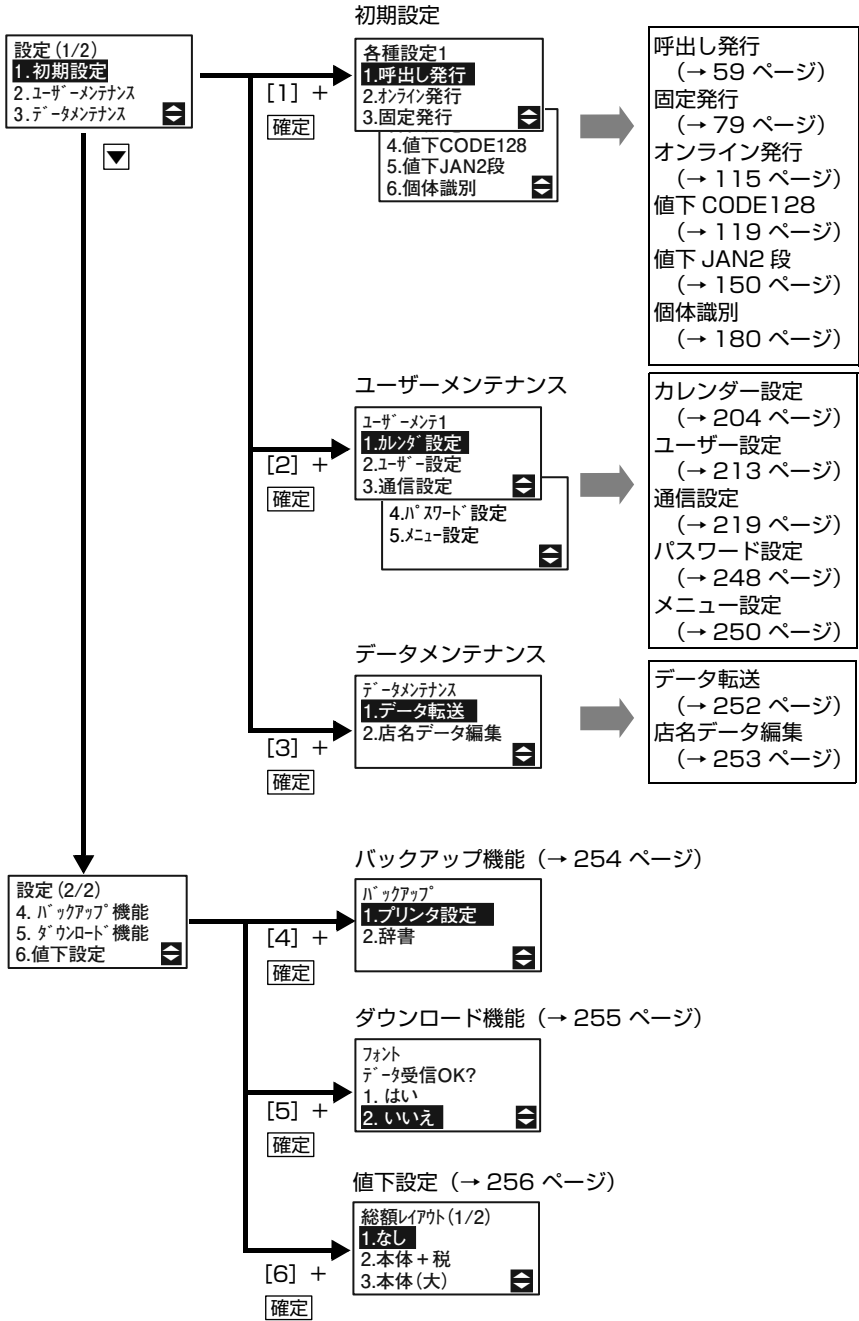
本プリンタの画面の流れを説明します。

各画面で、▲▼キーまたは、数字キーを使って各項目を選び、**確定**キーを押します。

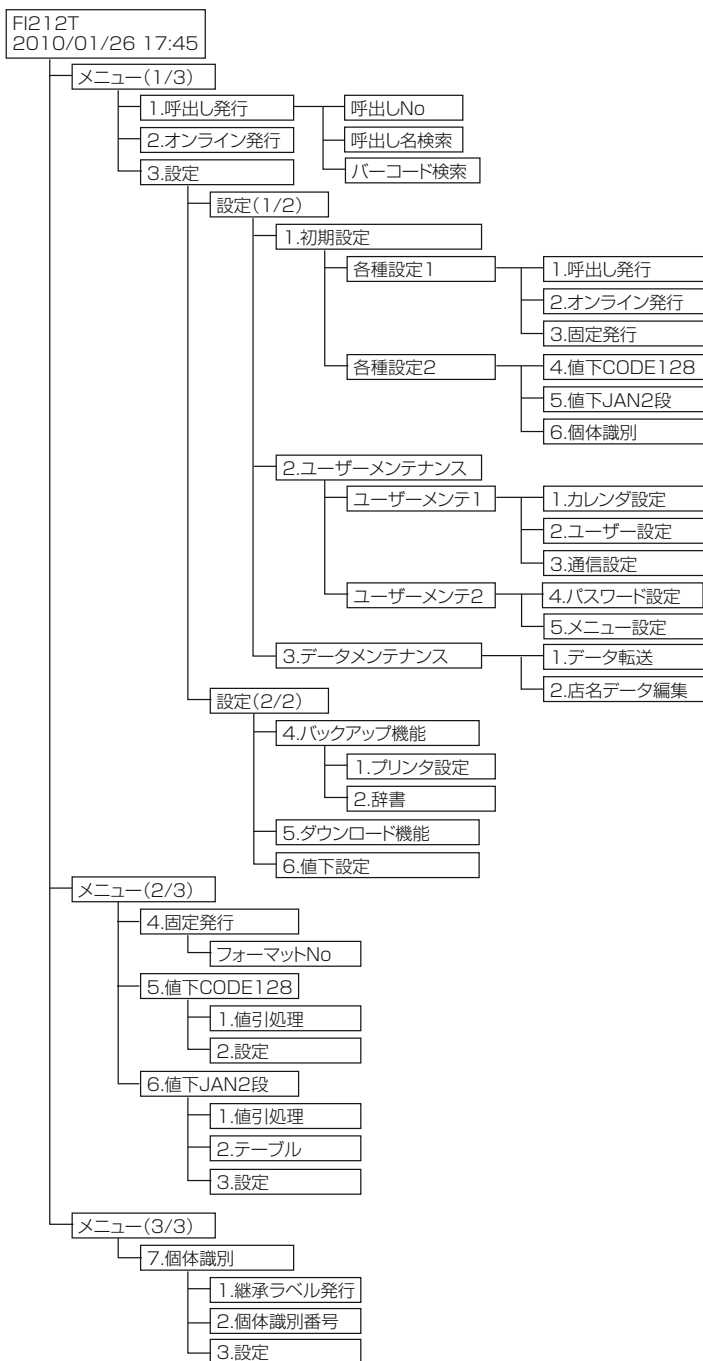
メニュー画面



設定画面



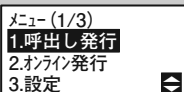
メニューツリー



カレンダーを設定する

カレンダー設定

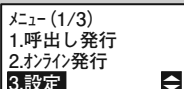
本プリンタは、出荷時にカレンダー（日時）が設定されています。カレンダーを直したいときに設定してください。



メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

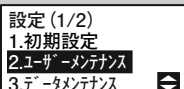
「設定」画面が表示されます。



メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

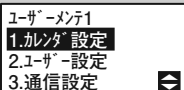
「ユーザーメンテ」画面が表示されます。



設定 (1/2)
1. 初期設定
2. ユーザーメンテナンス
3. テーマメンテナンス

- ③ “1. カレンダー設定” を選び、**確定** キーを押します。

「カレンダー設定」画面が表示されます。

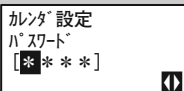


ユーザーメンテ1
1. カレンダー設定
2. ユーザー設定
3. 通信設定

- ④ パスワードを入力し、**確定** キーを押します。

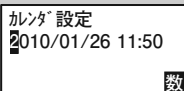
— チェック —

セキュリティ対策としてパスワード設定を推奨します。
パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は248 ページをご覧ください。



カレンダー設定
パスワード
[* * * *]

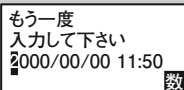
- ⑤ **◀▶** キーでカーソルを左右に移動し、カレンダーの「年」「月」「日」「時」「分」を入力し、**確定** キーを押します。



カレンダー設定
2010/01/26 11:50

- ⑥ 「カレンダー確認」画面が表示されますので、再度、「年」「月」「日」を入力し、**確定** キーを押します。

2度入力することにより、誤設定を防止します。



もう一度
入力して下さい
2000/00/00 11:50

カレンダーを一時変更する

この機能は出荷する製品に貼るラベルを前もって（生産日または出荷日前に）作成するときに便利です。カレンダーの一時変更は、呼出し発行と固定発行でのみ使用可能です。

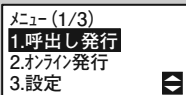
✓チェック

カレンダーの一時変更の有効範囲（一時変更が継続される範囲）は、“1アイテムのみ”か“電源を切るまで”です。有効範囲は「ユーザー設定」で設定できます（213 ページ）。

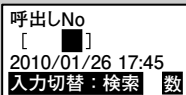
1アイテムのみ カレンダーの一時変更をおこなった後に印字される最初の 1 アイテムのみ有効になります。

電源を切るまで カレンダーの一時変更をおこなった後、電源を切るまで一時変更が有効になります。

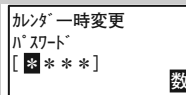
呼出し発行でカレンダーを一時変更する



- 1 “1.呼出し発行” を選び、**確定** キーを押します。



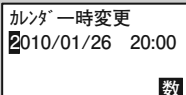
- 2 「呼出しNo」画面が表示されたら、**日付** キーを押します。



- 3 パスワードを入力し、**確定** キーを押します。

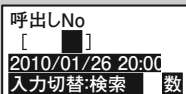
✓チェック

セキュリティ対策としてパスワード設定を推奨します。
パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は248 ページをご覧ください。



- 4 「カレンダー一時変更」画面が表示されます。変更する部分（日付、時間）にカーソルを移動し、カレンダーを一時変更します。

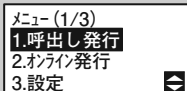
確定 キーを押すと一時変更を実行し、元の画面に戻ります。



- 5 変更した日付が表示されます。

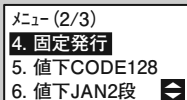
カレンダーが反転表示となっている間は、カレンダーの一時変更が有効です。

固定発行でカレンダーを一時変更する



メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

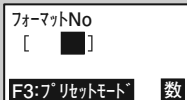
- ① “4. 固定発行” を選び、**確定** キーを押します。



メニュー (2/3)
4. 固定発行
5. 値下CODE128
6. 値下JAN2段

- ② 「フォーマットNo」画面が表示されたら、**日付** キーを押します。

この画面で **▼** キーを押すと「プリセット」画面に進みます。

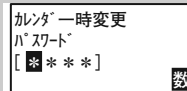


フォーマットNo
[]
F3: プリセットモード 数

- ③ パスワードを入力し、**確定** キーを押します。

— チェック —

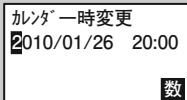
セキュリティ対策としてパスワード設定を推奨します。
パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は248 ページをご覧ください。



カレンダー一時変更
パスワード
[* * * *] 数

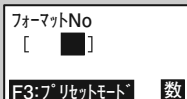
- ④ 「カレンダー一時変更」画面が表示されます。変更する部分（日付、時間）にカーソルを移動し、カレンダーを一時変更します。

確定 キーを押すと一時変更を実行し、元の画面に戻ります。



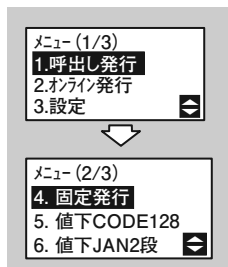
カレンダー一時変更
2010/01/26 20:00 数

- ⑤ 元の画面に戻ります。

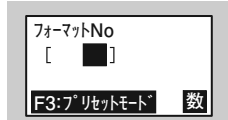


フォーマットNo
[]
F3: プリセットモード 数

プリセット発行でカレンダーを一時変更する

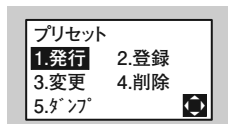


- ① “4. 固定発行” を選択し、**確定** キーを押します。

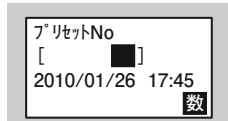


- ② 「フォーマットNo」画面が表示されたら、**▼**キーを押します。

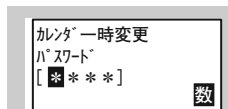
「プリセット」画面が表示されます。



- ③ “1. 発行” を選択し、**確定** キーを押します。



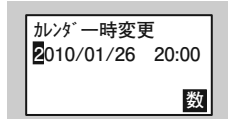
- ④ 「プリセットNo」画面が表示されたら、**日付** キーを押します。



- ⑤ パスワードを入力し、**確定** キーを押します。

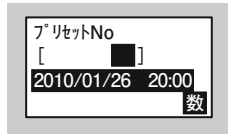
— チェック —

セキュリティ対策としてパスワード設定を推奨します。
パスワード設定を“あり”に設定した場合のみ表示します。
パスワードの登録は248 ページをご覧ください。



- ⑥ 変更する部分（日付、時間）にカーソルを移動し、**カレンダーを一時変更** します。

確定 キーを押すと一時変更した日付に変わります。



- ⑦ 変更した日付が表示されます。

カレンダーが反転表示となっている間は、カレンダーの一時変更が有効です。

価格総額表示を設定する

プリンタに入力する価格やバーコード内にコピーされる価格（NonPLU時）を「税抜き」にするか「税込み」にするかを決めます。



- これらの設定をするときは、電源を切ってからおこないます。
- 価格総額表示の設定は、フォーマットごとに設定できません。
- 設定した内容は、電源を切っても保持されますので、変更が発生しないかぎり、設定操作は不要です。

各画面で、 キーを使って選択して **確定** キーを押すか、数字キーを使って直接各項目番号を押して確定してください。



- ① 電源を切ります。
- ② **1** キーと **7** キーを押しながら、**電源** キーを押します。消費税率設定画面が表示されたら、キーから指を離してください。
- ③ 税率を設定するかどうかを選び、**確定** キーを押します。

消費税率設定を行いますか

する **しない**

税率切替

1. 無効
2. 有効



- ④ 税率切替が必要かどうかを選び、**確定** キーを押します。
有効に設定すると、固定発行、値下CODE128で税率切替画面で税率を選択できるようになります。

税率設定

1. **0**0.0%
2. 00.0%



- ⑤ 2種類の税率を00.0～99.9%の範囲で入力し、**確定** キーを押します。



税率を2種類とも00.0%に設定した場合は、消費税運用なしとなり、“小数点2桁印字”と“価格税込み印字”以外の設定はすべて無効となり計算および印字はされません。

小数点2桁印字

1. **しない**
2. する



- ⑥ 小数点2桁印字をするかどうかを選び、**確定** キーを押します。

価格入力

1. 税込み
2. 税抜き

⑦ 価格入力方法を選び、**確定** キーを押します。

この設定は固定発行で使用されます。

バーコード
内価格

1. 税込み
2. 税抜き

⑧ バーコード内価格を選び、**確定** キーを押します。

この設定は固定発行で使用されます。

端数処理

1. 切捨て
2. 切上げ
3. 四捨五入

⑨ 消費税の端数処理を選び、**確定** キーを押します。

この設定は固定発行で使用されます。

価格税込み
印字設定

1. なし 2. 前
3. 後

⑩ 価格の前後に「税込」印字をするかを選び、**確定** キーを押します。

この設定は固定発行で使用されます。



“なし” の場合： ￥1,980

“前” の場合： 税込 ￥1,980

“後” の場合： ￥1,980税込

総額表示テーブル

1. なし
2. (税込み)
3. 本体

⑪ 総額表示テーブルを選び、**確定** キーを押します。

この設定は固定発行で使用されます。

総額表示テーブル

4. 消費税
5. 本体+消費税
6. +税

値下

元売値バーコード

1. 税込み
2. 税抜き

⑫ 元売値のバーコード内価格を選び、**確定** キーを押します。

この設定は値下設定（256 ページ）の「総額レイアウト」で“本体（大）”、“税込（大）”、または“併記（同）”を選んだときに値下CODE128と値下JAN2段で使用されます。

値下

新価格入力

1. 税込み
2. 税抜き

⑬ 新価格の入力方法を選び、**確定** キーを押します。

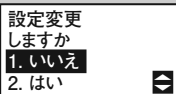
この設定は値下設定（256 ページ）の「総額レイアウト」で“本体（大）”、“税込（大）”、または“併記（同）”を選んだときに値下CODE128と値下JAN2段で使用されます。

値下端数処理

1. 切捨て
2. 切上げ
3. 四捨五入

⑭ 消費税の端数処理を選び、**確定** キーを押します。

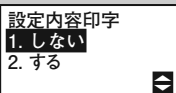
この設定は値下設定（256 ページ）の「総額レイアウト」で“本体（大）”、“税込（大）”、または“併記（同）”を選んだときに値下CODE128と値下JAN2段で使用されます。



- 15 設定変更するかどうかを選び、**確定** キーを押します。



価格総額設定の変更は手順15で“はい”を選んだ場合のみ有効です。



- 16 設定内容を印字するかどうかを選び、**確定** キーを押します。

“する”を選んだ場合、設定内容を印字します。

用紙がセットされていない場合、エラーメッセージが表示されます。正しい用紙をセットしてエラーを解除してください。

税込み価格から本体価格を導いた場合の矛盾点について

価格入力を“税込み”でおこない“本体価格”および“税価格”を計算して求める場合に、端数処理により求められた計算結果と入力された価格が合わない場合がありますので、ご注意ください。

例) 消費税率を8%設定時に、税込みで9,800円を入力した場合
(指定：端数処理は切捨て)

- ① 税込み価格として9,800円を入力し、消費税と本体価格を求めます。

$$\text{税込み価格} \times 100 \div (100 + \text{消費税率}) \times (\text{消費税率} \div 100)$$

$$9,800 \times (100 \div 108) \times 0.08 = 725.93 \dots$$

$$\text{消費税は} \Rightarrow 725 \text{円}$$

$$9,800 - 725 = 9,075$$

$$\text{本体価格は} \Rightarrow 9,075 \text{円}$$



- ② ①の計算で求められた本体価格9,075円から税込み価格を再計算してみます。

$$\text{本体価格} \times (\text{消費税率} \div 100)$$

$$9,075 \times 8 \div 100 = 726$$

$$\text{消費税は} \Rightarrow 726 \text{円}$$

$$9,075 + 726 = 9,801$$

$$\text{税込み価格は} \Rightarrow 9,801 \text{円}$$

以上のように①で入力した税込み価格と②で算出した税込み価格に誤差が生じます。

税込み固定印字設定について

価格総額表示設定メニュー内の“価格税込み印字”では、“税込”印字位置の設定を「なし」「前」「後」にできます。

- ① 「なし」の場合 : ¥1000
- ② 「前」の場合 : 税込¥1000
- ③ 「後」の場合 : ¥1000 税込



チェック

- “税込”印字は定位置になります。
- “税込”印字設定されている場合の価格拡大設定は無効になります。

任意税率設定について

価格総額表示設定メニュー内の“税率設定”では、“00.0～99.9%”の範囲で税率の設定ができます。また、税率を“00.0%”に設定した場合、“価格税込み印字”以外の設定はすべて無効となり計算および印字はされません。

初期値の税率は 00.0% です。

入力価格の計算について

消費税 5.0% の設定での例を下記に説明します。

(例 1) 税抜価格 110 円で入力し、消費税と総額を求める場合

$$110 \text{ 円 (本体価格)} \times 0.05 \text{ (消費税率)} = 5.5 \text{ 円 (消費税)}$$

方法 \ 項目	消費税	税込価格 (総額)
切捨て	5円	115円
切上げ	6円	116円
四捨五入	6円	116円

(例 2) 税込価格 1618 円で入力し、消費税と本体価格を求める場合

$$1618 \text{ 円 (税込価格)} \times 100 \div (100 + 5 \text{ (消費税率)}) \times 0.05 \\ = 77.0476 \dots \text{ 円 (消費税)}$$

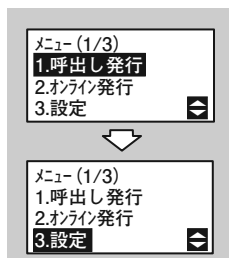
方法 \ 項目	消費税	税抜価格 (本体価格)
切捨て	77円	1541円
切上げ	78円	1540円
四捨五入	77円	1541円

重要

- 求められた消費税の小数点第3位まで計算対象とします。
例：消費税 10.001 円を「切上げ」した場合は、11 円になります。ただし、「切捨て」「四捨五入」は小数点第1位を計算対象とします。
- 価格入力を“税込み”でおこない“本体価格”および“税価格”を計算して求める場合に関して、端数処理により求められた計算結果と入力された価格が合わない場合がありますので、ご注意ください。

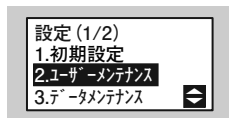
ユーザー設定

印字速度や印字濃度を変更したり、電源の切り忘れを防止するなど、本プリンタの基本的な環境を変更できます。



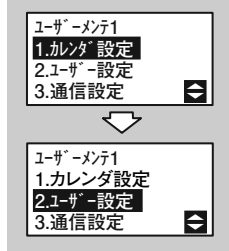
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。



- ③ “2. ユーザー設定” を選び、**確定** キーを押します。

「印字速度」画面が表示されます。

以降 16 項目の設定画面が表示されますので、それぞれ画面で▲▼キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定** キーを押してください。

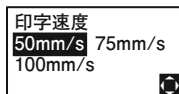
No	項目	初期値	参照ページ
1	印字速度	50mm/s	214 ページ
2	印字濃度	3	214 ページ
3	印字濃度レンジ	A	214 ページ
4	カレンダー一時変更	電源を切るまで	215 ページ
5	ヘッドチェック	あり	215 ページ
6	ヘッドチェック範囲	通常	215 ページ
7	キー入力音	あり	216 ページ
8	スタート画面設定	レジューム	216 ページ
9	スタート画面	呼出し発行	216 ページ
10	呼出し発行	呼出しNo	216 ページ

No	項目	初期値	参照ページ
11	日付確認画面表示	する	217 ページ
12	記憶発行	なし	217 ページ
13	オートパワーオフ時間設定	00分	217 ページ
14	LCD節電時間設定	00分	217 ページ
15	LCD濃度	レベル6	218 ページ
16	初期フィード	あり	218 ページ

印字速度

印字速度を選びます。

- 50mm/s
- 75mm/s
- 100mm/s



— チェック —

バッテリーパック使用時の印字速度は“50mm/s”および“75mm/s”であるため、“100mm/s”は表示されません。

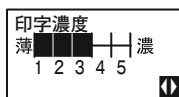
印字濃度

印字濃度を選びます。

1 が一番薄く、5 が一番濃くなります。

—  重要 —

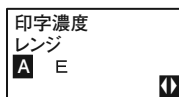
印字濃度を一番濃く（濃度=5）して、長時間の発行はおこなわないでください（サーマルヘッドの温度が異常に高くなることがあります）。



印字濃度レンジ

ラベルに合わせて印字濃度レンジを選びます。

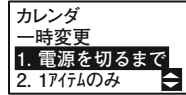
- A：サーマルラベル
- E：2色サーマルラベル



カレンダーの一時変更

カレンダーの一時変更の有効範囲を選びます。

- 電源を切るまで
- 1アイテムのみ



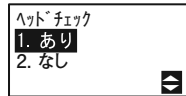
—  チェック —

呼出し発行と固定発行で **[日付]** キーを押すと「カレンダー一時変更」画面に変わります。「カレンダーを一時変更する」(205 ページ) で変更方法を説明しています。

ヘッドチェック

ヘッドチェックをおこなうかどうかを選びます。

- あり ヘッド異常となったとき、エラーメッセージを表示し、発行を停止します。
- なし ヘッド異常検出をおこないません。



ヘッドチェック範囲

ヘッドチェックをおこなう範囲を選びます。この画面は前項の「ヘッドチェック」画面で“あり”を選んだときのみ表示されます。

- 通常 印字領域をチェックします。
- バーコード バーコード印字領域のみをチェックします。



—  重要 —

ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能はヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします(印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生ずることがあります)。

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読取りをおこなって確認してください。

ヘッドエラー発生時の対処方法

<ヘッドチェック範囲設定が通常の場合>

- **[紙送]** キーを5秒間押すと、「ヘッドチェック範囲設定」画面が表示されます。“通常”を選択すると、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。“バーコード”を選択すると、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切替えて発行を再開します。
- **[左向き]** キーと **[右向き]** キーを同時に5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

<ヘッドチェック範囲設定がバーコードの場合>

- ◀キーと▶キーを同時に5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

キー入力音

キー入力音を鳴らすかどうかを選びます。

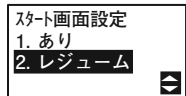
- あり
- なし



スタート画面設定

スタート画面をありにするかレジュームにするかを選びます。

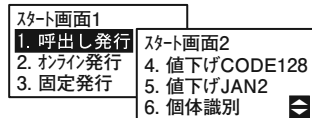
- あり 電源を入れた直後の画面を選ぶことができます。よく使う機能の初期画面を選んでください(次項「スタート画面」参照)。
- レジューム 電源OFF前に処理していたメニューからスタートします。



スタート画面

スタート画面を何にするかを選びます。この画面は前項の「スタート画面設定」画面で“あり”を選んだときのみ表示されます。

- 呼出し発行
- オンライン発行
- 固定発行
- 値下CODE128
- 値下JAN2段
- 個体識別



呼出し発行

呼出し発行のどの画面をスタート画面にするかを選びます。この画面は前項の「スタート画面」で“呼出し発行”を選んだときのみ表示されます。

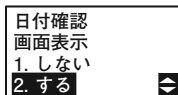
- 呼出しNo
- 呼出し名
- バーコード
- QR



日付確認画面表示

起動時に「日付確認」画面を表示するかどうかを選びます。

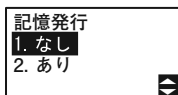
- しない
- する



記憶発行

アイテムを記憶して発行するかどうかを選びます。

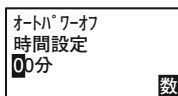
- あり 固定発行と呼出し発行のみ有効です。“あり”に設定すると、**[入力切替]**キーで最大10件まで登録できます。
- なし 記憶発行をおこないません。



オートパワーオフ時間設定

オートパワーオフの時間を設定します。

設定範囲は00～99です。“00”に設定すると、常時電源ONのままになります。



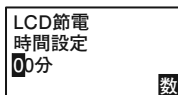
— チェック —

オートパワーオフを設定すると、指定した時間なにもキーを押さない状態が続くと自動的に電源が切れます。プリンタを節電するためにオートパワーオフ時間を設定することを推奨します。

LCD節電時間設定

LCDの節電時間を設定します。

設定範囲は00～15です。“00”に設定すると、LCDのバックライトが常時点灯します。



— チェック —

この画面は、USBモデルとUSB+LANモデルのみ表示します。
LCD節電時間を設定すると、指定した時間なにもキーを押さない状態が続くと自動的にLCDのバックライトを消灯します。プリンタを節電するためにLCD節電時間を設定することを推奨します。

LCD濃度

LCDの濃度を設定します。左に行くほど薄く、右に行くほど濃くなります。



初期フィード

初期フィードをおこなうかどうかを選びます。

- あり 電源を入れてから最初の印字時に初期フィードをおこないます。
- なし 電源を入れてから最初の印字時に初期フィードをおこないません。ラベルのセット位置によっては、印字ズレが生じる場合があります。



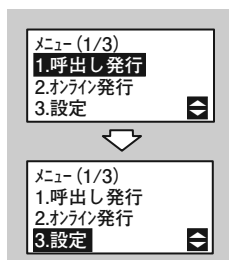
通信設定

ここではプリンタの通信機能を設定する方法を説明します。本プリンタは以下の設定が可能です。FTP に関しては 235 ページをご覧ください。

- USBの設定 (219 ページ)
- LANの設定 (220 ページ)
- 無線LANの設定 (222 ページ)
- LAN設定の初期化 (226 ページ)
- 無線LAN設定の初期化 (228 ページ)
- 構成情報の印字 (229 ページ)
- 無線LANの電波取得 (231 ページ)
- 省電力モードの設定 (233 ページ)

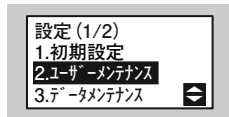
USBの設定

本プリンタのインタフェースを USB に設定する方法を説明します。



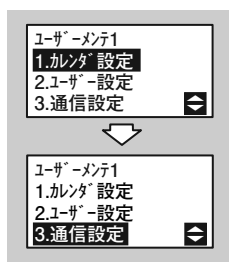
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。



- ③ “3. 通信設定” を選び、**確定** キーを押します。

「通信選択」画面が表示されます。

通信選択(1/2)
1.USB
2.LAN
3.FTP

USB+LAN
モデルの表示

通信選択
1.USB

USB
モデルの表示

- ④ “1. USB” を選び、**確定** キーを押します。

LANの設定

本プリンタのインタフェースを LAN に設定する方法を説明します。

メニュー(1/3)
1.呼出し発行
2.オンライン発行
3.設定

メニュー(1/3)
1.呼出し発行
2.オンライン発行
3.設定

設定(1/2)
1.初期設定
2.ユーザーメンテナンス
3.データメンテナンス

ユーザーメンテ1
1.カレンダー設定
2.ユーザー設定
3.通信設定

ユーザーメンテ1
1.カレンダー設定
2.ユーザー設定
3.通信設定

通信選択(1/2)
1.USB
2.LAN
3.FTP

- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

- ③ “3. 通信設定” を選び、**確定** キーを押します。

「通信選択」画面が表示されます。

- ④ “2. LAN” を選び、**確定** キーを押します。

IP設定方法

- 1. マニュアル
- 2. DHCP
- 3. RARP

⑤ IPアドレスの設定方法を選択し、**確定**キーを押します。

マニュアル 直接、手入力で設定します。手順⑥に変わります。

DHCP DHCPサーバーから取得します。手順⑨に変わります。

RARP RARPサーバーから取得します。手順⑦に変わります。

IPアドレス

1 92. 168. 001. 001

数

⑥ IPアドレスを入力し、**確定**キーを押します。

「.」（ドット）は**シフト**キーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

サブネットマスク

2 55. 255. 255. 000

数

⑦ サブネットマスクを入力し、**確定**キーを押します。

「.」（ドット）は**シフト**キーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

ゲートウェイ
アドレス

0 00. 000. 000. 000

数

⑧ ゲートウェイアドレスを入力し、**確定**キーを押します。

「.」（ドット）は**シフト**キーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

Socket通信

タイムアウト時間(秒)

60

数

⑨ Socket通信のタイムアウト時間を入力し、**確定**キーを押します。



設定範囲は、0～3600です。0に設定すると接続タイムアウトが無効になります。

LAN起動中

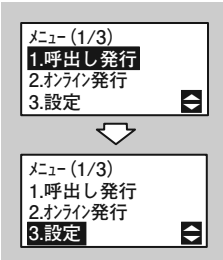
⑩ LANが起動し、「通信選択」画面に戻ることを確認します。



本画面が表示されると、LAN設定が有効になります。

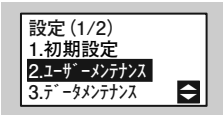
無線LANの設定

本プリンタのインタフェースを無線LANに設定する方法を説明します。



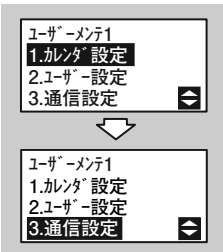
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

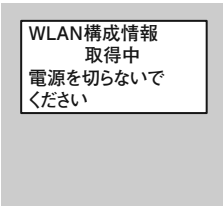


- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。



- ③ “3. 通信設定” を選び、**確定** キーを押します。



- ④ 「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。

— チェック —

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。



- ⑤ “1. 無線LAN” を選び、**確定** キーを押します。

IP設定方法1
1.マニュアル
2.DHCP
3.RARP

IP設定方法2
4.DHCP/RARP
5.Auto-IP

⑥ IPアドレスの設定方法を選択し、**確定**キーを押します。

- マニュアル 直接、手入力で設定します。手順⑦に変わります。
- DHCP DHCPサーバーから取得します。手順⑩に変わります。
- RARP RARPサーバーから取得します。手順⑧に変わります。
- DHCP/RARP BOOTPサーバーから取得します。手順⑧に変わります。
- Auto-IP Auto-IP機能を使って自動取得します。手順⑧に変わります。

IPアドレス
192. 168. 001. 001

⑦ IPアドレスを入力し、**確定**キーを押します。

「.」（ドット）は**シフト**キーで入力してください。
設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

サブネットマスク
255. 255. 255. 000

⑧ サブネットマスクを入力し、**確定**キーを押します。

「.」（ドット）は**シフト**キーで入力してください。
設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

ゲートウェイアドレス
000. 000. 000. 000

⑨ ゲートウェイアドレスを入力し、**確定**キーを押します。

「.」（ドット）は**シフト**キーで入力してください。
設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

Socket通信
タイムアウト時間(秒)
60

⑩ Socket通信のタイムアウト時間を入力し、**確定**キーを押します。



設定範囲は、0～3600です。0に設定すると接続タイムアウトが無効になります。

WLANモード
設定
1.アドホック
2.インフラ(SSID)

⑪ 無線LANの通信モードを選択し、**確定**キーを押します。

- アドホック アクセスポイントを介さずに機器同士が直接通信をおこないます。
- インフラ（SSID） アクセスポイントを介して通信をおこないます。

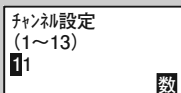


12 SSIDを入力し、**確定**キーを押します。

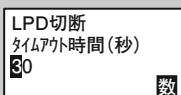


入力できるSSIDは1～32文字までの英数字（「-」（ハイフン）と「_」（アンダーバー）を含む）で、接続先（アクセスポイントまたはホスト）と同一内容である必要があります。

アドホック 手順13に変わります。
 インフラ（SSID） 手順14に変わります。



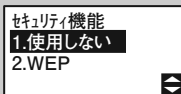
13 チャンネル番号を入力し、**確定**キーを押します。



14 LPD切断タイムアウト時間を入力し、**確定**キーを押します。



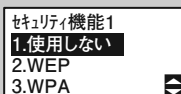
設定範囲は 30 ～ 500 です。「WLAN モード設定」(223 ページ)にて、“アドホック”を設定した場合、手順 15 に変わります。“インフラ(SSID)”を設定した場合、手順 16 に変わります。



15 セキュリティ機能を選び、**確定**キーを押します。

「WLANモード設定」(223 ページ)を“アドホック”に設定するとこの画面を表示します。

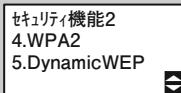
使用しない 手順26に変わります。
 WEP 手順18に変わります。



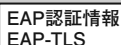
16 セキュリティ機能を選び、**確定**キーを押します。

「WLANモード設定」(223 ページ)を“インフラ (SSID)”に設定するとこの画面を表示します。

使用しない 手順26に変わります。
 WEP 手順18に変わります。
 WPA 手順24に変わります。
 WPA2 手順24に変わります。
 DynamicWEP 手順17に変わります。



“3.WPA”を選ぶと暗号方式はTKIPになります。
 “4.WPA2”を選ぶと暗号方式はAESになります。



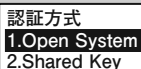
EAP認証情報
EAP-TLS

- ⑰ EAP認証情報を2段目に表示します。情報を確認し、**確定** キーを押します。

このあと手順⑳に変わります。



EAP認証機能を利用する場合はHTML経由で設定をおこなう必要があります。



認証方式
1. Open System
2. Shared Key

- ⑱ 認証方式を選び、**確定** キーを押します。



WEPKey1設定

- ⑲ WEPキー 1を入力し、**確定** キーを押します。

次のいずれかを入力してください。

- 5文字または13文字の文字列
- 10桁または26桁の16進数

設定値がある場合 “****” を表示します。



WEPKey2設定

- ⑳ WEPキー 2を入力し、**確定** キーを押します。

次のいずれかを入力してください。

- 5文字または13文字の文字列
- 10桁または26桁の16進数

設定値がある場合 “****” を表示します。



WEPKey3設定

- ㉑ WEPキー 3を入力し、**確定** キーを押します。

次のいずれかを入力してください。

- 5文字または13文字の文字列
- 10桁または26桁の16進数

設定値がある場合 “****” を表示します。



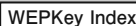
WEPKey4設定

- ㉒ WEPキー 4を入力し、**確定** キーを押します。

次のいずれかを入力してください。

- 5文字または13文字の文字列
- 10桁または26桁の16進数

設定値がある場合 “****” を表示します。



WEPKey Index
1

- ㉓ WEPキーとして使用する番号 (1~4) を入力し、**確定** キーを押します。

このあと手順㉔に変わります。

WPA/WPA2
認証機能設定
1.PSK
2.EAP

24 認証機能を選び、**確定**キーを押します。

PSK 手順25)に変わります。

EAP 手順17)に変わります。

事前共有キー

25 事前共有キーを入力し、**確定**キーを押します。

入力できるキーは8~63文字までの英数字（「-」（ハイフン）と「_」（アンダーバー）を含む）の文字列です。設定値がある場合はその設定値を表示します。

WLAN構成情報
保存しますか？
1.はい
2.いいえ

26 無線LAN構成情報の保存を選び、**確定**キーを押します。

はい 「情報保存中」画面になります。手順27)に変わります。

いいえ 1つ前の手順に戻ります。

WLAN構成情報
保存中
電源を切らないで
ください

27 この画面が表示され、情報が保存されたあと手順5)の画面に戻ることを確認します。



この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。また、無線LAN構成情報を保存しないと設定は反映されません。

LAN設定の初期化

LAN 設定を初期化する方法を説明します。



LAN設定の初期化をおこなうとLANの設定値を本プリンタが記憶している設定値に戻します。通常は使用しないでください。

メニュー (1/3)
1.呼出し発行
2.オンライン発行
3.設定

1 “3. 設定” を選び、**確定**キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

メニュー (1/3)
1.呼出し発行
2.オンライン発行
3.設定

設定 (1/2)
1. 初期設定
2. ユーザーメンテナンス
3. データメンテナンス

- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

ユーザーメンテ1
1. カレンダー設定
2. ユーザー設定
3. 通信設定

- ③ “3. 通信設定” を選び、**確定** キーを押します。

ユーザーメンテ1
1. カレンダー設定
2. ユーザー設定
3. 通信設定

- ④ “4. LAN設定初期化” を選び、**確定** キーを押します。

通信選択 (1/2)
1. USB
2. LAN
3. FTP

通信選択 (2/2)
4. LAN設定初期化
5. FTP設定初期化

- ⑤ LAN設定初期化の実行を確認し、**確定** キーを押します。

はい 「初期化中」画面になります。手順⑥に変わります。
いいえ 手順④に戻ります。

LAN設定初期化?
1. はい
2. いいえ

- ⑥ この画面が表示され、設定が初期化されたあと手順④の画面に戻ります。

✓
チェック

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

LAN設定初期化中
お待ちください

無線LAN設定の初期化

無線 LAN 設定を初期化する方法を説明します。



重要

無線LAN設定の初期化をおこなうと無線LANの設定値を本プリンタが記憶している設定値に戻します。通常は使用しないでください。

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定



メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

設定 (1/2)
1. 初期設定
2. ユーザーメンテナンス
3. テーマメンテナンス

ユーザーメンテ1
1. カレンダー設定
2. ユーザー設定
3. 通信設定



ユーザーメンテ1
1. カレンダー設定
2. ユーザー設定
3. 通信設定

WLAN構成情報
取得中
電源を切らないで
ください

- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

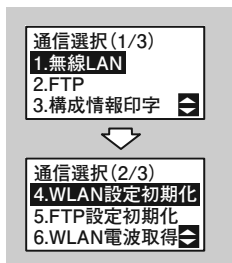
「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

- ③ “3. 通信設定” を選び、**確定** キーを押します。

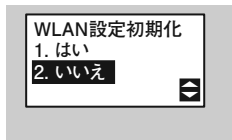
- ④ 「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。



この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

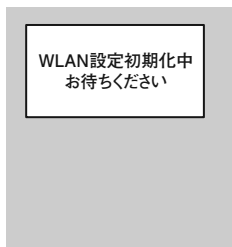


- ⑤ “4. WLAN設定初期化” を選び、**確定** キーを押します。



- ⑥ 無線LAN設定初期化の実行を確認し、**確定** キーを押します。

はい 「初期化中」画面になります。手順⑦に変わります。
いいえ 手順⑤に戻ります。



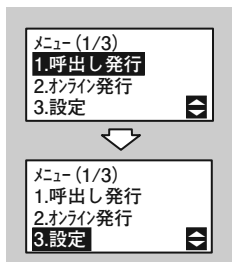
- ⑦ この画面が表示され、設定が初期化されたあと手順⑥の画面に戻ります。

— チェック —

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

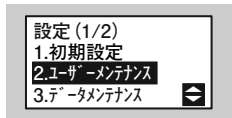
構成情報の印字

無線 LAN の構成情報を印字する方法を説明します。



- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

ユーザーメンテ
1.カレンダー設定
2.ユーザー設定
3.通信設定



ユーザーメンテ
1.カレンダー設定
2.ユーザー設定
3.通信設定

- ③ “3. 通信設定” を選び、**確定** キーを押します。

WLAN構成情報
取得中
電源を切らないで
ください

- ④ 「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。

— チェック —

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

通信選択(1/3)

1.無線LAN
2.FTP
3.構成情報印字



通信選択(1/3)

1.無線LAN
2.FTP
3.構成情報印字

- ⑤ “3. 構成情報印字” を選び、**確定** キーを押します。

WLAN構成情報
印字しますか?

1.はい
2.いいえ

- ⑥ 無線LAN構成情報印字の実行を確認し、**確定** キーを押します。

はい 「印字中」画面になります。手順⑦に変わります。

いいえ 手順⑤に戻ります。

WLAN構成情報

印字中

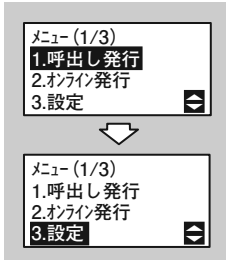
- ⑦ この画面が表示され、構成情報を3枚のラベルに印字したあと手順⑤の画面に戻ります。

— チェック —

ラベルは長さ60mm×幅60mmのバーラベフリーラベルをご使用ください。連続発行で、ラベルを発行します。

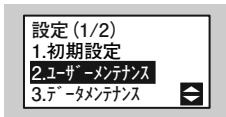
無線LANの電波取得

無線LANの電波を取得する方法を説明します。



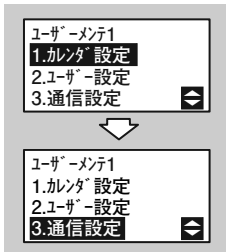
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

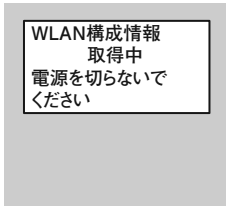


- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。



- ③ “3. 通信設定” を選び、**確定** キーを押します。



- ④ 「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。



この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。







- ⑤ “6. WLAN電波取得” を選び、**確定** キーを押します。

受信中

⑥ 最新の電波受信レベルがアイコンで表示されます。

電波受信レベルは、約5秒間隔で表示を更新します。**確定**キーを押すと手順⑤の画面に戻ります。

表示アイコン	電波受信レベル
	強
	中
	弱
	ゼロ



電波受信レベルが「強」になる場所に、本プリンタを設置することを推奨します。

省電力モードの設定

無線 LAN の省電力モードの設定方法を説明します。

省電力モードとは、本プリンタに搭載している無線 LAN モジュールへの電源供給を停止するモードです。

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定



メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

設定 (1/2)
1. 初期設定
2. ユーザーメンテナンス
3. テーマメンテナンス

- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

ユーザーメンテ
1. カレンダ設定
2. ユーザー設定
3. 通信設定



ユーザーメンテ
1. カレンダ設定
2. ユーザー設定
3. 通信設定

- ③ “3. 通信設定” を選び、**確定** キーを押します。

WLAN構成情報
取得中
電源を切らないで
ください

- ④ 「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。



この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

通信選択 (1/3)
1. 無線LAN
2. FTP
3. 構成情報印字



通信選択 (3/3)
7. 省電力モード

- ⑤ “7. 省電力モード” を選び、**確定** キーを押します。

省電力モード

1. 無効

2. 有効



⑥ 省電力モードを選び、**確定**キーを押します。

無効 無線LANモジュールに常時電源を供給します。

有効 無線LANモジュールに以下のモードのときのみ電源を供給します。

- FTP通信
- オンライン発行
- 無線LAN/FTPの設定

設定後は、手順⑤に戻ります。

本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

FTP設定

ここでは FTP を設定する方法を説明します。

- FTPクライアント機能 (235 ページ)
- FTPクライアント設定 (241 ページ)
- FTP設定の初期化 (246 ページ)



チェック

USB+LANモデルと無線LANモデルのみFTPを設定できます。

FTPクライアント機能

本プリンタはFTP サーバーに接続してファイルをダウンロードおよびアップロードできます。

ダウンロード

ダウンロードについて説明します。

対応しているFTPはWindows系のIIS、Linux系のProFTPD、vsFTPDです。ダウンロードをおこなう場合は、SDカードをプリンタに差し込んでください(282ページ)。

本プリンタでは、以下のデータをダウンロードできます。

No.	ファイル種
1	呼出しデータ
2	呼出し名検索データ
3	バーコード検索データ
4	漢字テーブル1
5	漢字テーブル2
6	漢字テーブル3
7	漢字テーブル4
8	漢字テーブル5
9	漢字テーブル6
10	漢字テーブル7
11	漢字テーブル8
12	漢字テーブル9
13	漢字テーブル10
14	店名テーブル
15	グラフィックテーブル
16	グラフィックデータ

No.	ファイル種
17	グラフィック
18	外字 (16×16)
19	外字 (24×24)
20	外字 (32×32)
21	固定発行プリセットデータ
22	フォントデータ
23	SDカード情報データ
24	レイアウトデータ
25	呼出しテーブルヘッダファイル
26	呼出しテーブルデータファイル
27	呼出しテーブル名検索ファイル
28	呼出しテーブルバーコード検索ファイル
29	ファームバージョン管理ファイル
30	各種ファームファイル



各ファイルの最大サイズは1メガバイトです。

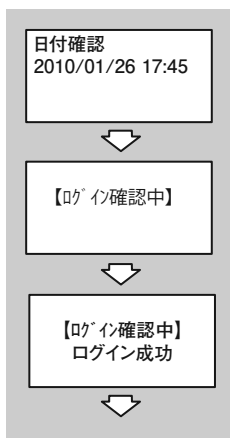
データをダウンロードするタイミングは以下の2通りです。

- 電源投入時取得 プリンタが起動後、自動で設定したFTPサーバーからファイルをダウンロードします。
- 手動にて取得 **[5]**キーを押しながら**[電源]**キーを押すと、設定したFTPサーバーからファイルをダウンロードします。



FTPクライアント設定の「FTP取得設定」にて、ダウンロードするタイミングを設定できます (242 ページ)。

<電源投入時取得に設定した場合>



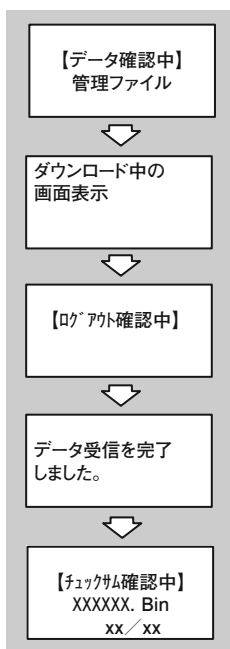
- 1 電源を入れます。
- 2 日付を確認して **確定** キーを押すと「ログイン確認中」画面に変わります。

✓チェック

「日付確認」画面設定（217 ページ）を“あり”に設定した場合のみ、この画面を表示します。

“なし”に設定した場合は、「日付確認」画面を表示せず「ログイン確認中」画面に変わります。

ログイン後は、自動で画面が切替り、データをダウンロードします。



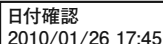
- 3 3段目にダウンロード中のデータ名などを表示します。
4段目にダウンロードしたファイル数と総ファイル数を表示します。

- 4 ダウンロード完了後は、「取得後画面」（243 ページ）で設定した画面に変わります。

✓チェック

途中で、ダウンロードを中止する場合は、**削除/AC** キーを押してください。通信中にエラーが発生した場合、**▲** キーを押すと再実行できます。

<手動にて取得に設定した場合>



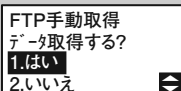
日付確認
2010/01/26 17:45

- 1 [5]キーを押しながら[電源]キーを押します。
- 2 日付を確認して[確定]キーを押すと「FTP手動取得」画面に変わります。

✓チェック

「日付確認」画面設定（217 ページ）を“あり”に設定した場合のみ、この画面を表示します。

“なし”に設定した場合は、「日付確認」画面を表示せず「FTP手動取得」画面に変わります。



FTP手動取得
データ取得する?
1.はい
2.いいえ

- 3 FTPデータの取得の実行を確認し、[確定]キーを押します。

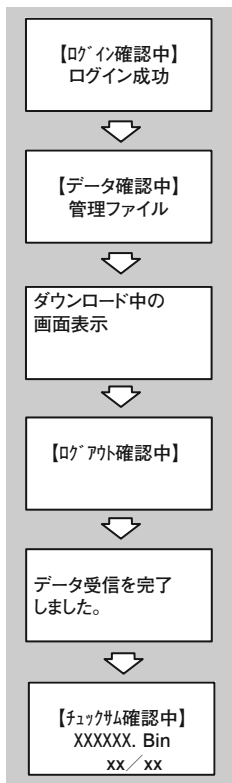
はい 「ログイン確認中」画面に変わります。

いいえ 「取得後画面」（243 ページ）で設定した画面に変わります。

ログイン後は、自動で画面が切替り、データをダウンロードします。



【ログイン確認中】



④ 3段目にダウンロード中のデータ名などを表示します。4段目にダウンロードしたファイル数と総ファイル数を表示します。

⑤ ダウンロード完了後は、「取得後画面」(243 ページ)で設定した画面に変わります。

—  チェック —

途中で、ダウンロードを中止する場合は、**[削除/AC]**キーを押してください。通信中にエラーが発生した場合、**[▲]**キーを押すと再実行できます。

アップロード

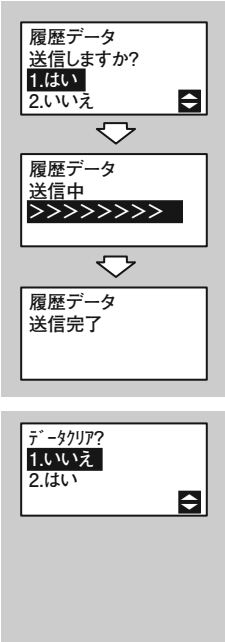
アップロードについて説明します。本プリンタでは、以下のデータをアップロードできます。

No.	ファイル種
1	値引き履歴データ
2	呼出し発行履歴データ

「値引き履歴データ転送方法」または「呼出し履歴データ転送方法」画面で、“FTP”を設定した場合のみデータのアップロードをおこないます。



「値引き履歴データ転送方法」の設定は、131 ページまたは158 ページをご覧ください。「呼出し履歴データ転送方法」の設定は、62 ページをご覧ください。



① 履歴データ送信の実行を確認し、確定**キーを押します。**

- はい 「履歴データ送信中」画面に変わります。
- いいえ 「取得後画面」(243 ページ) で設定した画面に変わります。

履歴データ送信完了後、「履歴データ送信完了」画面に変わります。

確定キーを押すと「データクリア」画面に変わります。

② 履歴データクリアの実行を確認し、確定**キーを押します。**

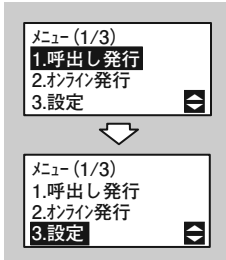
- いいえ 発行履歴データを消去せず「取得後画面」(243 ページ) で設定した画面に変わります。
- はい 発行履歴データを消去して「取得後画面」で設定した画面に変わります。



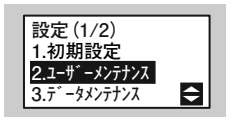
履歴データ送信後は、データを消去することを推奨します。

FTPクライアント設定

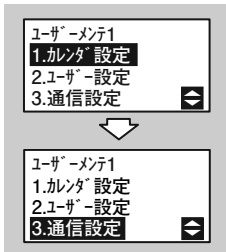
本プリンタのFTPクライアントを設定する方法を説明します。



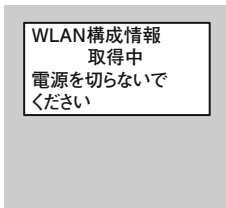
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。
「設定」画面が表示されます。



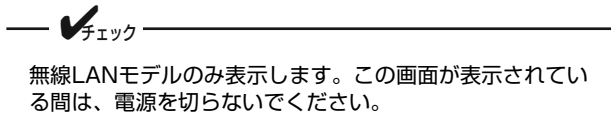
- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。
「ユーザーメンテ」画面が表示されます。



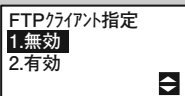
- ③ “3. 通信設定” を選び、**確定** キーを押します。



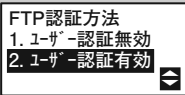
- ④ 「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。



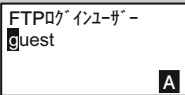
- ⑤ “FTP” を選び、**確定** キーを押します。



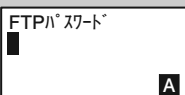
- ⑥ FTPクライアント指定を選択し、**[確定]**キーを押します。**
- 無効 プリンタをクライアントとして使用できません。手順**⑦**に変わります。
- 有効 プリンタをクライアントとして使用できます。手順**⑩**に変わります。



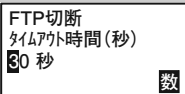
- ⑦ FTP認証方法を選択し、**[確定]**キーを押します。**
- ユーザー認証無効 手順**⑩**に変わります。
- ユーザー認証有効 手順**⑧**に変わります。



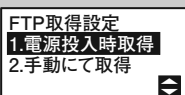
- ⑧ FTPログインユーザー名を入力し、**[確定]**キーを押します。**
- ユーザー名は1～31文字までの英数字（「-」（ハイフン）と「_」（アンダーバー）を含む）の文字列です。



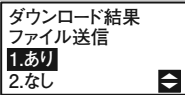
- ⑨ FTPパスワードを入力し、**[確定]**キーを押します。**
- パスワードは0～31文字までの英数字（「-」（ハイフン）と「_」（アンダーバー）を含む）の文字列です。
- 設定値があると“****”を表示します。



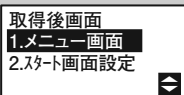
- ⑩ FTP切断のタイムアウト時間を入力し、**[確定]**キーを押します。**
- 設定範囲は、30～500です。
- 設定後、USB+LANモデルは、手順**⑤**に戻ります。無線LANモデルは、手順**⑫**に変わります。



- ⑪ FTPサーバーからのデータを取得するタイミングを選択し、**[確定]**キーを押します。**
- 電源投入時取得 プリンタが起動後、設定したFTPサーバーからデータの自動ダウンロードがおこなわれます。
- 手動にて取得 **[5]**キーを押しながら、**[電源]**キーを押したとき、設定したFTPサーバーからデータをダウンロードできます。



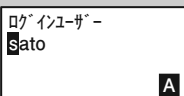
- ⑫ FTPサーバーからデータ取得後にダウンロード結果ファイルを送信するかどうかを選択し、**[確定]**キーを押します。**
- あり ダウンロード結果をFTPサーバーにアップロードします。
- なし ダウンロード結果をFTPサーバーにアップロードしません。



- ⑬ FTPサーバーからのデータを取得後に変わる画面を選択し、**確定**キーを押します。

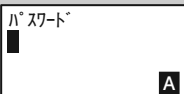
メニュー画面 FTPサーバーからデータ取得後、メニュー画面に変わります。

スタート画面設定 FTPサーバーからデータ取得後、スタート画面設定 (216 ページ) で設定した画面に変わります。



- ⑭ サーバーログインユーザー名を入力し、**確定**キーを押します。

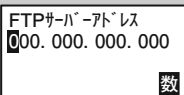
ユーザー名は1~31文字までの英数字 (「-」(ハイフン) と「_」(アンダーバー) を含む) の文字列です。



- ⑮ サーバーログインパスワードを入力し、**確定**キーを押します。

パスワードは0~31文字までの英数字 (「-」(ハイフン) と「_」(アンダーバー) を含む) の文字列です。

未入力の場合は、パスワードが削除になります。設定値があると「****」を表示します。

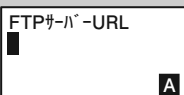


- ⑯ FTPサーバーアドレスを入力し、**確定**キーを押します。

「.」(ドット) は **シフト** キーで入力してください。

設定範囲は、「000.000.000.000」 ~ 「255.255.255.255」です。

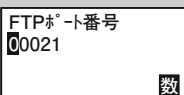
「000.000.000.000」に設定するとFTPサーバー URL でホストと接続します。



- ⑰ FTPサーバー URLを入力し、**確定**キーを押します。

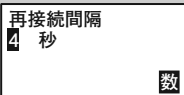
URLは1~48文字までの英数字 (「@」(アットマーク) を含む) の文字列です。

FTPサーバーアドレスが「000.000.000.000」設定でFTPサーバー URL が未設定の場合、再入力待ちになります。



- ⑱ FTPポート番号を入力し、**確定**キーを押します。

設定範囲は1~65535です。



- ⑲ 再接続間隔を秒単位で入力し、**確定**キーを押します。

設定範囲は1~100です。

チェック

無線LANモデルのみ表示します。

再接続リトライ

10 回

数

20 接続リトライ回数を入力し、**確定**キーを押します。

- 0 リトライしません。
- 1～10 指定回数リトライします。
- 255 接続するまでリトライします。



無線LANモデルのみ表示します。

ジョブタイムアウト

30 秒

数

21 ジョブタイムアウト時間を秒単位で入力し、**確定**キーを押します。

設定範囲は、“0～600”です。“0”に設定した場合、ジョブタイムアウト監視なしになります。



無線LANモデルのみ表示します。

FTP通信タイムアウト

120 秒

数

22 FTP通信タイムアウト時間を秒単位で入力し、**確定**キーを押します。

設定範囲は、“1～999”です。



無線LANモデルのみ表示します。

アップロード先

A

23 データのアップロード先を入力し、**確定**キーを押します。

アップロード先は0～48文字までの英数字の文字列です。未入力の場合、ログインしたカレントディレクトリがアップロード先になります。

ダウンロード元

A

24 データのダウンロード元を入力し、**確定**キーを押します。

ダウンロード元は0～48文字までの英数字の文字列です。未入力の場合、ログインしたカレントディレクトリがダウンロード元になります。

DNSプライマリ
アドレス

000.000.000.000

数

25 DNSプライマリアドレスを入力し、**確定**キーを押します。

「.」（ドット）は**シフト**キーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

DNSセカンダリ
アドレス
000.000.000.000 **数**

- 26 DNSセカンダリアドレスを入力し、**確定**キーを押します。

「.」（ドット）は**シフト**キーで入力してください。

設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。

設定内容を
印字しますか
1.する
2.しない **数**

- 27 FTPの設定内容の印字の実行を確認し、**確定**キーを押します。

する FTP設定内容を印字したあと手順**5**に変わります。

しない 手順**5**に変わります。



この画面はUSB+LANモデルのみ表示されます。
ラベルは長さ60mm×幅60mmのバーラペフリーラベル
をご使用ください。連続発行でラベルを発行します。

WLAN構成情報
保存しますか?
1.はい
2.いいえ **数**

- 28 無線LAN構成情報の保存を選び、**確定**キーを押します。

はい 「情報保存中」画面になります。手順**29**に変わります。

いいえ 1つ前の手順に戻ります。



無線LANモデルのみ表示します。

WLAN構成情報
保存中
電源を切らないで
ください

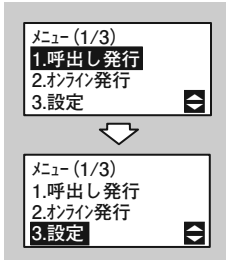
- 29 この画面が表示され、情報が保存されたあと手順**5**の画面に戻ります。



無線LANモデルのみ表示します。この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。また、無線LAN構成情報を保存すると、設定が反映されます。

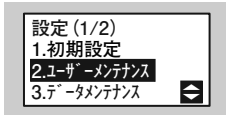
FTP設定の初期化

FTPクライアント設定を初期化する方法を説明します。



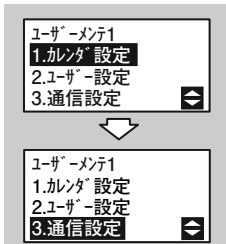
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

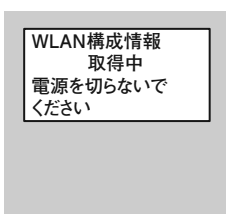


- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。



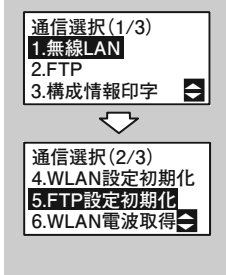
- ③ “3. 通信設定” を選び、**確定** キーを押します。



- ④ 「通信選択」画面が表示されるまで待ちます。

— チェック —

無線LANモデルのみ表示します。この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。



- ⑤ “5. FTP設定初期化” を選び、**確定** キーを押します。

<無線LANモデルの場合>

— チェック —

無線LANモデルのみ表示します。

<USB+LANモデルの場合>

通信選択(1/2)
1.USB
2.LAN
3.FTP



通信選択(2/2)
4.LAN設定初期化
5.FTP設定初期化

FTP設定初期化?
1.はい
2.いいえ

FTP設定初期化中
お待ちください

— ✓チェック —

この画面はUSB+LANモデルのみ表示されます。

⑥ FTP設定初期化の実行を確認し、**確定**キーを押します。

はい 「初期化中」画面になります。手順⑦に変わります。
いいえ 手順⑤に戻ります。

⑦ この画面が表示され、設定が初期化されたあと手順⑤の画面に戻ります。

— ✓チェック —

この画面が表示されている間は、電源を切らないでください。

パスワード登録

本プリンタを操作するためのパスワードを登録してください。



重要

登録したパスワードは本プリンタを使用するときの共通パスワードになります。
登録したパスワードは、お客様で管理してください。

メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定



メニュー (1/3)
1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

設定 (1/2)
1. 初期設定
2. ユーザーメンテナンス
3. テーマメンテナンス

ユーザーメンテ1
1. カレンダー設定
2. ユーザー設定
3. 通信設定



ユーザーメンテ2
4. パスワード設定
5. メニュー設定

パスワード設定
1. あり
2. なし

- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「ユーザーメンテ」画面が表示されます。

- ③ “4. パスワード設定” を選び、**確定** キーを押します。

「パスワード設定」画面が表示されます。

- ④ パスワードを設定するかどうかを選び、**確定** キーを押します。

なし 手順③に戻ります。

あり 手順⑤に変わります。



チェック

セキュリティ対策としてパスワードの設定を推奨します。

<新規にパスワードを設定する場合>

パスワード設定
現在 [****]
新規 [****]

数

- 5 新規パスワードに4桁の数字を入力し、**確定** キーを押します。

パスワードの設定が完了したら、手順**3**に戻ります。

<すでに設定しているパスワードを変更する場合>

パスワード設定
現在 [****]
新規 [****]

数

- 5 現在パスワードに4桁の数字を入力し、**確定** キーを押します。

✓
チェック

すでに設定しているパスワードと現在パスワードが一致しなかったときは、エラーとなってブザーが鳴ります。このときは再度、現在パスワードを入力してください。

パスワード設定
現在 [X X X X]
新規 [****]

数

- 6 新規パスワードに4桁の数字を入力し、**確定** キーを押します。

パスワードの設定が完了したら、手順**3**に戻ります。

✓
チェック

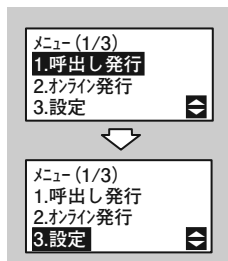
現在パスワードの欄に手順**5**で入力したパスワードが表示されます。



設定したパスワードは、お客様で管理してください。

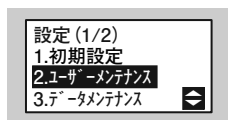
メニュー設定

メニュー画面に表示するメニューを選択します。次に、表示するメニューの順番を指定します。

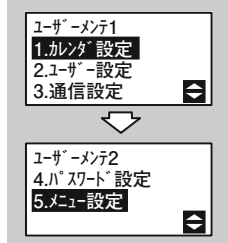


- ① “3.設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



- ② “2. ユーザーメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。



- ③ “5. メニュー設定” を選び、**確定** キーを押します。

「メニュー表示」画面が表示されます。



- ④ **▲▼**または数字キーを使って設定を変更したいメニューを選び、**◀▶**キーで表示するかどうかを選びます。設定が終わったら、**確定**キーを押します。

「メニュー順番」画面が表示されます。



- 「メニュー表示」画面で**確定**キーを押しても設定内容は確定しません。「メニュー順番」画面で**確定**キーを押したときにメニュー表示とメニュー順番の設定を確定します。
- 「3.設定」を“しない”に設定すると、「設定」画面が表示されなくなります。「設定」画面を表示させたい場合は、**8**キーを押しながら電源を入れてください。メニュー画面が表示されますので、設定を変更してください。

メニュー-順番1	
1.呼出し	1
2.オフライン	2
3.設定	3

メニュー-順番2	
4.固定	4
5.C128	5
6.JAN2	6

メニュー-順番3	
7.個体	7

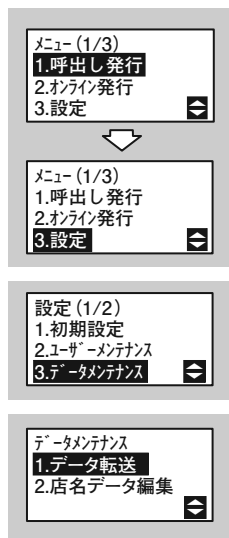
- 5 表示順を変更したいメニューを選び、数字キーで番号を入力します。設定が終わったら、**確定**キーを押します。



「メニュー表示」画面で「しない」を選んだメニューは、順番の欄が“-”となり、番号を入力できません。複数のメニューに同じ番号を入力することはできません。すでに使用されている数字を別のメニューに割り当てたい場合は、現在その数字が割り当てられているメニューを選び、**削除/AC**キーを押します。番号がクリアされ、“*”表示になります。**削除/AC**キーを1秒以上押すと、すべてのメニューの番号がクリアされます。

データメンテナンス

SDカードの初期化および各種テーブルのデータ転送などをおこなうデータメンテナンスの方法を説明します。



- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

- ② “3. データメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

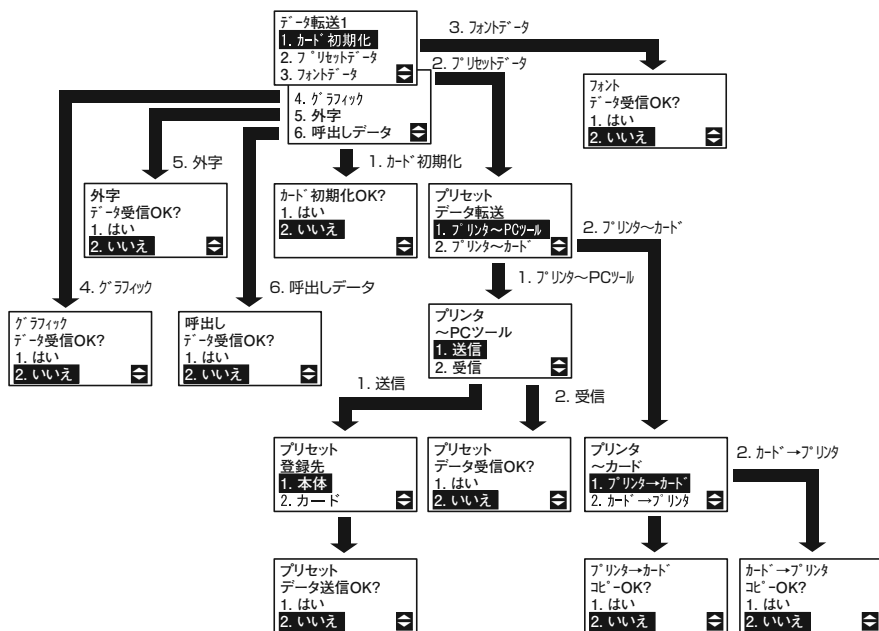
「データメンテナンス」画面が表示されます。

- ③ 機能を選び、**確定** キーを押します。

以降それぞれの設定画面が表示されますので、**▲▼**キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定**キーを押してください。

データ転送

項目	機能
1.カード初期化	本プリンタに挿入されているSDカードを初期化します (手順については284 ページをご覧ください)。
2.プリセットデータ	プリセットデータを転送する機能です。プリンタとPCツール間、プリンタとカード間の転送が可能です。 SDカードからプリンタに転送する場合、転送できるのは先頭から2500件分までです。
3.フォントデータ	フォントデータを受信する機能です。
4.グラフィック	グラフィックデータを受信する機能です。
5.外字	外字データを受信する機能です。
6.呼出しデータ	データ受信を確認する画面です。



店名データ編集

プリンタに登録する店名テーブルデータを編集できます。編集できるデータは以下の4件です。それぞれの編集画面で23文字以降はカーソルでスクロールします。

プリンタ本体に登録する店名テーブルデータは、テーブル番号0です。

- 店名 入力できるデータは60バイト（全角で30文字）までです。
- 住所 入力できるデータは100バイト（全角で50文字）までです。
- 電話番号 入力できるデータは80バイト（半角で80文字）までです。
- メモ 入力できるデータは80バイト（全角で40文字）までです。

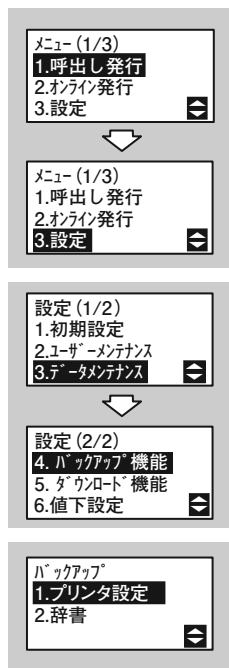


その他機能

バックアップ機能およびダウンロード機能について説明します。

バックアップ機能

登録されている各種データをSDカードもしくは本プリンタに保存する機能です。



- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

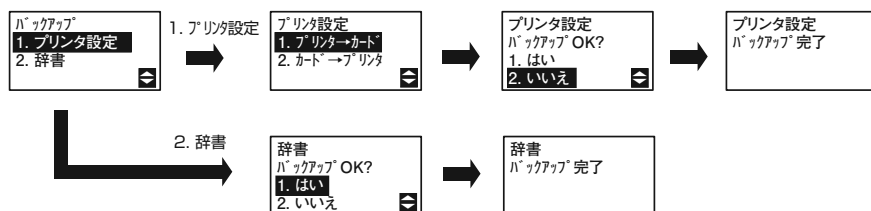
「設定」画面が表示されます。

- ② “4. バックアップ機能” を選び、**確定** キーを押します。

「バックアップ」画面が表示されます。

- ③ バックアップするデータを選び、**確定** キーを押します。

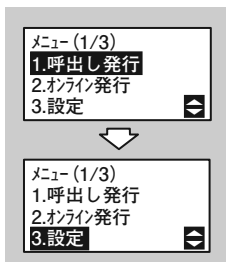
以降それぞれの設定画面が表示されますので、**▲▼**キーまたは数字キーを使って設定を選び、**確定** キーを押してください。



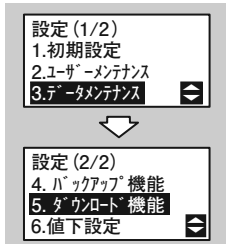
バックアップが完了したら **確定** キーを押してください。

ダウンロード機能

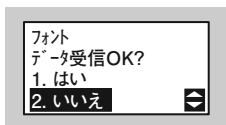
フォントデータをコンピュータから本プリンタにダウンロードする機能です。



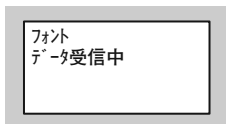
- ① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。
「設定」画面が表示されます。



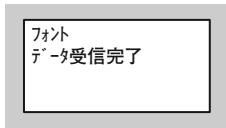
- ② “5. ダウンロード機能” を選び、**確定** キーを押します。
「ダウンロード」画面が表示されます。



- ③ “はい” を選び、**確定** キーを押します。



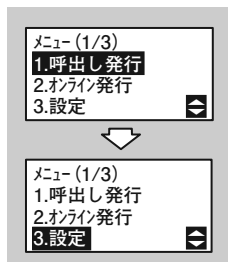
- ④ ダウンロードフォント作成ユーティリティを使用して
フォントをダウンロードしてください。



- ⑤ **確定** キーを押すと手順②の画面に戻ります。

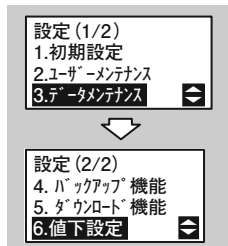
値下設定

値下 CODE128 と値下 JAN2 段で発行するラベルの印字内容を設定します。



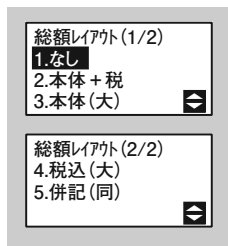
① “3. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。



② “6. 値下設定” を選び、**確定** キーを押します。

「総額レイアウト」画面が表示されます。



③ 値下処理の印字レイアウトを選び、**確定** キーを押します。

なし 値引き額や割引率、新価格のみを印字します。「なし」を選んだ場合、以降の設定画面は表示されません。

本体+税 値下げ後の本体価格の後に「+税」と印字します。

本体(大) 値下げ後の本体価格を大きな文字で印字し、税込価格を小さな文字で印字します。

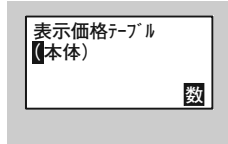
税込(大) 値下げ後の税込価格を大きな文字で印字し、本体価格を小さな文字で印字します。

併記(同) 値下げ後の本体価格と税込価格を同じ大きさの文字で印字します。

印字レイアウトの詳細は、下記をご覧ください。

値下CODE128は、132 ページの「値下CODE128の印字レイアウト例」をご覧ください。

値下JAN2段は、164 ページの「値下JAN2段の印字レイアウト例」をご覧ください。



④ 「表示価格」に付随して印字されるコメントを6バイト(全角で3文字)以内で入力し、**確定** キーを押します。

文字の入力方法は、50 ページをご覧ください。

初期値は「(本体)」(カッコは半角)です。



本体テーブル
【本体】

- ⑤ 本体価格に付随して印字されるコメントを6バイト（全角で3文字）以内で入力し、**確定** キーを押します。

初期値は「(本体)」(カッコは半角)です。



税込テーブル
【税込】

- ⑥ 税込価格に付随して印字されるコメントを6バイト（全角で3文字）以内で入力し、**確定** キーを押します。手順③の画面に戻ります。

初期値は「(税込)」(カッコは半角)です。

第6章

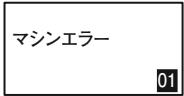
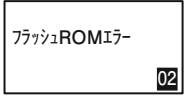
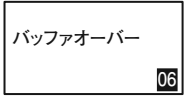
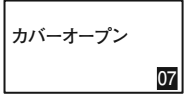
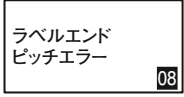
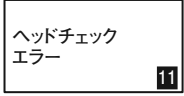

環境設定

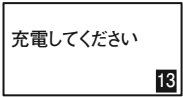
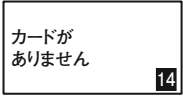
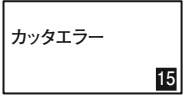
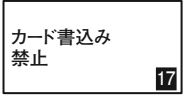
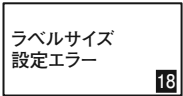
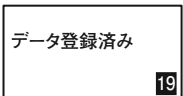
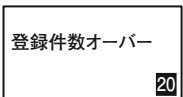
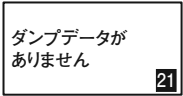
第7章 困ったときは

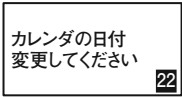
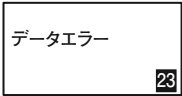
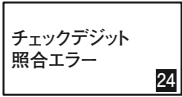
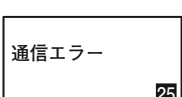
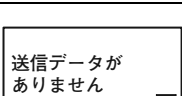
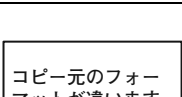
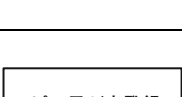
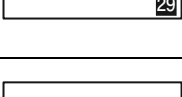
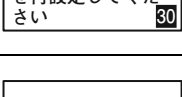
エラーメッセージ

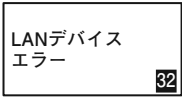
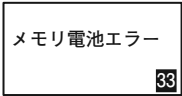
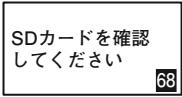
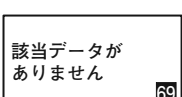
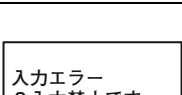
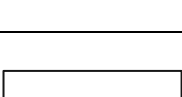
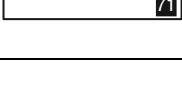
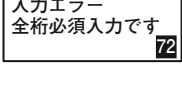
画面にエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。こんなときどうしたらよいか説明します。

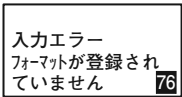
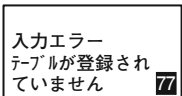
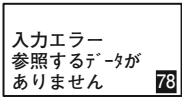
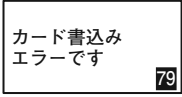
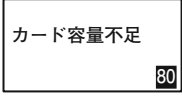
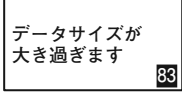
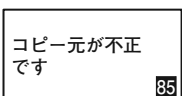
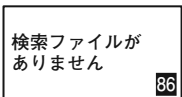
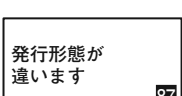
また、プリンタを操作していて、うまくいかないときもこの章をお読みください。

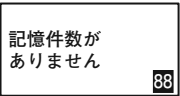
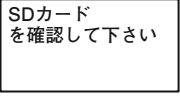
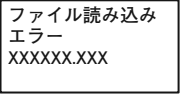
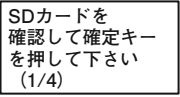
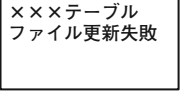
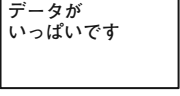
エラー番号	LCD画面	説明
01		マシンエラーの画面です。 原因：①基板の不良です。 対策：①販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
02		フラッシュ ROM エラーの画面です。 原因：①フラッシュ ROM にアクセスできません。 対策：①販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
06		バッファオーバーの画面です。 原因：①受信バッファ容量を超えるデータを受信しました。 対策：①通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。
07		カバーオープンの画面です。 原因：①カバーがオープン状態になっています。 対策：①トップカバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。
08		ラベルエンドピッチエラーの画面です。 原因：①正しい用紙がセットされていない状態でラベル発行した場合に表示されます。 ②用紙がありません。 対策：①②正しい用紙をセットしてください。
11		ヘッドチェックエラーの画面です。 原因：①サーマルヘッドに異常があります。 対策：①販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
12		バッテリー EMPTY の画面です。 原因：①バッテリー残量が少なくなっています。 対策：①バッテリー残量が少ないので充電してください。

エラー番号	LCD画面	説明
13		<p>バッテリー充電を知らせる画面です。 原因：①バッテリー残量がなくなり、印字動作がおこなえない状態になっています。 対策：①バッテリーを充電してください。</p>
14		<p>SDカードなしの画面です。 原因：①カードスロットにSDカードがありません。 対策：①カードスロットにSDカードをセットして 確定 キーを押してください。</p>
15		<p>カッタエラーの画面です。 原因：①カッタ部で用紙詰まりが発生しています。 ②カッタ刃が所定の位置に戻っていません。 対策：①②電源オフでエラーを解除して、元の画面に戻ります。</p>
17		<p>カード書き込み禁止の画面です。 原因：①SDカードが書き込み禁止状態になっています。 対策：①SDカードの書き込み禁止状態を解除してください。</p>
18		<p>ラベルサイズ設定エラーの画面です。 原因：①固定発行の用紙サイズが誤っています。 ②呼出し発行の初期設定でバラベ固定ラベルを設定した場合、用紙サイズの設定がプリンタとFIツールで異なっている場合に表示されます。 対策：①固定発行のフォーマット No に合った用紙サイズを設定してください。 ②呼出し No に合った用紙サイズを設定してください。</p>
19		<p>データ登録済みの画面です。 原因：①固定発行時、プリセット登録したときにすでにデータが登録されています。 対策：①番号を確認してください。</p>
20		<p>登録件数オーバーの画面です。 原因：①固定発行時、固定するフォーマットを16件以上登録した場合、表示されます。 対策：①登録件数を15件以下にしてください。</p>
21		<p>ダンプデータなしの画面です。 原因：①固定発行時、ダンプ発行するデータが登録されていません。 対策：①ダンプ発行するデータを登録します。</p>

エラー番号	LCD画面	説明
22		<p>カレンダー日付不正の画面です。 原因：①カレンダー日付が不正な数値になっています。 対策：①カレンダー日付を再設定してください。</p>
23		<p>データエラーの画面です。 原因：①不正なデータを入力しています。 対策：①データを見直してください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。</p>
24		<p>チェックデジット照合エラーの画面です。 原因：①チェックデジットに誤りがあります。 対策：①チェックデジットを入力し直してください。</p>
25		<p>通信エラーの画面です。 原因：①バーコードスキャナとの通信が異常です。 対策：①バーコードスキャナの設定を確認してください。 ②バーコードスキャナのケーブルを確認してください。</p>
26		<p>通信エラー（送信データなし）の画面です。 原因：①送信データが登録されていません。 対策：①送信データの有無を確認してください。</p>
28		<p>コピー元フォーマット違いの画面です。 原因：①固定発行時、プリセット登録において入力したコピー No のプリセットデータとフォーマット No が一致していません。 対策：①同じフォーマット No で登録したプリセット No を入力してください。</p>
29		<p>コピー元（プリセットデータ）未登録の画面です。 原因：①固定発行時、プリセット登録において入力したコピー No のプリセットデータが登録されていません。 対策：①登録済みのプリセット No を入力してください。</p>
30		<p>価格総額表示設定の再設定画面です。 原因：①価格総額表示設定に誤りがあります。 対策：①価格総額表示を再設定してください。</p>
31		<p>無線 LAN モジュールエラーの画面です。 原因：①無線 LAN モジュールのチェックをおこない、エラーがある場合に表示します。 対策：①販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。</p>

エラー番号	LCD画面	説明
32	LANデバイス エラー 	LAN デバイスエラーの画面です。 原因：① LAN デバイスのエラーが発生しています。 対策：① 販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
33	メモリ電池エラー 	メモリ電池エラーの画面です。 原因：① カレンダーバックアップ電池が消耗しています。 対策：① 販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
68	SDカードを確認 してください 	SD カードの情報データ確認の画面です。 原因：① SD カードの情報データに誤りがあります。 対策：① SD カードのデータを確認してください。
69	該当データが ありません 	該当データなしの画面です。 原因：① 呼出し発行の検索時、該当する呼出しデータがありません。 対策：① データを確認してください。 備考：① エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度検索画面に戻ります。
70	入力エラー 0 入力禁止です 	入力エラー (0 入力禁止) の画面です。 原因：① 入力桁数チェックで「0 入力禁止」に設定している項目で、0 入力しています。 対策：① データを確認してください。 備考：① エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
71	入力エラー 未入力禁止です 	入力エラー (未入力禁止) の画面です。 原因：① 入力桁数チェックで「未入力禁止」に設定している項目で、入力をおこなっていません。 対策：① データを確認してください。 備考：① エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
72	入力エラー 全桁必須入力です 	入力エラー (全桁必須入力) の画面です。 原因：① 呼出し発行時、入力桁数チェックで「全桁必須入力」に設定している項目で、入力桁数が不足しています。 対策：① データを確認してください。 備考：① エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。
73	入力エラー 入力範囲外の 値です 	入力エラー (入力範囲外の値) の画面です。 原因：① 入力値が有効範囲を超えています。 対策：① データを確認してください。 備考：① エラーメッセージを約 1 秒表示した後、再度入力画面に戻ります。

エラー番号	LCD画面	説明
76		<p>入力エラー（フォーマットが未登録）の画面です。</p> <p>原因：①未登録のフォーマット番号を指定しています。</p> <p>対策：①データを確認してください。</p> <p>備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。</p>
77		<p>入力エラー（テーブルが未登録）の画面です。</p> <p>原因：①未登録のテーブル番号を指定しています。</p> <p>対策：①データを確認してください。</p> <p>備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。</p>
78		<p>入力エラー（参照するデータがない）の画面です。</p> <p>原因：①テーブル参照時、指定した番号にデータが登録されていません。</p> <p>対策：①データを確認してください。</p> <p>備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。</p>
79		<p>カード書込みエラーの画面です。</p> <p>原因：①SDカードへのデータ書込みエラーが発生しています。</p> <p>対策：①SDカードのデータを確認してください。</p>
80		<p>SDカード容量不足の画面です。</p> <p>原因：①SDカードの容量が不足しています。</p> <p>対策：①SDカードのデータを確認してください。</p>
83		<p>データサイズエラーの画面です。</p> <p>原因：①発行する呼出しデータが256キロバイト以上の場合に表示されます。</p> <p>対策：①FIツールで呼出しデータを修正してください。</p>
85		<p>コピー元不正エラーの画面です。</p> <p>原因：①固定発行時プリセット登録において、入力したコピーNoに0が入力された場合に表示されます。</p> <p>対策：①登録済みのプリセットNoを入力してください。</p>
86		<p>検索ファイルエラーの画面です。</p> <p>原因：①呼出し発行の呼出し検索およびバーコード検索時に検索ファイルがない場合に表示されます。</p> <p>対策：①SDカードの検索ファイルを確認してください。</p>
87		<p>発行形態エラーの画面です。</p> <p>原因：①固定発行のプリセット発行のダンプ発行時に発行形態がハクリ発行の場合に表示されます。</p> <p>対策：①発行形態を連続発行にしてください。</p>

エラー番号	LCD画面	説明
88		<p>記憶発行登録エラーの画面です。 原因：①記憶発行「あり」設定時に記憶件数が0件の状態で「発行/停止」キーを押した場合に表示されます。 対策：①発行データをセットしてください。 備考：①エラーメッセージを約1秒表示した後、再度入力画面に戻ります。</p>
-		<p>SDカード異常（読み込み時）の画面です。 原因：①カードスロットにSDカードがありません。 ②SDカードが書き込み禁止状態になっています。 対策：①カードスロットにSDカードをセットしてください。 ②SDカードの書き込み禁止状態を解除してください。</p>
-		<p>ファイル読み込みエラーの画面です。 原因：①3行目に表示されたファイルがSDカード内の指定フォルダにありません。 ②ファイル内のデータが正しくありません。 対策：①SDカードを確認してください。 ②データを確認してください。</p>
-		<p>SDカード異常（書き込み時）の画面です。 原因：①編集した各テーブルをSDカードに書き込む際、カードスロットにSDカードがありません。 ②編集した各テーブルをSDカードに書き込む際、SDカードが書き込み禁止状態になっています。 対策：①カードスロットにSDカードをセットしてください。 ②SDカードの書き込み禁止状態を解除してください。 備考：①②SDカードを確認して挿入し、「確定」キーを押してください。4回まで試行し、失敗した場合はSDカード書き込みがされず、編集したデータは破棄されます。</p>
-		<p>データ更新失敗の画面です。 原因：①各テーブルデータのSDカードへの書き込み失敗しました。編集中のデータは、破棄されます。 対策：①編集をやりなおしてください。</p>
-		<p>データ登録件数最大の画面です。 原因：①データ登録件数が最大件数です。 対策：①データを1件以上削除してください。</p>

エラー番号	LCD画面	説明
-	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 検索バーコードが重複しています </div>	<p>検索バーコード重複の画面です。</p> <p>原因：①呼出しテーブルの編集で、入力した検索バーコードはすでに使用されています。</p> <p>対策：①別の検索バーコードを入力してください。または、重複しているデータを削除してください。</p>
-	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> レイアウトNo [XXXX]はありません </div>	<p>レイアウト No 不正の画面です。</p> <p>原因：①スキャンしたデータのレイアウト No は存在しません。</p> <p>対策：①データを確認してください。</p>
-	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> データサイズエラー </div>	<p>データサイズエラーの画面です。</p> <p>原因：①スキャンしたデータサイズが、レイアウトのプリセットデータサイズと一致しません。</p> <p>対策：①データを確認してください。</p>
-	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> データ不正 </div>	<p>データ不正の画面です。</p> <p>原因：①スキャンしたデータのレイアウト No、呼出し No が異常なデータです。</p> <p>対策：①データを確認してください。</p>
-	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> スキャナエラー </div>	<p>スキャナエラーの画面です。</p> <p>原因：①スキャンしたQRコード内のデータが異常です。または、データサイズが最大1024バイトを超えています。</p> <p>対策：①QRコードを確認してください。</p>
-	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> バッファがいっぱいです 電源切して下さい </div>	<p>登録用一時バッファがいっぱいの画面です。</p> <p>原因：①登録用一時用バッファがいっぱいになりました。</p> <p>対策：①一度電源オフして登録してください。</p> <p>備考：①登録用一時用バッファサイズは約270Kバイトです。</p>
-	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> データがいっぱいです 電源切して下さい </div>	<p>データ登録件数最大の画面です。</p> <p>原因：①データ登録件数が最大件数です。</p> <p>対策：①データを1件以上削除してください。</p>

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やサービスをお申しつけになる前に、あらかじめご確認ください。

電源を入れても何も表示されない

- ACアダプタと電源コードは正しく接続されていますか？→「電源を入れてみましょう」(43 ページ)
- バッテリーパックは正しく取り付けられていますか？→「バッテリーパックの装着と取り出しのしかた」(47 ページ)
- バッテリーパックは充電されていますか？→「バッテリーパックの充電」(45 ページ)

ラベルが印字されない

- 電源を入れ直してください。
- 用紙を正しくセットしてください。→「用紙をセットする」(33 ページ)
- プラテンローラーの「のり」や「汚れ」をふきとってください。→「本プリンタのお手入れ」(269 ページ)
- 画面にメッセージが表示されたときは、表示によって適切な対応をおこなってください。→「エラーメッセージ」(259 ページ)
- トップカバーをカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。→「用紙をセットする」(33 ページ)
- 電源を切って、用紙を交換してください。

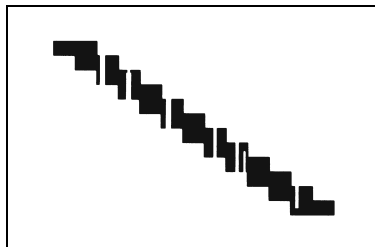
きれいに印字しない

- サーマルヘッドを清掃してください。→「本プリンタのお手入れ」(269 ページ)
- プラテンローラーを清掃してください。→「本プリンタのお手入れ」(269 ページ)
- 電源を切って、用紙を交換してください。

正しく印字されない、または印字位置がずれる

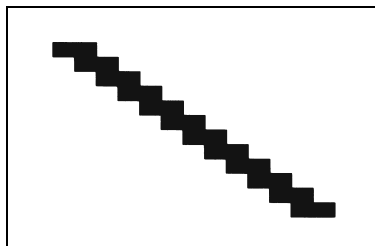
- 初期設定で、データの位置を設定し直してください。
呼出し発行 → 59 ページ
固定発行 → 79 ページ
オンライン発行 → 115 ページ
値下CODE128 → 119 ページ
値下JAN2 → 150 ページ
個体識別 → 180 ページ
- 用紙がセットしてある箇所の「のり」や「汚れ」をふきとってください。→「本プリンタのお手入れ」(269 ページ)
- 用紙を正しくセットしてください。「用紙をセットする」(33 ページ)

固定発行、値下CODE128、値下JAN2段、個体識別の場合、
チェックラベルを発行したとき、以下のようなラベルが印字される



- サーマルヘッドを清掃してください。→「本プリンタのお手入れ」(269 ページ)
- 改善されないときは、サーマルヘッドの交換が必要です。販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

サーマルヘッドがきれいなときは、このようなラベルが印字されます。



■チェックラベル

ラベル発行後、サーマルヘッドの状態を見るためのラベルを印字できます。このラベルをチェックラベルといいます。

チェックラベルで、サーマルヘッドの汚れなどを確認して、必要に応じてサーマルヘッドを清掃してください。

チェックラベルを印字するときは、初期設定の発行形態で“連続”を選択してください。

ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスクーナ読取りをおこなって確認してください。

第7章

困ったときは

第8章 保守

本プリンタのお手入れ

ラベルをきれいに印字するため、また故障を防ぐために、定期的に清掃をおこなってください。



重要

感電防止について

サーマルヘッドやプラテンローラーを清掃するときは、必ず電源を切ってください。感電するおそれがあります。

お手入れの時期

- サーマルヘッド、プラテンローラー → 用紙1巻おき
- 用紙ガイド、ヘッドカバー → 用紙6巻おき
- 印字がかすれたりラベルが汚れてきたときは、そのつどお手入れをしてください。

お手入れのときの注意

- 上記の清掃時期を目安に清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*1、ラッピングシート*1*2をご使用ください。
- ドライバーなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってからおこなってください。
- 用紙は取り外してから清掃をおこなってください。

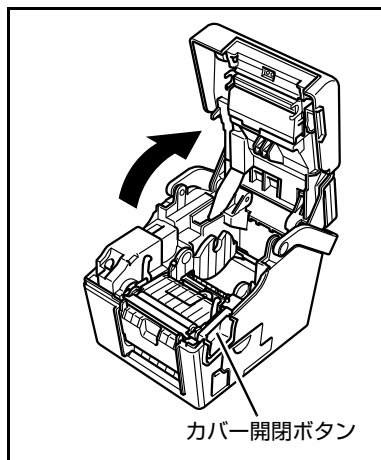


クリーニングペン

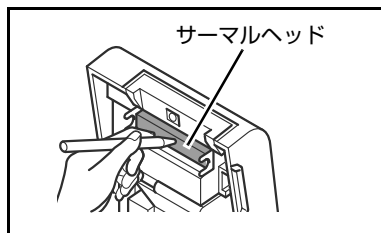
*1 プリンタクリーニングセットとラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。

*2 ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付の「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

清掃のしかた



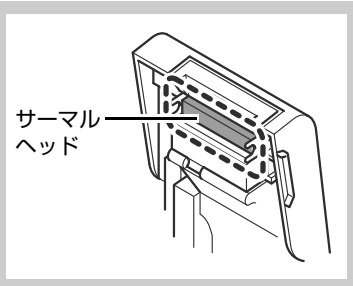
- ① カバー開閉ボタンを押し下げ、トップカバーを上まで開きます。

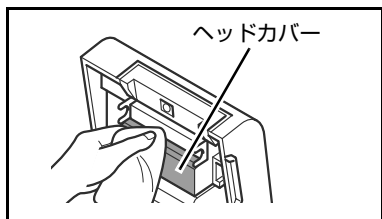


- ② クリーニングペンを 사용하여、サーマルヘッドの汚れを拭き取ります。

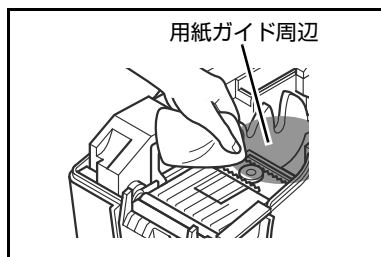
⚠ 注意

- 印字直後は、トップカバー側にあるサーマルヘッドとその付近は、高い温度になっています。印字直後に用紙をセットするときには、火傷しないように十分注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れると、ケガをするおそれがありますのでご注意ください。



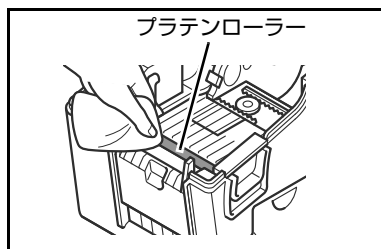


- ③ 綿布にプリンタ清掃液を付けて、ヘッドカバーを清掃します。



- ④ 綿布にプリンタ清掃液を付けて、用紙ガイドと、周辺を清掃します。

用紙ガイド周辺には、ラベルの紙粉がたまりやすくなっています。



- ⑤ 綿布にプリンタ清掃液を付けて、プラテンローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サポート業務をおこなっております。保守サポート業務について、ご説明します。

保守サポートの種類一覧表

サポート名	部品代	技術料	出張料
保証期間内のサポート	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サポート	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます
スポットサポート	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後から5年間です。機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ <https://www.sato.co.jp/> でご確認ください。

保守サポートの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修理にあたります。
持込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合、用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのメンテナンスセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修理にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サポートの説明

保証期間内の保守サポート

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入から6か月間を保証期間として無償修理をおこなっております。

サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社指定のサプライ製品での走行距離30km（カッタは30万回）または納入から6か月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サポート

最良の状態をご利用いただくために、弊社のカスタマー・エンジニア（CE）が責任をもって、製品の維持・管理をさせていただきます。

1. 優先サポート

故障発生時には、スポット保守サポートのお客様よりも優先的に対応させていただきます。

2. 全国ネットワークでスピーディーな対応

全国電話一本で、全国を網羅するサポートセンターから弊社 CE が素早く修理にお伺いします。

3. 予防定期点検の実施

定期点検はトラブルを未然に防ぎ、製品の安定稼働、さらにシステム全体の安定稼働に寄与します。

4. 契約料金以外の費用が発生しません

最適発行環境を守るための出張料や技術料、そして交換部品代までをひとつにパッケージ。予算が立てやすく、年間維持費を最小限に抑えることができます。

5. 豊富なバリエーション

お客様のご使用環境に応じた様々なプラン（保守対応・時間帯など）をご用意しております。

※ 保守契約の詳細につきましては、弊社の CE が直接お伺いのうえ、ご案内させていただきます。

スポットサポート

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサポートを実施いたします。

故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までに日数がかかる場合がございますが、ご了承ください。

スポットサービスを実施した場合、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフトなど）は、壊れる場合があります。（登録された各種データ・ソフトの保証はできません）

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることを推奨します。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

第9章 付録

基本仕様

モデル名		バーラベ FI212T	
印字方式	感熱方式		
ヘッド密度（解像度）	12dot/mm (305dpi)		
印字有効エリア	最大 長さ: 120mm×幅: 56mm <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ノンセバ</div> 最大 長さ: 93mm×幅: 56mm		
印字速度	50～100mm/秒 2～4インチ/秒 (ACアダプタ使用時) 50～75mm/秒 2～3インチ/秒 (バッテリーバック使用時) ※ただし、印字レイアウト、用紙の種類によっては制限する場合があります。		
印字禁止領域	長さ方向 上: 2.0mm以下、下: 2.0mm以下 (台紙含まず) 幅方向 左: 1.5mm以下、右: 1.5mm以下 (台紙含まず) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ノンセバ</div> 長さ方向 上: 5.0mm、下: 2.0mm 幅方向 左: 1.5mm、右: 1.5mm		
用紙種類/用紙形態	弊社指定のサプライ製品のご使用をお願いします。 ロール紙 (表巻き/裏巻き)		
用紙厚	140～190 μ m (0.14～0.19mm)		
用紙 サイズ*1		ラベル	ヒットカットラベル*2
	連続発行	長さ: 16～117mm (19～120mm) 幅: 25～60mm (28～63mm)	長さ: 16～120mm (16～120mm) 幅: 28～63mm (28～63mm)
	カッタ	長さ: 16～117mm (19～120mm) 幅: 25～60mm (28～63mm)	-
	ティアオフ	長さ: 16～117mm (19～120mm) 幅: 25～60mm (28～63mm)	長さ: 16～120mm (16～120mm) 幅: 28～63mm (28～63mm)
	ハクリ	長さ: 16～117mm (19～120mm) 幅: 25～60mm (28～63mm)	長さ: 16～120mm (16～120mm) 幅: 28～63mm (28～63mm)
	ノンセバ (カッタ無し)	長さ: 20～100mm 幅: 32～60mm	
	ノンセバ (カッタ付き)	長さ: 45～100mm 幅: 32～60mm	
用紙外径/支管サイズ	用紙外径: 最大 75mm (1インチ支管) 支管内径: 26mm (1インチ)		
発行モード	標準: 連続、ハクリ、ティアオフ、ジャーナル (センサ無視モード)、ノンセバ (カッタ無し) オプション: カッタ、ノンセバ (カッタ付き)		

* 1 () は台紙サイズ。発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。

* 2 裏巻きラベルは、長さが 16～38.1mm に制限されます。

モデル名	バーラベ FI212T
寸法／重量	幅132mm×奥行き194mm×高さ147mm／約1.7kg
電源仕様	入力電圧：AC100V±10% 消費電力（入力電圧条件：100V/50Hz） ピーク時：72.3VA 51.3W（印字率30%） 待機時：13.1VA 6.6W
バッテリー仕様	リチウムイオン電池 公称電圧 14.8V 公称容量 1700mAh 充放電サイクル 約300回 充電時間 本体充電 約6時間 専用充電器 約1.5時間 性能 満充電でサーマルラベル紙固定フォーマットNo.11 （用紙サイズ長さ幅25mm×32mm）にて280m相当の連続発行可能 ※使用環境により異なります。
環境条件（温度／湿度）	使用温度 0～40℃ 湿度 30～80%RH（ただし結露無きこと） 保存温度 -5～60℃ 湿度 30～90%RH（ただし結露無きこと） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">ノンセバ</div> 使用温度 5～35℃ 湿度 30～75%RH（ただし結露無きこと） 保存温度 0～35℃ 湿度 30～75%RH（ただし結露無きこと） ※サプライ製品は除く
インターフェース	① USB ② USB+LAN ③ 無線LAN ④ スキャナ接続用インターフェース：（PS/2対応） ⑤ SDカードスロット（1スロット） ※①，②，③については、いずれかを選択
オプション	① カッタキット ② ノンセパキット（カッタ付き） ③ 外部供給装置（UW200EF, UW200CT/HT i） ④ 外部巻取機（RW350） ⑤ バッテリーパック ⑥ 1chバッテリーチャージャー ⑦ 5chバッテリーチャージャー ⑧ SDカード 1ギガバイト ⑨ キーカバー（油、ほこりの浸入防止） ⑩ 壁掛けキット ※ノンセバ（カッタ付き）との組合せ運用やハクリ発行はできません。 ⑪ バーコードスキャナホルダ ⑫ バーコードスキャナ ⑬ USBケーブル ⑭ LANケーブル

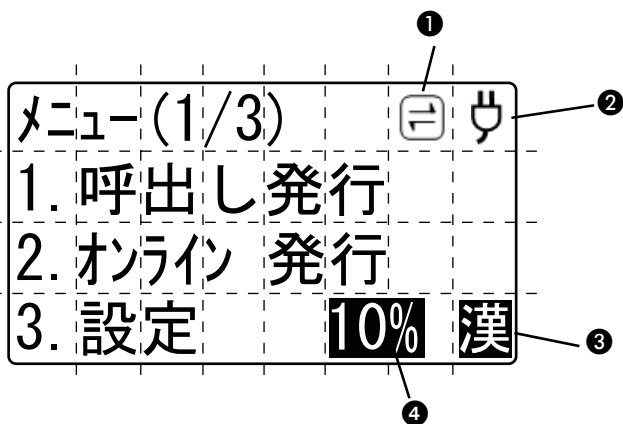
他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ






- QRコードは（株）デンソーウェブの登録商標です。
- SDロゴは商標です。

モデル名	バーラベ FI212T
操作キー	LCD : グラフィック LCD (横128× 縦64dot) バックライト付き キー : 電源 メニュー / 前画面 シフト 入力切替 削除 / AC 紙送 確定 日付 発行 / 停止 数字キー (英数字、記号、かな入力併用) 矢印キー : ▲ (F1/変換)、◀ (F2)、 ▼ (F3/候補)、▶ (F4)
レベル調整	印字濃度調整、印字位置調整
用紙長検出センサ	アイマークセンサ (反射タイプ)
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODABAR(NW-7)、CODE39、 CODE128、GS1-128(UCC/EAN128)、ITF、 UPC アドオンコード GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Stacked GS1 DataBar Stacked Omnidirectional GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Expanded Stacked ※GS1 DataBarはRSSのことです。
2次元コード	QRコード、マイクロQR
合成シンボル	EAN-13 Composite EAN-8 Composite UPC-A Composite UPC-E Composite GS1 DataBar Composite GS1 DataBar Truncated Composite GS1 DataBar Stacked Composite GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite GS1 DataBar Limited Composite GS1 DataBar Expanded Composite GS1 DataBar Expanded Stacked Composite GS1-128 Composite ※GS1 DataBarはRSSのことです。 ※GS1-128はUCC/EAN128のことです。

モデル名		バーラベ FI212T
標準搭載 フォント	ビットマップ フォント	X1文字 30×75dot (英数字、記号、カナ) X2文字 12×30dot (英数字、記号、カナ) X3文字 20×32dot (英数字、記号、カナ) OCR-B 30×36dot (英数字、記号) 価格文字 24×36dot (数字、¥、カンマ) POP1文字 42×72dot (数字、¥、カンマ) POP2文字 72×102dot (数字、¥、カンマ) POP3文字 39×84dot (数字、¥、カンマ) X80文字 42×42dot (数字、¥、円、カンマ、～) X81文字 48×48dot (数字、¥、円、カンマ、～) X82文字 59×59dot (数字、¥、円、カンマ、～) X83文字 59×59dot (数字、¥、円、カンマ、～) X84文字 59×59dot (漢数字、¥、円、カンマ、～) X85文字 59×59dot (漢数字、¥、円、カンマ、～) X86文字 65×65dot (数字、¥、円、カンマ、～) X87文字 89×89dot (数字、¥、円、カンマ、～) X88文字 118×118dot (数字、¥、円、カンマ、～) マークダウン1 84×138dot (数字、¥) マークダウン2 120×138dot (数字、¥) マークダウン3 132×138dot (数字、¥) マークダウン4 156×138dot (数字、¥) 漢字 16×16dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体) 漢字 24×24dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体) 漢字 32×32dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体) ※日本語 (JIS X 0208準拠)
印字方向 (文字・バーコード)		文字 : 0°、90°、180°、270° バーコード : パラレル1 (0°)、パラレル2 (180°)、 シリアル1 (90°)、シリアル2 (270°)
バーコード比率		1:2、1:3、2:5 任意指定可能
拡大倍率 (文字・バーコード)		文字 : 縦1~12倍 横1~12倍 バーコード : 1~12倍
搭載機能		① 呼出し発行 ② オンライン発行 ③ 固定発行 ④ 値下 CODE128 ⑤ 値下 JAN2 段 ⑥ 個体識別
自己診断機能		① ヘッド切れチェック ② ペーパーエンド検出 ③ テスト印字 ④ カバーオープン検出 ⑤ カレンダーチェック ⑥ カレンダー電池チェック ⑦ バッテリチェック ⑧ カッタエラー
ノイズ規格		VCCI Class B

ディスプレイの表示仕様

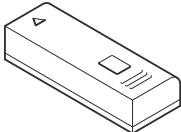
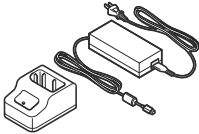
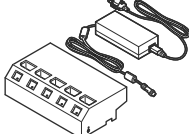

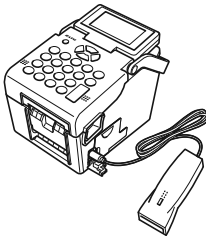
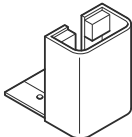

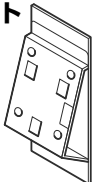

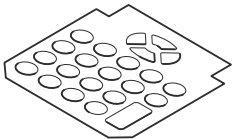
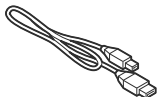
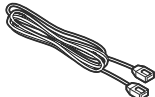


表示場所	アイコン	名称	説明
①		データ通信状態	データの通信状態を示します。 セッション確立中のみ表示します。
		バッファニアフル	データの受信バッファが残り少なくなったとき表示されます。
		コマンドエラー	ラベル発行時にコマンドエラーが発生すると表示されます。
②		AC電源	AC電源を使用中に表示されます。
		バッテリー電源	バッテリー電源を使用中に表示されます。 マーク3つ : 15.8V以上 マーク2つ : 15.6~15.7V マーク1つ : 14.9~15.5V マークなし : 14.8V以下

表示場所	アイコン	名称	説明
③		数字	数字入力時に表示します。
		英字 (大文字)	英大文字入力時に表示します。
		英字 (小文字)	英小文字入力時に表示します。
		漢字	漢字入力時に表示します。
		カタカナ (全角)	全角カタカナ入力時に表示します。
		カタカナ (半角)	半角カタカナ入力時に表示します。
④	 (10%の表示例)	消費税率表示	税率切替画面で選択した消費税率を表示します。 ただし、消費税率の表示位置に他の表示情報がある場合は表示されません。

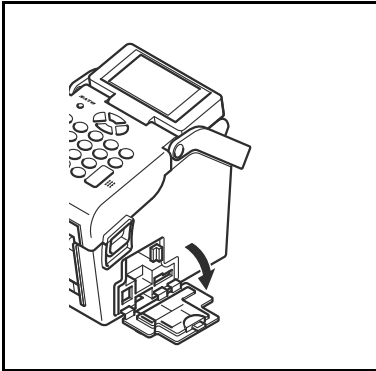
オプション

オプション（別売）品のご紹介

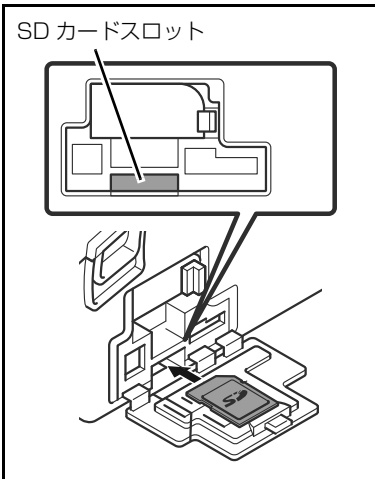
バッテリーパック	バッテリーチャージャー（充電器）	
 <p>バッテリーを使用して電源を取ることができます。</p>	<p>1ch バッテリーチャージャー</p> 	<p>5ch バッテリーチャージャー</p>  <p>バッテリーパックを充電したいときに使用します。 ※ バッテリーパックをプリンタに装着して充電することもできます（45ページ）。</p>
スキャナ		
<p>バーコードスキャナ</p>  		
スキャナホルダー	SDカード	
		
壁掛けキット	キーカバー	
<p>壁掛けキット</p> 	<p>ガイドコア</p> 	<p>キーカバー</p> 
USBケーブル	LANケーブル	
		

SDカードの取り扱い

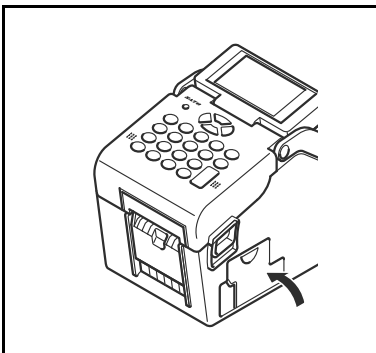
挿入方法



- 1 バッテリーカバーを開きます。

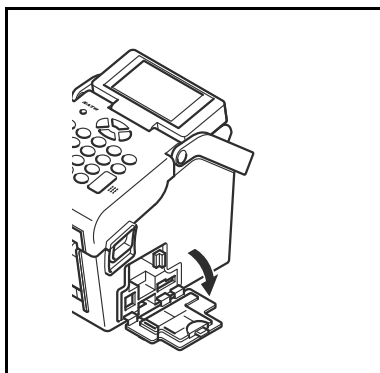


- 2 SDカードの上下、挿入方向を確認し、SDカードを奥まで差し込みます。

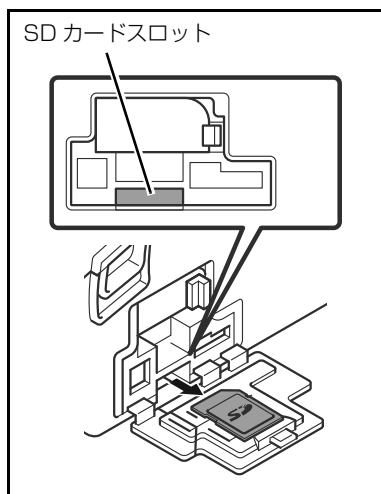


- 3 バッテリーカバーを閉じます。

取り出し方法



① バッテリーカバーを開きます。

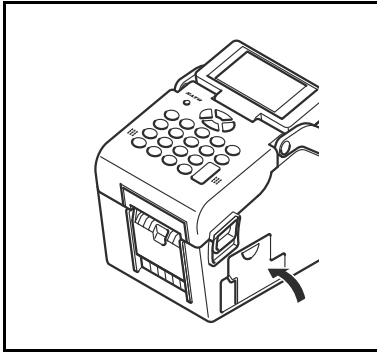


② SDカードを奥まで押し、指を離すとSDカードが少し出ますので、SDカードを取り出します。

⚠ 注意

SDカードの取り扱い

- SDカードを落としたり、手で曲げたりして強い衝撃を与えないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 水に濡らさないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 直射日光の当たるところや、暖房器具の近くに置かないでください。
- コネクタ部を直接触ったり、ゴミやほこりが入ったりしないようにしてください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 高温多湿のところに保管しないでください。
- 静電気防止のため、輸送・保管時は必ずケースに入れてください。



③ バッテリカバーを閉じます。



プリンタの電源がONの場合、SDカードの挿入・取り出しをおこなわないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。SDカードの挿入・取り出し時は、必ずプリンタの電源を切ってからおこなってください。

SDカードアクセス中は、絶対にSDカードを取り出したり、プリンタの電源をOFFにしないでください。画面表示が不正になったり、SDカードを破損する原因になります。

SDカードの初期化

SDカードをはじめて使用するときは、初期化してください。SDカードがSDカードスロットに挿入されていることを確認してください。

メニュー (1/3)

1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定



メニュー (1/3)

1. 呼出し発行
2. オンライン発行
3. 設定

設定 (1/2)

1. 初期設定
2. ユーザーメンテナンス
3. データメンテナンス



設定 (1/2)

1. 初期設定
2. ユーザーメンテナンス
3. データメンテナンス

データメンテナンス

1. データ転送
2. 店名データ編集

① “1. 設定” を選び、**確定** キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

② “3. データメンテナンス” を選び、**確定** キーを押します。

「データメンテナンス」画面が表示されます。

③ “1. データ転送” を選び、**確定** キーを押します。

「データ転送」画面が表示されます。

データ転送1
1. カード初期化
2. フリセットデータ
3. フォントデータ

- ④ “1. カード初期化” を選択し、**確定** キーを押します。

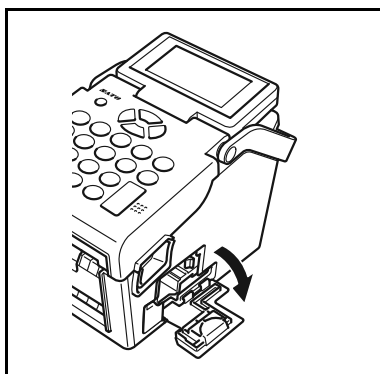
カード初期化OK?
1. はい
2. いいえ

- ⑤ “はい” を選択し、**確定** キーを押します。

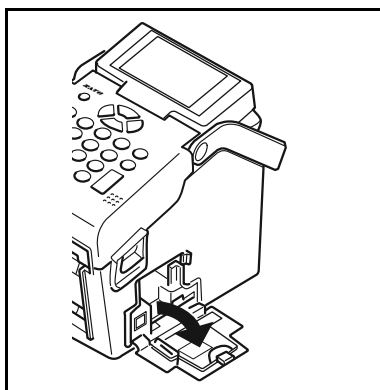
カード
初期化完了

- ⑥ SDカード初期化完了後、**確定** キーを押すと手順④画面に戻ります。

スキャナの接続

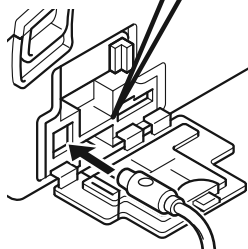
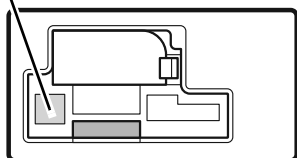


- ① バッテリーカバーを開きます。

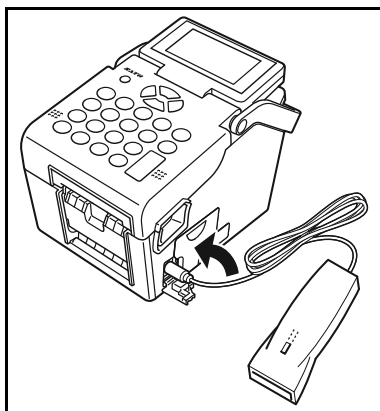


- ② スキャナコネクタカバーを開きます。

スキャナコネクタ



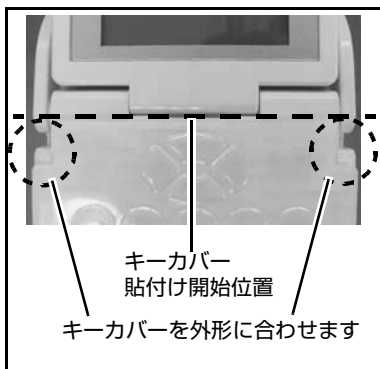
- ③ スキャナ端子の●マークを上にしてスキャナコネクタに接続します。



- ④ バッテリカバーを閉じます。

キーカバーの貼り方

キーカバーの貼り方について説明します。



- 1 操作パネルの上端（左写真 点線部）から下方方向に、キーカバーを貼り付けます。

台紙をはがす前に、キーカバーを貼付け開始位置、および操作パネルの外形に合わせ、貼付け位置の確認をしてください。



- 2 キーカバー上辺の台紙を少しはがして、キーカバーを貼付け開始位置に貼ります。

用紙は、印字面を上にしてセットしてください。



粘着面にゴミ、ほこりや指紋が付着しないよう気を付けてください。



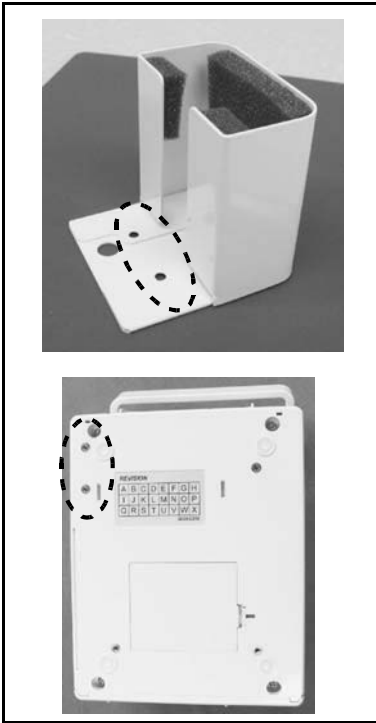
- 3 台紙を少しずつはがし、各キーとキーカバーの膨らみが合っているかを確認しながら貼り付けていきます。

スキャナホルダーの取り付け方

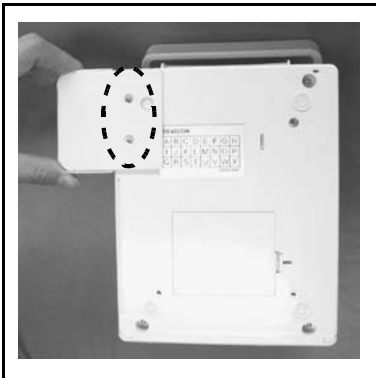
スキャナホルダーの取り付け方について説明します。



スキャナホルダーと壁掛けキットは併用できません。



- 1 スキャナホルダーとプリンタ底部のネジ穴を確認します。



- 2 スキャナホルダーとプリンタ底部のネジ穴（2箇所）を合わせます。



- 3 プラスドライバーを用いて、スキャナホルダーをネジ（付属品）で取り付けます。



- 4 スキャナホルダーがしっかりと固定されていることを確認します。

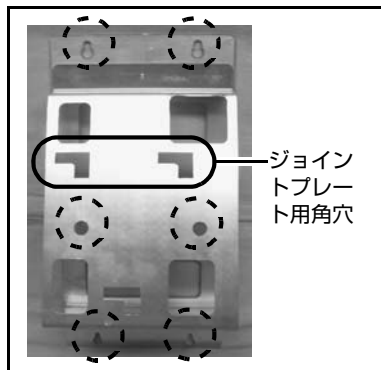
壁掛けキットの取り付け方

壁掛けキットの取り付け方について説明します。



チェック

スキャナホルダーと壁掛けキットは併用できません。



- 1 壁掛けブラケットをネジ6本で壁に取り付けます。

壁掛けブラケットを取り付けるためのネジ（6本）は、お客様でご用意ください。

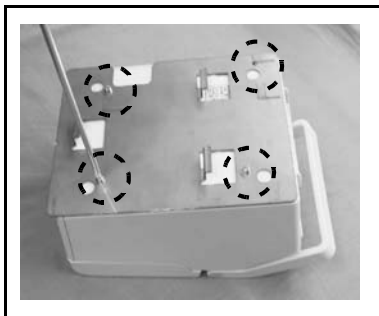


注意

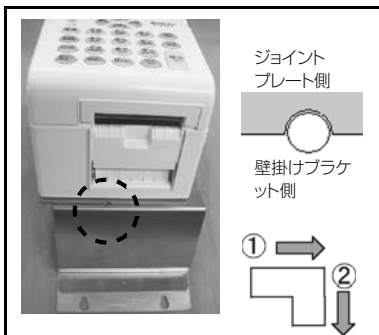
壁掛けブラケットがしっかり固定できる壁に取り付けてください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取り付けると重みでネジが抜け、プリンタが落下してケガや破損の原因になります。



- 2 プリンタ底部のジョイントプレート取り付け用のネジ穴（4箇所）位置を確認します。



- ③ ジョイントプレートとプリンタ底部のネジ穴（4箇所）を合わせ、ネジ（付属品）で取り付けます。



- ④ ジョイントプレートを壁掛けブラケットに取り付けます。

プリンタを、ジョイントプレート側のへこみが壁掛けブラケット側の穴と合う位置に置き、①→②方向にスライドさせます。

ジョイントプレートが壁掛けブラケットに固定されていることを確認してください。



- ⑤ 電源コードをケーブルクランプ（壁掛けブラケット右側）で固定します。

初期設定値一覧

メニュー	種別	項目	初期値
呼出し発行	初期設定	用紙種別	パーラベフリーラベル
		用紙サイズ	25mm
		発行形態	連続
		印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
		呼出し名検索文字桁数設定	3
		バーコード検索	あり
		呼出し発行履歴 [※] 転送	あり
		呼出し履歴 [※] 転送方法	SD
		プリンタNo	0000
		連番保持機能設定	あり
		都度発行	なし
		発行枚数表示	する
		発行後戻先指定	しない
		価格未入力許可	しない
		本体メンテナンス	なし
		QRコード発行	なし
		税率優先設定	ツール設定優先
		税率設定	1：00.0% 2：00.0%
オンライン発行	初期設定	用紙種別	パーラベフリーラベル
		用紙サイズ	25mm
		発行形態	連続
		印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
固定発行	初期設定	用紙サイズ	25mm
		プリセット登録先	本体
		リサイクルマーク表示	あり
		リサイクルマークNo	**
		原産地表示	あり
		原産地テーブルNo	***
		日付印字	なし
		日付手入力	あり
		コードフリー入力	あり
		価格印字位置	上
		価格文字サイズ	標準
		¥マーク付加	する
		価格カンマ付加	あり

メニュー	種別	項目	初期値
固定発行	初期設定	プリセットNo印字	する
		ガードバー長さ	普通
		発行形態	連続
		リアルタイム印字	OFF
		都度発行	なし
		チェックラベル有無	あり
		印字方向	頭出し
		印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
	フォーマット固定	－	
プリセットデータ	プリセットデータ本体	－	
値下 CODE128	初期設定	用紙種別	バーラベラベル
		発行形態	連続
		チェックラベル有無	あり
		印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
	値下げ設定	出力バーコード設定	20桁
		ラベルサイズ	バーラベラベル
		発行形態	連続
		使用項目 円引き	する
		使用項目 %引き	する
		使用項目 新価格	する
		項目フラグ 円引き	*
		項目フラグ %引き	*
		項目フラグ 新価格	*
		バーコード値引き条件 円引き	値引額
		バーコード値引き条件 %引き	割引率
		見出しテーブル 円引き	印字なし
		見出しテーブル %引き	印字なし
		見出しテーブル 新価格	印字なし
		50%引の表示	50%引
		値引上限	50%
		端数処理	切捨て
		廃棄データ	なし
		NON-PLU13桁1 フラグ	**
		NON-PLU13桁1 価格桁	5桁
		NON-PLU13桁2 フラグ	**
		NON-PLU13桁2 価格桁	5桁
NON-PLU13桁3 フラグ	**		
NON-PLU13桁3 価格桁	5桁		

メニュー	種別	項目	初期値
値下 CODE128	値下げ設定	NON-PLU13桁4 フラグ	**
		NON-PLU13桁4 価格桁	5桁
		NON-PLU13桁5 フラグ	**
		NON-PLU13桁5 価格桁	5桁
		NON-PLU13桁6 フラグ	**
		NON-PLU13桁6 価格桁	5桁
		NON-PLU13桁7 フラグ	**
		NON-PLU13桁7 価格桁	5桁
		NON-PLU13桁8 フラグ	**
		NON-PLU13桁8 価格桁	5桁
		NON-PLU13桁9 フラグ	**
		NON-PLU13桁9 価格桁	5桁
		NON-PLU13桁10 フラグ	**
		NON-PLU13桁10 価格桁	5桁
		NON-PLU8桁	あり
		UPC-A 1	00
		UPC-A 2	0*
		UPC-A 3	0*
		UPC-A 4	0*
		UPC-A 5	0*
		UPC-E	0埋め6桁
		元売価印字	すべて
		値下後価格印字	すべて
		パスワード設定	なし
担当者コード	あり		
値引き履歴データ蓄積	あり		
値引き履歴データ転送方法	SD		
プリンタNo.	00		
値下JAN2段	初期設定	発行形態	連続
		チェックラベル有無	あり
		印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
	コメント テーブル	コメントテーブル	－
	部門テーブル	部門テーブル	－
	値下げ設定	ラベルサイズ	P65×W32
		発行形態	連続
		出力バーコード	バーコード1段
		コメント機能	あり
		プロバー価格表示	あり
部門機能	あり		

メニュー	種別	項目	初期値
値下JAN2段	値下げ設定	NON-PLU13桁1 フラグ	**
		NON-PLU13桁1 価格桁	4桁
		NON-PLU13桁2 フラグ	**
		NON-PLU13桁2 価格桁	4桁
		NON-PLU13桁3 フラグ	**
		NON-PLU13桁3 価格桁	4桁
		NON-PLU13桁4 フラグ	**
		NON-PLU13桁4 価格桁	4桁
		NON-PLU13桁5 フラグ	**
		NON-PLU13桁5 価格桁	4桁
		NON-PLU13桁6 フラグ	**
		NON-PLU13桁6 価格桁	4桁
		NON-PLU13桁7 フラグ	**
		NON-PLU13桁7 価格桁	4桁
		NON-PLU13桁8 フラグ	**
		NON-PLU13桁8 価格桁	4桁
		NON-PLU13桁9 フラグ	**
		NON-PLU13桁9 価格桁	4桁
		NON-PLU13桁10 フラグ	**
		NON-PLU13桁10 価格桁	4桁
		出力バーフラグ	02
		出力バーコードP/C	あり
		アイテムコード	5桁
		出力バーコード	上段：21、下段：29
		価格表示単位	¥
		50%引の表示	50%引
		円引処理	する
		円引印字	新価格
		%引処理	する
		%引印字	新価格
新価格処理	する		
担当者コード	あり		
値引き履歴データ蓄積	なし		
値引き履歴データ転送方法	SD		
プリンタNo.	**		
個体識別	初期設定	発行形態	連続
		チェックラベル有無	あり
		継承ラベル印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット
		個体識別ラベル印字位置調整	縦：↓00ドット 横：→00ドット

メニュー	種別	項目	初期値
個体識別	初期設定	部位名印字	あり
		部位テーブルNo印字	あり
		産地名印字	あり
		産地テーブルNo印字	あり
		日付印字	あり
		加算日数初期値	000
		個体識別固定印字	あり
		継承ラベルサイズ	大ラベルP38×W40
		個体識別ラベルサイズ	縦：25mm、横：32mm
		バーコード種変更	しない
		バーコード種変更パスワード	－
		バーコード種	ITFコード
	テーブル設定	漢字16	－
		漢字22	－
日付見出		消費期限	
価格総額設定		税率切替	無効
		税率設定	1：00.0% 2：00.0%
		小数点2桁印字	しない
		価格入力	税込み
		バーコード内価格	税込み
		端数処理	切捨て
		価格税込み印字設定	なし
		総額表示テーブル	なし
		値下元売価バーコード	税込み
		値下新価格入力	税込み
		値下端数処理	切捨て
ユーザー設定		印字速度	50mm/s
		印字濃度	3
		印字濃度レンジ	A
		カレンダー一時変更	電源を切るまで
		ヘッドチェック	あり
		ヘッドチェック範囲	通常
		キー入力音	あり
		スタート画面設定	レジューム
		スタート画面	呼出し発行
		日付確認表示画面	する
		記憶発行	なし
		オートパワーオフ	00分（オートパワーオフしない）
		LCD節電時間設定	00分（常時ON）
		LCD濃度	レベル6

メニュー	種別	項目	初期値
ユーザー設定		初期フィード	あり
通信設定	USB+LAN モデル	通信選択	USB
		IP設定方法	マニュアル
		IPアドレス	192.168.001.001
		サブネットマスク	255.255.255.000
		ゲートウェイアドレス	000.000.000.000
		Socket通信タイムアウト時間	60秒
	無線LAN モデル	通信選択	無線LAN
		IP設定方法	マニュアル
		IPアドレス	192.168.001.001
		サブネットマスク	255.255.255.000
		ゲートウェイアドレス	000.000.000.000
		Socket通信タイムアウト時間	60秒
		WLANモード設定	アドホック
		SSID設定	SATO
		チャンネル設定	11
		LDP切断タイムアウト時間	30秒
		セキュリティ機能	使用しない
		EAP認証情報	EAP-TLS
		認証方式	Open System
		WEPKey1設定	－
		WEPKey2設定	－
		WEPKey3設定	－
		WEPKey4設定	－
		WEPKey Index	1
	WPA/WPA2認証機能設定	PSK	
	事前共有キー	－	
	省電力モード	有効	
FTP クライアント	USB+LAN モデル	FTPクライアント指定	無効
		FTP認証方法	ユーザー認証有効
		FTPログインユーザー	guest
		FTPパスワード	－
		FTP切断タイムアウト	30秒
		FTP取得設定	電源投入時取得
		ダウンロード結果ファイル送信	あり
		取得後画面	メニュー画面
		ログインユーザー	sato
		パスワード	－
		FTPサーバーアドレス	000.000.000.000
		FTPサーバー URL	－
		FTPポート番号	00021

メニュー	種別	項目	初期値
FTP クライアント	USB+LAN モデル	アップロード先	—
		ダウンロード元	—
		DNSプライマリアドレス	000.000.000.000
		DNSセカンダリアドレス	000.000.000.000
	無線LAN モデル	FTPクライアント指定	無効
		FTP認証方法	ユーザー認証有効
		FTPログインユーザー	guest
		FTPパスワード	—
		FTP切断タイムアウト	30秒
		FTP取得設定	電源投入時取得
		ダウンロード結果ファイル送信	あり
		取得後画面	メニュー画面
		ログインユーザー	sato
		パスワード	—
		FTPサーバーアドレス	000.000.000.000
		FTPサーバー URL	—
		FTPポート番号	00021
		再接続間隔	4秒
		再接続リトライ回数	10回
		ジョブタイムアウト	30秒
		FTP通信タイムアウト	120秒
		アップロード先	—
ダウンロード元	—		
DNSプライマリアドレス	000.000.000.000		
DNSセカンダリアドレス	000.000.000.000		
パスワード 設定		パスワード設定	なし
		パスワード	—
店名テーブル		店名	—
		住所	—
		電話番号	—
		メモ	—

索引

英数字

%引印字	157
%引処理	157
%引きラベル	143, 172
2次元コード	277
3極-2極変換アダプタ	28
50%引の表示	127, 157
ACアダプタ	28, 43
Auto-IP	223
CHARGEランプ	46
CODE128	20
CODE128Cタイプ	185
DC入力電源端子	31
DHCP	221, 223
DNSセカンダリアドレス	245
DNSプライマリアドレス	244
DynamicWEP	224
EAP認証情報	225
Fiツール	19, 28
FTP	20, 235
FTPクライアント指定	242
FTPサーバー URL	243
FTPサーバーアドレス	243
FTP取得設定	242
FTP切断	242
FTP通信タイムアウト時間	244
FTP認証方法	242
FTPパスワード	242
FTPポート番号	243
FTPログインユーザー名	242
IPアドレス	221, 223
ITFコード	185
JAN2段	20
JIS漢字コード入力	57
LAN	220
LANインタフェース	31
LANケーブル	281
LCD節電時間設定	217
LCD濃度	218
LCDパネル	30

LPD切断タイムアウト時間	224
NON-PLU 13桁	128, 156
NON-PLU 8桁	128
QRコード登録	69
QRコード発行	64, 68
QRコード発行・登録	70
RARP	221, 223
RW350	29
SDカード	19, 113, 281, 282
SDカードスロット	31
Socket通信	221, 223
SSID	223
UPC-Aフラグ	128
UPC-E	128
USB	219
USB+LANモデル	31
USBインタフェース	31
USBケーブル	281
USBモデル	31
UW200EF	29
WEP	224
WEPキー	225
WPA	224
WPA2	224

ア

アース	44
アイテムコード	156
アイマーク	34
アップロード先	244
アドホック	223
アフターフォロー	272
印字位置調整	
オンライン発行	117
個体識別ラベル	183
固定発行	90
値下CODE128	121
値下JAN2段	152
呼出し発行	61
印字禁止領域	275
印字速度	214, 275
印字濃度	214
印字濃度レンジ	214
印字フォーマット	102
印字方向	89, 278

印字方式	275
印字有効エリア	275
インタフェース	276
インフラ(SSID)	223
裏巻き	33
エラーメッセージ	259
円引印字	157
円引処理	157
円引きラベル	141, 169
¥マーク付加	86
オートパワーオフ時間設定	217
お手入れ	269
オプション	276, 281
表巻き	33
オンサイト保守	272
温度	276
オンライン発行	19, 115

カ

カード初期化	252
ガードバー長さ	87
外字	252
解像度	275
外部供給装置	29
外部巻取機	29
価格印字位置	86
価格カンマ付加	87
価格総額表示	92, 94, 208
価格表示単位	156
価格未入力許可	63
価格文字サイズ	86
拡大倍率	278
確定キー	50, 200
各部の名称	30
加算日数初期値	184
カッタ仕様	29
カッタ刃	42
カッタモード	40
カバー開閉ボタン	30
壁掛けキット	281, 290
紙送キー	49, 199
画面遷移	201
カレンダー	204
一時変更	215
固定発行	206

プリセットモード	207
呼出し発行	205
カレンダー設定	204
環境条件	276
漢字16	186
漢字22	187
漢字テーブル	73
キー	49, 199, 277
キーカバー	281, 287
キー入力音	216
キーボード	49, 199
記憶発行	217
クイックガイド	28
グラフィック	252
クリーニングペン	28, 269
ゲートウェイアドレス	221, 223
継承ラベル	20
原産地テーブルNo	83
原産地表示	83
コードフリー入力	85
構成情報	229
合成シンボル	277
項目フラグ	125
故障	266
個体識別固定印字	185
個体識別ラベル	20, 178
固定発行	19, 79
固定発行ラベル	91
コピー	113
コマンドエラー	279
コメント機能	155
コメントテーブル	159

サ

サーピス	272
サーマルヘッド	30
再接続間隔	243
再接続リトライ	244
削除/ACキー	49, 200
サブネットマスク	221, 223
産地テーブルNo印字	184
産地名	187
産地名印字	184
支管サイズ	275
自己診断機能	278

事前共有キー	226
湿度	276
シフトキー	49, 199
ジャーナルモード	35
住所	253
充電	45, 47
充電器	281
充電ランプ	30
重量	276
出向保守	272
出力バーコード	155, 156
出力バーコード設定	124
出力バーコードフラグ	128
出力バーフラグ	156
取得後画面	243
仕様	275
使用項目	125
小数点2桁印字	208
省電力モード	233
賞味期限桁数選択	129
賞味期限タミー設定	129
賞味期限入力	129
初期化	
FTP	246
LAN	226
SDカード	284
無線LAN	228
初期設定	
オンライン発行	115
個体識別ラベル	180
固定発行	79
値下CODE128	119
値下JAN2段	150
呼出し発行	59
初期設定値	292
初期フィード	218
ジョブタイムアウト	244
新価格処理	157
新価格処理ラベル	174
新価格ラベル	145
数字キー	50, 200
スキャナ	281
スキャナコネクタ	31
スキャナコネクタカバー	31
スキャナホルダー	281, 288
スタート画面	216

スタート画面設定	216
スペース	24
スポットサポート	273
寸法	276
税込み価格	211
税込み固定印字設定	211
清掃	270
税率切替	208
税率設定	64
税率優先設定	64
セキュリティ機能	224
設置	23, 24
設定画面	202
センサ無視モード	35
センドバック保守	272
操作パネル	30, 49

タ

台紙排出口	30
タイムアウト時間	242
ダウンロードガイド	28
ダウンロード機能	255
ダウンロード元	244
担当者コード	130, 158
チェックラベル	89, 120, 151, 182, 267
チャンネル番号	224
通信設定	219
都度発行	63, 88
データ更新	77
データ通信状態	279
データ転送	252
データの呼出し	67
データメンテナンス	252
ティアオフモード	35
ディスプレイ	279
電源	27, 43, 276, 279
電源キー	49, 199
電源コード	28
電源コネクタ	31
電波取得	231
店名	253
店名データ編集	253
店名テーブル	75
電話番号	253
搭載機能	278

トップカバー	30
--------	----

ナ

入力価格の計算	212
入力切替キー	50, 200
任意税率設定	212
認証機能	226
認証方式	225
認証方法	242
値下後価格印字	130
値下げラベル	20
値引上限	127
値引き履歴データ蓄積	131, 158
値引き履歴データ転送方法	131, 158
ノイズ規格	278
ノンセパ仕様	29
ノンセパモード	35

ハ

バーコード	91, 277
バーコード桁数	91
バーコード検索	62, 68
バーコード識別	129
バーコード種	185
バーコード種の変更	185
バーコード種の変更パスワード	185
バーコードスキャナ	281
バーコード値引条件	125
バーコード比率	278
バーラベ固定ラベル	34
バーラベフリーラベル	34
廃棄	148
廃棄データ	127
ハクリセンサ	30
ハクリプレート	30
ハクリフレーム	30
ハクリモード	37
端数処理	127
パスワード	242, 243, 248
パスワード設定	130
バックアップ機能	254
発行/停止キー	49, 199
発行形態	88
オンライン発行	116

個体識別ラベル	181
値下CODE128	120, 124
値下JAN2段	151, 155
呼出し発行	61
発行後戻先指定	63
発行種別選択	147, 177, 198
発行枚数表示	63
発行モード	22, 275
バッテリー	276, 279
バッテリーカバー	31
バッテリー残量	46
バッテリースロット	31
バッテリーチャージャー	45, 281
バッテリーパック	45, 47, 281
バッファニアフル	279
ハンドル	30
日付印字	85, 184
日付確認画面表示	217
日付キー	49, 199
日付手入力	85
日付見出	187
ビットマップフォント	278
標準搭載フォント	278
ファイル転送	20
部位テーブルNoの印字	183
部位名	191
部位名の印字	183
フォーマットNo	90
フォーマット番号	91
フォントデータ	252
付属品	28
プチラパンラベル	34
部門機能	155
部門テーブル	161
ブラテンローラー	30
プリセットNoの印字	87
プリセットデータ	113, 252
プリセットの登録先	81
プリンタNo	62, 131, 158
プロパー価格表示	155
ヘッドカバー	30
ヘッドチェック	215
ヘッドチェック機能	267
ヘッドチェック範囲	215
ヘッド密度	275
保守	269

保証期間内の保守サポート	272
保守契約サポート	273
保守サポート	272
保証書	28
本体価格	211
本体メモリ	113
本体メンテナンス	63, 71

マ

見出しテーブル %引き	126
見出しテーブル 円引き	125
見出しテーブル 新価格	126
無線LAN	222
無線LAN構成情報	226, 245
無線LANモデル	32
名称	30
メニュー / 前画面キー	49, 199
メニュー画面	201
メニューツリー	203
メモ	253
メンテナンス案内書	28
文字キー	50, 200
文字入力	50
持込み保守	272
元売価印字	130

ヤ

ユーザー設定	213
用紙	
種類	34
セット	33
幅	33
巻き方向	33
用紙厚	275
用紙押さえ	30
用紙外径	275
用紙ガイド	30
用紙形態	275
用紙サイズ	275
オンライン発行	116
固定発行	81, 102
呼出し発行	60
用紙種別	
オンライン発行	116

値下CODE128	120
呼出し発行	60
用紙種類	275
用紙長検出センサ	277
用紙排出口	30
用紙ホルダ	30
呼出しデータ	252
呼出しテーブル	71
呼出し発行	19, 59, 216
呼出し発行履歴データ転送	62
呼出し名検索	62, 67
呼出し履歴データ転送方法	62

ラ

ラベル	22
ラベルサイズ	
継承ラベル	185
個体識別ラベル	185
値下CODE128	124
値下JAN2段	155
ラベル発行	
オンライン発行	118
継承ラベル	195
個体識別ラベル	197
固定発行	103
値下CODE128	141
値下JAN2段	169
呼出し発行	65
リアルタイム印字	88
リサイクルマークテーブルNo	82
リサイクルマーク表示	81
リリースレバー	31
履歴データ保存	149, 177
レベル調整	277
連続モード	35
連番保持機能設定	62
ログインユーザー	243
ログインユーザー名	242

AVATO



* Q 0 2 4 8 4 0 0 4 *